

27早法発第14号

人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科  
臨床心理学専攻 設置届出書

平成27年7月30日

文部科学大臣 殿

学校法人 早稲田医療学園

理事長 久住



このたび、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻を設置することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行例第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届出ます。なお届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

## 目次

- 1 基本計画書
- 2 教育課程の概要
- 3 設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況
- 4 基礎となる学部等の改編状況
- 5 授業科目の概要
- 6 校地校舎の図面
- 7 学則
- 8 教授会規定
- 9 意思の決定を証する書類
- 10 設置の趣旨等を記載した書類
- 11 学生確保の見通し等を記載した書類
- 12 教員名簿(学長の氏名等)
- 13 教員名簿(教員の氏名等)
- 14 通信教育の実施方法等を記載した書類

# 1 基本計画書

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	研究科専攻の設置								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ワセダイリョウガクエン 学校法人 早稲田医療学園								
フリガナ大学の名称	ニンゲンソウゴウカガクダイガク 人間総合科学大学 (University of Human and Sciences)								
大学本部の位置	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地								
大学の目的	本大学は、教育基本法に則り、学校教育法に定める大学として、人間の総合的な理解を目的に、建学の精神を定めている。人間総合科学大学大学院は、本学の建学の精神、教育目的に則り、「人間」をさらに学際的、統合的に追究し、より深い専門的知識を教授・研究する。								
新設学部等の目的	現代人の健康について、特に心の側面から科学的、総合的に追究し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもってその保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、確かな倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士の養成を行う。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	人間総合科学研究科 〔Graduate Division of Human Arts and Sciences〕 臨床心理学専攻 修士課程 通信教育課程 〔Master's Program of Clinical Psychology〕	3年	15人	年次人	45人	修士 (臨床心理学) 〔Master of Clinical Psychology〕	平成28年4月 第1年次	【基礎となる学部】 人間科学部人間科学科	
	計		15		45				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	人間総合科学研究科 臨床心理学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程（通信教育課程）	5人 (5)	0人 (0)	1人 (1)	0人 (0)	6人 (6)	0人 (0)	4人 (4)
		計	5人 (5)	0人 (0)	1人 (1)	0人 (0)	6人 (6)	0人 (0)	4人 (4)
	既設	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程（通信教育課程）	10 (10)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	4 (4)
		計	10 (10)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	4 (4)
	合計		15 (15)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	25 (25)	0 (0)	8 (8)

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計	大学全体				
	事 務 職 員		31 人 (31)	6 人 (6)	38 人 (38)					
	技 術 職 員		1 (1)	1 (1)	1 (1)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (0)	4 (4)	4 (4)					
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	5 (5)	6 (6)					
計		34 (34)	16 (16)	49 (49)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	23,003.4m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	23,003.4m <sup>2</sup>					
	運 動 場 用 地	2,837m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	2,837m <sup>2</sup>					
	小 計	25,840.4m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	25,840.4m <sup>2</sup>					
	そ の 他	1,923.23m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	1,923.23m <sup>2</sup>					
合 計	27,763.63m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup>	27,763.63m <sup>2</sup>						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
		17,699.78m <sup>2</sup> (17,699.78m <sup>2</sup> )	0m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	17,699.78m <sup>2</sup> (17,699.78m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	33室	4室	25室	2室 (補助職員2人)	1室 (補助職員 人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
		[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )			
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )			
図書館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		738.15m <sup>2</sup>	226		82,500					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		523.89m <sup>2</sup>	バレーボールコート1面							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・共同研究費等は大学全体 ・図書購入費は電子ジャーナル運用コスト含む
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円				
		共同研究費等		30,000千円	30,000千円	30,000千円				
		図書購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円				
	設備購入費	0	-	-	-					
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		970千円	770千円	770千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし							

既設大学等の状況	大学の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	学部等の名称	年								
	人間科学部 人間科学科 (通信教育課程)	4	1,000		4,000	学士 (人間科学)	0.41	平成12年	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1,288番地	
	人間科学部 健康栄養学科	4	80		320	学士 (健康栄養学)	1.03	平成17年		
	保健医療学部 (看護学科)	4	80		320	学士 (看護学)	1.06	平成23年	埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354番3	
	保健医療学部 (リハビリテーション学科)	4	70		280	学士 (理学療法学) (義肢装具学)	0.95	平成23年		
	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程 (通信教育課程)	2	30		60	修士 (心身健康科学)	0.93	平成16年	埼玉県さいたま市岩槻区馬込1,288番地	
	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士課程 (通信教育課程)	3	9		18	博士 (心身健康科学)	1.37	平成19年		
	人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻 修士課程	2	5		10	修士 (健康栄養科学)	0.50	平成21年		
附属施設の概要		該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の場合、収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

## 2 教育課程の概要

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 (M) [通信教育課程])

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目	心身健康科学特講	1前	2			○									兼1 印刷教材・メディア・面接
	認知脳科学特講	1前		2		○									兼1 印刷教材・メディア・面接
	ストレス学特講	1後		2		○									兼1 印刷教材・メディア・面接
	臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			○			1						メディア・面接
	臨床心理学特論Ⅱ	1後	2			○			1						メディア・面接
	臨床心理職関連行政・倫理特論	1後		2		○									兼1 メディア
	臨床心理面接特論Ⅰ	1前	2			○				1					メディア・面接
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2			○				1					メディア・面接
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前	2				○		1						面接
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後	2				○				1				面接
	臨床心理学研究法特論	1前		2		○			3		1				共同・メディア・面接
	心理統計法特論	1後		2		○			1						メディア
小計(12科目)	—	—	14	10	0	—	—	—	7	0	4	0	0	—	
展開分野科目	援助技法科目	カウンセリング特論	2前		2		○			1					メディア
		心理療法特論	2後		2		○			1					メディア
		小計(2科目)	—	—	0	4	0	—	—	2	0	0	0	0	—
	医療保健領域科目	心身医学特論	2前		2		○			1					メディア
		精神医学特論	3前		2		○			1					メディア
		小計(2科目)	—	—	0	4	0	—	—	2	0	0	0	0	—
	教育領域科目	学校臨床心理学特論	3前		2		○					1			メディア
		教育心理学特論	3前		2		○			1					メディア・面接
		発達心理学特論	2後		2		○			1					メディア
	小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	2	0	1	0	0	—	
	福祉領域科目	老年心理学特論	3前		2		○								兼1 メディア
		小計(1科目)	—	—	0	2	0	—	—	0	0	0	0	0	—
		司法・矯正領域科目	犯罪心理学特論	2後		2		○							兼1 メディア
	小計(1科目)	—	—	0	2	0	—	—	0	0	0	0	0	—	
	産業領域科目	産業カウンセリング特論	2後		2		○								兼1 メディア
		人間関係学特論	2・3前		2		○			1					メディア
		小計(2科目)	—	—	0	4	0	—	—	1	0	0	0	0	—
	小計(9科目)	—	—	0	18	0	—	—	5	0	1	0	0	—	
臨床科目心理技法	臨床心理援助技法論Ⅰ(個人心理療法)	2前		2		○			1					面接	
	臨床心理援助技法論Ⅱ(集団心理療法)	2・3前		2		○			1					面接	
	臨床心理援助技法論Ⅲ(臨床心理査定)	2前		2		○								兼1 面接	
	小計(3科目)	—	—	0	6	0	—	—	2	0	0	0	0	—	
臨床科目心理実習	臨床心理基礎実習Ⅰ	1後	1						3		1			面接	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	2前	1						3		1			面接	
	臨床心理実習Ⅰ	2後	1						3		1			面接	
	臨床心理実習Ⅱ	3前	1						3		1			面接	
	小計(4科目)	—	—	4	0	0	—	—	12	0	4	0	0	—	
小計(18科目)	—	—	4	28	0	—	—	21	0	5	0	0	—		
研究指導	臨床心理学特別研究	2・3	6	0					4		1			メディア・面接	
	小計(1科目)	—	—	6	0	0	—	—	4	0	1	0	0	—	
合計(31科目)		—	24	38	0	—	—	—	32	0	10	0	0	—	
学位又は称号	修士(臨床心理学)		学位又は学科の分野			文学									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
休学、停学期間を除いて3年以上在学し、授業科目について必修科目18単位及び臨床心理学特別研究・6単位、合計24単位を含め30単位以上を修得し、修士論文(臨床心理学特別研究)を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						



### 3 設置の前後における学位等及び 専任教員の所属の状況

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況					新設学部等の学年進行 終了時における状況						
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
人間総合科学研究科 心身健康科学専攻	修士 (心身健康科学)	文学、保健衛生学(看護学及びリハビリテーションを除く)	人間総合科学研究科心身健康科学専攻	22	12	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻	修士 (心身健康科学)	文学、保健衛生学(看護学及びリハビリテーションを除く)	人間総合科学研究科心身健康科学専攻	19	10
			その他/臨床心理学専との兼担	3	3						
			退職	0	0						
			計	25	15				計	19	10
						人間総合科学研究科 臨床心理学専攻	修士 (臨床心理学)	文学	人間総合科学研究科心身健康科学専攻	6	5
			計						計	6	5
			計						計		
			計						計		

## 4 基礎となる学部等の改編状況

## 基礎となる学部等の改編状況

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成16年1月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程設置	文学、保健衛生学関係	設置認可(大学院)
平成18年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程カリキュラム変更	文学、保健衛生学関係	学則変更
平成19年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士後期課程設置	文学、保健衛生学関係	課程変更認可(研究科)
平成19年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程 カリキュラム変更	文学、保健衛生学関係	学則変更
平成20年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程カリキュラム変更	文学、保健衛生学関係	学則変更
平成22年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士後期課程カリキュラム変更(修了要件の変更)	文学、保健衛生学関係	学則変更
平成24年4月	人間総合科学研究科 心身健康科学専攻博士後期課程 及び 修士課程カリキュラム変更	文学、保健衛生学関係	学則変更

## 5 授業科目の概要

## 授 業 科 目 の 概 要

(人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 (M) [通信教育課程])

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎分野科目	心身健康科学特講	心身健康科学とは、こころとからだの関係性から、人間がよりよく生きるための知恵を創りだすために、学際的・統合的なアプローチによって健康科学の領域を専門的に研究する学問である。本講義は以下3つの視点に沿って学問体系と特色を学修する。 1点目は、こころとからだの有機的関連性の解明を中心軸に据えることである。 2点目は、人類が抱える諸問題を統合科学の観点からアプローチすることである。 3点目は、人々のよりよい生に資する研究成果を創出することである。 これらから、学問領域を鳥瞰して必要な学修・研究姿勢を理解し、具体的な研究実践として各自の研究遂行に還元することを考究する。	
	認知脳科学特講	脳は多数の神経細胞とグリア細胞によって構成され、神経細胞が形成する複雑な神経回路網が脳の認知、情動、運動、記憶、学習、意識等の機能を担っている。近年、人の心の問題を考える際、脳の働きについての科学的な知見が不可欠になっている。本科目では、近年の研究データを踏まえて、これらの脳の高次機能を支える構造と情報処理の特徴を概観する。主に神経科学的な観点から人間の認知機能を理解することで、我われの心が何処でどのように生まれるか、さらに心と身体がとどのように相関しているのかを考究する。	
	ストレス学特講	人間は常時、種々の刺激を受けてそれを脳で感覚する。刺激が負担と認識される場合、一般的にその刺激はストレスと呼ばれる。心理・社会的ストレスによって身体的反応が生じることや、身体的ストレスによって心理的反応が生じることが知られている。本科目では、ストレスを受けた際の生体反応の神経科学的メカニズムを学び、科学的根拠に基づいたストレス対処方法の理解を図る。ストレスを正しく理解することにより、ストレスの捉え方を見直し、各人・各現場に適したストレス対処法を見出す方策を考究する。	
	臨床心理学特論 I	臨床心理の現場では、高度の専門職業人としての役割を求められる。そのため臨床心理学に関する知識の修得、技法の修得が重要である。さらに実践に当たってはクライアントとセラピストの関係性の理解や、セラピスト自身の自己への探求が必要といえる。以上の点を理解し、心理臨床の専門家とは何を行うのか自らから探求し、心理士としての教育や訓練を受ける上で確かな見通しと目標を持って取り組めるようになることを目的とする。	
	臨床心理学特論 II	心理臨床の専門家として実際に活動するために基本的な知識を得るとともに、臨床の実践で必要となる倫理、自己管理、危機管理についての基本的な知識を学習し、実際に生じやすい対応困難な事例に対してどう対処できるか、セラピストとしてのありようの可能性について具体的に学び、心理療法家としての基本的な姿勢を修得する。	
	臨床心理職関連行政・倫理特論	臨床心理活動に関わる医療・保健・福祉・教育・司法領域の行政・臨床倫理活動は、保健福祉センターや病院等の医療・保健の領域、児童相談所や福祉事務所等の福祉の領域、学校や教育センター等の教育の領域など、多様な領域で実践されている。それらの各領域で活動する際の行政的な諸問題、法律等の諸問題についての基礎を学ぶ。	
	臨床心理面接特論 I	心理面接の過程を段階を追って学ぶ。臨床心理面接論 I では、クライアントの抱える問題の査定、ゴールの設定、契約の結び方を実践を通して修得する。問題の査定には、精神病理の理解も含み、クライアントを全人的に、また環境も含めて理解し、見立てを行い、適切なゴール設定を含めて契約を結ぶ訓練をする。	
	臨床心理面接特論 II	臨床心理面接論 II では、とくに転移、逆転移について学ぶ。精神分析を中心に、治療過程における関係性についての理解を重視する傾向が強まっている。最も重要な治療要因である関係性、すなわち転移・逆転移の関係について、事例を通して理解を深めることによって、心理面接の本質を理解する。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
基礎分野科目	臨床心理査定演習Ⅰ	心理臨床・発達臨床においては面接・行動観察・心理検査におけるアセスメントによって対象者の状態を把握し、援助・支援を検討することが必要である。 臨床心理アセスメント演習Ⅰにおいては、臨床心理の現場で出会う様々なクライアントを想定し、初回のインテーク面接や行動観察から得られたクライアント像を通じて、クライアントの支援に必要なアセスメントをいかに行うかを事例検討を通して学ぶ。			
	臨床心理査定演習Ⅱ	臨床心理アセスメントⅡにおいては、心理臨床を目指すものに必要な心理アセスメントの中で特に、心理検査に関わる内容を学ぶ。知能検査、人格検査に加えて、最近の心理臨床の領域で必要とされている発達障害や高齢者の認知機能、早産児の発達検査など現在必要とされているさまざまな最新の検査を理解すること、実施できることとともに結果をクライアントの回復に資するための検査者の倫理的な姿勢について学ぶ。			
	臨床心理学研究法特論	(概要) 本講義では、臨床心理学研究の基本、研究の方法、研究の実際について研究論文に触れて具体的に理解するとともに、受講者自らの研究テーマや関心に基づいて発表と討議を行い、臨床心理学に関する各自の理解を深めることを目的としている。また、研究のための倫理的配慮及び研究倫理の理解を目指す。  (1 島田 涼子) 倫理的配慮と研究倫理について。  (5 中野 博子) 面接・心理的支援における事例研究法について。  (7 大澤 一郎) 量的研究法の基本は、研究の対象とする心理的概念を計量的に測定できるように定義し、測定尺度を構成することである。この心理尺度の構成における利点や欠点を学ぶ。  (9 村上 香奈) 調査(面接や自由記述)における質的研究法について。	共同		
	心理統計法特論	心理統計は、記述統計と推測統計とに分かれる。両者の目的と手法について、それぞれの意味及び相違点を学ぶ。 さらに研究の目的に応じた統計検定について、その理論と限界について学ぶ。			
	カウンセリング特論	治療的な視点とは別の視点に立つ対人支援のあり方としてカウンセリングについて学ぶ。そのためにカウンセリングの考え方の背景にある「パーソン・センタード」の視点に基づいた支援について理解するとともに、様々な現場でパーソン・センタードの視点からカウンセリングを行うこととは具体的にどういうことかを学ぶ必要がある。以上の点について実践の上での特徴と問題について臨床現場の事例を示しながら検討し理解を深める。			
展開分野科目	援助技法科目	心理療法特論	心理療法の大きな系統として、精神分析、ユング心理学(分析的心理学)、人間性心理学のスタンスそれぞれについて学び、それらの違いと共通点を理解する。さらに近年これらを結びつけ臨床理論として広まりつつある関係性の視点について事例を通して学ぶ。特に関係生理論の理解に欠かせない対象関係学派、自己心理学派、そしてユングの理論を深く学んだうえで、転移・逆転移、投影同一視といった現象への理解を深める。		
	臨床心理実践科目	医療保健領域科目	心身医学特論	心身医学は、身体的・心理的・社会的側面という多面的な理解を通して全人的にアプローチする医学の領域である。その扱う領域は、心理社会的因子が発症や経過に影響を及ぼす心身症はもちろんのこと、すべての医学的状態が対象となる。心身医学の歴史と心身医学の基礎理論を学び、さらに代表的な心身症と、心身症に対する治療的対応、心理療法について学ぶ。	
		臨床心理実践科目	精神医学特論	こころや脳の働きの変調や障害について理解するとともに、精神疾患の診断や治療のあり方：代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援等を学んでいく。臨床心理士養成課程である点を踏まえ、チーム医療についてや福祉関連などの関連職についても理解を深める。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
展開分野科目	教育領域科目	学校臨床心理学特論	心理臨床家の専門性は学校現場で広く求められている。その一方で、カウンセリングルームでクライアントを待つのが一般的である心理臨床家の態度は学校現場では批判の対象となる。本科目では学校とは何かを知り、心理臨床家が学校で求められていることや学校での振る舞い方を理解する。また、小学校、中学校、高等学校という児童・生徒の発達段階に応じた対応や、保護者への対応、教職員へのコンサルテーションについても学ぶ。		
		教育心理学特論	教育心理学は、幼児・児童・生徒の特性を成長・発育を考慮したアセスメントが必須である。保育園・幼稚園や学校という集団の環境で、教育に携わる側が陥りやすい問題点なども学ぶ。		
		発達心理学特論	近年臨床心理学の中でも扱われることの多い子どもの虐待や、パーソナリティの障害の問題においては、人生初期の対人関係の問題が指摘されている。発達心理学特講ではライフサイクル、アタッチメントをキーワードとして、生涯発達心理学の視点から、基本的な文献を講読し、対人関係の成長についての理解を深める。以上の作業を通じ、よりよく生きるために必要なものは何かを考究する。		
	臨床心理実践科目	福祉領域科目	老年心理学特論	これまで「衰退と喪失」の時代として考えられてきた高齢期の意義について、生涯発達や心身健康といった観点から再考するとともに、高齢期における精神機能の加齢変化とそのメカニズムについて理解を深め、さらに高齢期の精神機能を維持するために必要となる心理・生理的要因について、心理学、老年学の最近の知見に基づいて考求する。授業では「老化の意義」「心の老化と認知症」「健康な高齢期の実現」といったテーマを適宜提示し検討していく。	
		領域科目 司法・矯正	犯罪心理学特論	近年、心理臨床家が警察、司法、矯正等の領域で、あるいはスクールカウンセリングや福祉の領域で非行や犯罪関係の事例にかかわる機会が多くなっている。身近な非行・犯罪臨床と教育現場での青少年問題の実際から実践的なテーマを中心に講義を展開する。	
	産業領域科目	産業カウンセリング特論	現代社会、特に産業社会では経営環境の悪化とともに多くの人々のこころの健康が脅かされている。産業カウンセラーは、働く人々のこころの健康を支援するために、職場生活の適応上の諸問題に対して心理的手法により相談を行い、解決への援助を行う。近年は、企業、各種団体、地域におけるメンタルヘルス、キャリア開発、人間関係開発等を担うことも多い。本講義では、産業カウンセリングに携わる者の知識、スキルを、多様な産業形態、特質などを踏まえて修得していく。		
		人間関係学特論	心理療法を求めて来談するクライアントの多くが人間関係に問題を抱えている。フロイトにおける親子関係（二者関係、三者関係）についての理論を土台とし、対人関係学派、対象関係論、自己心理学における人間関係についての理解を学ぶ。さらに、パーソンセンタードやゲシュタルト療法、交流分析等における人間関係に関する理論を学び、それらを通して、あらゆる関係の土台となる転移・逆転移関係についての理解を深める。		
	臨床心理技法科目	臨床心理援助技法論Ⅰ(個人心理療法)	心理的援助を求めて来談するクライアントはどのような問題を抱えているのか、治療初期、中期、終結期でそれぞれどのようなことが起こり得るのか、治療者はどのように治療過程を促進するのか、留意すべき点は何か、治癒原因は何か等について、事例を通して理解する。生育歴や現症、現病歴等からの精神病理やパーソナリティの理解、治療仮説および治療方針の検討、治療ゴールの設定および治療契約の結び方についても学ぶ。		
		臨床心理援助技法論Ⅱ(集団心理療法)	1年次では、ヤーロムの理論を通して集団精神療法の有効性を学び、モレノのサイコドラマ、パールズのゲシュタルト療法、バーンの交流分析等の理論と実際について事例を通して学ぶ。 2年次では、グループでの演習を通して、1年で学んだ理論の有効性とともグループプロセスを体験し、実際のグループの進め方を修得する。		
		臨床心理援助技法論Ⅲ(臨床心理査定)	実際の心理臨床・発達臨床の現場では、心理検査等によって対象者を理解するための有用な資料を得るだけでなく、その資料を基に、適切な評価・見立てを行い、効果的に援助・支援につなげていく必要がある。本科目では心理検査の導入から援助・支援までの過程において必要な基礎知識と技法を、ケース検討等を通して修得する。また、臨床心理的援助における査定結果の報告や倫理についても考える機会とする。		



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
展開分野科目	臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	心理臨床の専門家を目指すために必要な基礎的な実習を行う。具体的に、学内施設において実際のケースを想定したロールプレイ（面接・電話受付等）、基礎的実習（試行カウンセリング等）や心理検査（人格検査、知能検査等）を学生相互で行う。また、スタッフが担当しているケースへの陪席、指導を受けながらインテーク面接を行う。以上の内容については、スーパービジョンやケースカンファレンスを通してケースの理解を深め、ケースを担当することを学ぶ。
		臨床心理基礎実習Ⅱ	心理臨床の専門家を目指すために必要な実習を学内施設にて行う。主に、自身でケースを担当し、インテーク面接や面接を行う。また、スーパービジョンやケースカンファレンスを通して、ケースを理解する。また、学内施設の運営（受付業務、陪席等）にも参加する。なお、受講者の能力や関心によって個別に異なるプログラムとなることがある。
		臨床心理実習Ⅰ	実際の心理臨床の現場を知ることにより、自身が心理臨床の専門家として働くということを理解する。具体的に、精神病院（デイケア含む）の見学や実習を行う。実習を通して学んだことについてのスーパービジョンやグループでのカンファレンスを通してより広い視野から理解でき支援につなげていける力を修得することを目指す。
		臨床心理実習Ⅱ	実際の心理臨床の現場を知ることにより、自身が心理臨床の専門家として働くということを理解する。具体的に、学外施設（児童相談所、鑑別所、福祉事務所など）での見学や実習を行う。実習を通して学んだことについてのスーパービジョンやグループでのカンファレンスを通してより広い視野から理解でき支援につなげていける力を修得することを目指す。
研究指導	臨床心理学特別研究（修士論文）	<p>（概要） 臨床心理学の研究法に関する最新の知見について探究できる能力を修得し、臨床心理学の専門家として必要な思考力、判断力、技能、表現力を得て、自らの研究に活用できる力を養成し、各自の関心のあるテーマについての修士論文を完成させることを目的とする。方法として各大学院生が自らの研究テーマの発表を行い、大学院生相互の研究領域について情報交換、議論を行うとともに、教員を交えた議論を通じて、特別研究の実施に必要な研究法を修得する。また、研究発表を行うこと、議論に参加することを通じて、研究に関わる技能とコミュニケーション能力、さらに組織における関係調整能力の向上を図る。</p> <p>（1 島田 涼子） 医療領域における患者（クライアント）の心理治療過程について、心身相関および精神分析・交流分析における関係性の視点から特別研究の実施を指導する。</p> <p>（4 坪井 康次） 医療および産業メンタルヘルス領域における患者、クライアントに対する治療や援助に関する心身相関の視点を含む研究テーマについての特別研究を実施する。</p> <p>（5 中野 博子） 医療領域（看護領域をも含む）におけるクライアントやスタッフの分析や支援に関するテーマのうち、各自の関心の高いテーマについて具体的な研究計画を立て、特別研究を実施し、研究をまとめる力を修得する。</p> <p>（7 大澤 一郎） 障がい者、高齢者、妊婦など、いわゆる社会的弱者に関わる現実的な課題について、最適な研究方法や留意点を含めた研究指導を行う。</p> <p>（9 村上 香奈） 学校における諸問題（不登校、いじめ、発達障害など）、大学生への発達の観点からの支援、支援・援助の効果測定に関する研究から興味のある分野について特別研究の実施を指導する。</p>	

## 10 設置の趣旨等を記載した書類

## ア. 設置の趣旨及び必要性

### 1. 大学・大学院の沿革と理念

学校法人早稲田医療学園は、平成 12 年 4 月に私学初の通信制のみの大学として、人間総合科学大学を設立した。人間科学部人間科学科（通信教育課程）において、既存の学問領域の成果を継承しつつ、「人間」に関わる専門化・細分化された学問を、「こころ」、「からだ」、「文化」の側面から学際的・総合的に統合するアプローチを目指してきた。また学習システムには最先端の情報通信ツールを採り入れ、「いつでも、どこでも学修できる」学問の府として、社会人のニーズ及び生涯学習の理念に合致した教育を行っている。

この人間科学科を基礎として、平成 16 年 4 月に、諸学問領域にわたり「人間」をさらに学際的・統合的に追究することを目指し、学部教育だけではなく、より深い専門的知識を教授・探究するために、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻修士課程（通信教育課程）を設置し、基礎学部で学ぶ人間科学をさらに深化・発展させ、人間の「こころ」と「からだ」の関連性から、人間、生命」と健康や QOL（生命の質、生活の質）等についての研究に取り組んでいる。

心身健康科学専攻では、心身相関の科学に根ざした深い学識と基礎的研究能力を応用し、保健、医療、福祉、教育、健康関連職種等の現場で直面する、健康をテーマとした諸問題の解決において指導的な役割を果たす人材を養成している。平成 19 年 4 月にはこの心身健康科学専攻に博士後期課程を開設し、心と身体の有機的関連性を理解するための法則性についての深い学識と高度な研究遂行能力とを養い、学際的・統合的な視点と姿勢をもって自立して研究活動のできる人材と、先駆的な領域を開拓できる人材を養成、輩出することを目的として教育・研究を実施している。

平成 21 年 4 月には人間科学部健康栄養学科を基礎とする大学院人間総合科学研究科健康栄養科学専攻を開設し、深い人間理解を基盤として「栄養・食」の観点から実践的な専門的能力を備えて活躍する職業人・研究者の育成を行っている。

### 2. 臨床心理学専攻の設置の趣旨及び必要性

#### (1)現代社会の健康上の課題

現代のわが国は、近年の科学技術の発展とともに、かつてない豊かな社会を実現することができた。その一方で豊かなるがゆえに派生してきた問題もさまざまな形で現れている。その中で、現在、人々が自らの生きがいを見出し、心と身体の健康を維持しながら、すべての人が共生できる豊かな未来社会を築くことが求められている。それに応えるためには、特にこころの機能に関して科学的探究を行うことが必要であり、心身の有機的な関連性を社会

的・文化的視点を踏まえ学際的に研究を進めていくことが不可欠である。また現代社会では、「健康」の概念が変化しており、心の健康に関しても、従来のように健康を病気の対立概念として捉えるのではなく、両者をひとつの連続した状態の変化として捉えなおし、健康阻害要因だけでなく積極的に健康を維持し高めていく要因を分析し、より健康的な生活を目指す環境づくりが必要とされている。これからの健康社会の実現には、生物学的な観点に加えて、心理・社会的側面を考慮し、生活の質（QOL）の向上を図る、心の健康づくりが重要となっているのである。

## (2)人材養成の基本的な方向性

生涯にわたる充実した福祉と心の健康を支える人材として心理臨床の専門家（臨床心理士）の活動範囲は広範にわたり、またその現代社会における役割の重要度は月日を経るごとに増している。

本臨床心理学専攻では、現代人の健康について、特に心の側面から科学的、総合的に追究し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもってその保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、確かな倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職として以下のよう臨床心理士の養成を行う。

- ・健康、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材
- ・心理的問題を抱え支援を要する者の心理状態を受け止め、その心理を客観的に評価するとともに相談に応じ、適切な支援を行える人材
- ・心理的問題を抱え支援を要する者だけでなく、家族など本人を取り巻く関係者への相談にも応じ、適切な支援を行うことのできる人材
- ・心の健康に関する知識や技術の教育及び普及、情報の提供を行うことのできる人材

## (3)修了後の進路と人材需要の見通し

臨床心理学専攻修了後の進路としては、以下を想定している。

- ・教育分野  
[スクールカウンセラー／教育センター／各種教育相談機関／学生相談室など]
- ・医療・保健分野  
[病院・診療所（精神科、心療内科、神経内科、小児科他）／保健所／精神保健福祉センター／リハビリテーションセンター／市町村の保健センターなど]
- ・福祉分野  
[児童相談所／療育施設／心身障害者福祉センター／障害者作業所／女性相談センター／老人福祉施設など]
- ・司法・矯正分野

[家庭裁判所／少年鑑別所／刑務所／拘置所／少年院／保護観察所／児童自立支援施設／警察関係等のさまざまな専門的相談窓口など]

・労働・産業分野

[企業内相談室／企業内健康管理センター／安全保健センター／公立職業安定所（ハローワーク）／障害者職業センターなど]

臨床心理士の活躍の場は多岐にわたっているが、特に保健・医療、福祉、教育分野でのニーズが大きい。第三者による、医療機関、福祉施設、教育機関へのアンケート結果からも、病院、学校（教育委員会含む）からの採用意欲が高いことがわかっている。また、既設の学部、専攻の状況から、本専攻への入学者は一都三県が中心になると思われるが、一都三県のハローワークの臨床心理士資格保持者の募集状況をみても、医療、福祉分野が突出している。教育分野については、今後、スクールカウンセラーの配置が進んでいくと考えられる。これは埼玉県、東京都における自治体のヒアリング結果からもうかがわれた。

本専攻が養成する「様々な分野で」「現代人の心の健康の保持、増進、回復を図る」人材の需要は臨床心理士の活躍の場が拡大していく中で、特に医療、福祉、教育の分野で高まっていくと見込まれる。

（「学生確保の見通し等を記載した書類」参照）

### 3. 通信制による学びの提供

本学が通信教育課程として、臨床心理学専攻を設置するのは、社会人であったり、遠隔地に居住しているなどの事情から、時間的、地理的に通学課程では学修できない者に対して多様な学びの機会を提供するためである。

2010年に25、203名の社会人を対象に実施された『大学教育に関する職業人調査』によると、大学院修士課程について、14.8%が「機会があれば修学したい」、33.7%が「関心はある」と回答しており、併せて約5割の社会人が大学院進学に興味を持っていることがわかった。このように、潜在的な大学院進学希望者が多いにも関わらず、実際には、社会人が修士課程に多く進学しているわけではない。

※『学校基本調査』によると、平成26年度に大学院修士課程に進学した72,856名のうち、社会人は7,674名(10.5%)に過ぎない(専門職大学院進学者は、6,638名中、2,983名(44.9%))。専門職大学院を併せても、10,657名(13.4%)に過ぎない。

社会人の大学院進学が低迷している理由は様々であろうが、『大学教育に関する職業人調査』によると、在職のまま大学院で勉強するための条件として、「土曜、夏休みなどの開講」「夜間の開講」「長期の履修」「便利な場所」「インターネットなどでの授業」「教育ローン」の要望が強かったことから、社会人にとっては、「時間」「場所（地理的利便性）」「お金」の問題が大きいとことがわかる。対人支援を学ぶ臨床心理士養成の学習においては実習の積

み重ねが教育の重要な体験になる。必要な実習面に関しては妥協のない実習教育を重視しつつも、自宅で学習可能な知識の習得等に関して、ICT教育の学び（WebやTV会議など）を取り入れ、上記の問題が解決する。

実際、臨床心理士養成大学院について、通信課程での学びの提供のニーズが大きい。日本私立学校振興・共済事業団（私学事業団）の『平成26（2014）年度私立大学・短期大学等入学志願動向』によると、通学、通信含めた心理系の大学院修士課程の志願者倍率は2.04倍であったが、放送大学大学院修士課程臨床心理学プログラムは15.5倍（平成26年度）、佛教大学大学院修士課程教育学研究科臨床心理学専攻は、9.7倍（平成26年度）であった。

※現在、通信課程で臨床心理士の養成を行っているのは、放送大学大学院、東京福祉大学大学院、佛教大学大学院の3校のみである。

本学では、インターネットでのTV会議等を利用した授業に加え、スクーリングの実施を千代田区の東京サテライト（御茶ノ水）で行うことで学生の利便性を図る予定である。

実習は大学附属カウンセリングセンターを置き、1）一定期間に集中的に実習を実施する集中型と、2）定期的に週に1回の実習を実施する継続型の、2パターンのカリキュラムを準備し、院生（社会人）のニーズに合わせた対応を行う。

資料①：「大学教育に関する職業人調査」<抜粋>

## イ. 修士課程までの構想か、または、博士課程までの構想か

本専攻は「様々な分野で」「現代人の心の健康の保持、増進、回復を図る」人材、高度専門職としての臨床心理士の養成を目的とするものであり、よって修士課程までの構想である。

## ウ. 研究科、専攻等の名称及び学位の名称

(1)研究科、専攻の名称

人間総合科学研究科 臨床心理学専攻（M）

（英訳）Graduate Division of Human Arts and Sciences

Master's program of Clinical Psychology

(2)学位の名称

修士（臨床心理学）

（英訳）Master of Clinical Psychology

## エ. 教育課程の編成の考え方及び特色

### 1. 教育課程の編成の考え方

本専攻の教育課程は、研究科の目指す心身健康科学の柱の一つとして、「現代人の健康について、特に心の側面から科学的、総合的に追究し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもってその保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材」及び「幅広い教養、確かな倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士」を養成するために構成された。大きく、基礎分野科目群、展開分野科目群、研究指導の科目群によって構成されている。

基礎分野科目群はすべて1年次配当科目で構成される。ここには、人間の「こころ」と「からだ」の関連性を総合的に学べる科目と臨床心理学の基礎理論、面接技術、査定技術などについて学ぶための科目を配置した。展開分野科目群は基礎を踏まえた応用科目で構成され、大きく臨床心理実践科目群、臨床心理技法科目群、臨床心理実習科目群に分かれる。臨床心理実践科目群は臨床心理士の具体的な活躍の場を想定した領域毎に科目を配している。関連職種との連携・協働を意識した学びを提供する。臨床心理技法科目群では心理援助の技法を学ぶ。臨床心理実習科目群は実際に実習を行う科目群である。学内施設、学外施設の実習を通じて専門職としての実践力を磨く。研究指導科目としては、臨床心理学特別研究を置いている。

各科目群を構成する科目は以下の通りである。

#### (i) 基礎分野科目群

人間の「こころ」と「からだ」の関連性を総合的に学ぶために、「心身健康科学特講」、「認知脳科学特講」、「ストレス学特講」を置いた。特に「心身健康科学特講」は本学の掲げる心身健康科学の一面としての臨床心理学を展開する上で、その重要性を鑑み必修科目としてある。「臨床心理学特論Ⅰ」「臨床心理学特論Ⅱ」は、高度専門職業人としての臨床心理士に求められる倫理観、専門知識、専門技能とは何かを学び、セラピストとしての基本的な姿勢の習得のために設定した。「臨床心理面接特論Ⅰ」「臨床心理面接特論Ⅱ」では、心理面接の過程を段階を追って学ぶ。クライアントの抱える問題の査定、ゴールの設定等を具体的な事例を通じて理解する。「臨床心理査定演習Ⅰ」では、具体的事例を使って、面接・行動観察・心理検査におけるアセスメントによって対象者の状態を把握し、援助・支援を検討する。「臨床心理査定演習Ⅱ」では、知能検査、人格検査に加えて、最近の心理臨床の領域で必要とされている発達障害や高齢者の認知機能、早産児の発達検査など現在必要とされているさまざまな最新の検査を理解する。「臨床心理学研究法特論」では、臨床心理学研究の基本、研究の方法、研究の実際について研究論文に触れて具体的に理解するとともに、研究のための

倫理的配慮及び研究倫理の理解を目指す。「心理統計法特論」では、主として記述統計と推測統計の目的と手法について学ぶ。「臨床心理職関連行政・倫理特論」では、臨床心理活動に関わる医療・保健・福祉・教育・司法領域の行政・職業倫理についての基礎を学ぶ。

## (ii)展開分野科目群

### (1)援助技法科目群

「カウンセリング特論」では、治療的な視点とは別の視点に立つ対人支援のあり方としてカウンセリングについて学ぶ。「心理療法特論」では、心理療法の大きな系統として、精神分析、ユング心理学(分析的心理学)、人間性心理学のスタンスそれぞれについて学び、それらの違いと共通点を理解する。

### (2)臨床心理実践科目群

医療保健領域科目として、「心身医学特論」「精神医学特論」を置く。「心身医学特論」では、心身医学の歴史と心身医学の基礎理論を学び、さらに代表的な心身症と、心身症に対する治療的対応、心理療法について学ぶ。「精神医学特論」では、こころや脳の働きの変調や障害について理解するとともに、精神疾患の診断や治療のあり方、代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援等を学んでいく。

教育領域科目として、「学校臨床心理学特論」「教育心理学特論」「発達心理学特論」を置いた。「学校臨床心理学特論」では、小学校、中学校、高等学校という児童・生徒の発達段階に応じた対応や、保護者への対応、教職員へのコンサルテーションについて学ぶ。「教育心理学特論」では、幼児・児童・生徒の特性を成長・発育を考慮したアセスメントや保育園・幼稚園や学校という集団の環境で、教育に携わる側が陥りやすい問題点などを学ぶ。「発達心理学特論」では、ライフサイクル、アタッチメントをキーワードとして、生涯発達心理学の視点から、基本的な文献を講読し、対人関係の成長についての理解を深める。

福祉領域科目としては、「老年心理学特論」を置いた。「老年心理学特論」では、高齢期における精神機能の加齢変化とそのメカニズムについて理解を深め、さらに高齢期の精神機能を維持するために必要となる心理・生理的要因について、心理学、老年学の最近の知見に基づいて考求する。

司法・矯正領域科目としては、「犯罪心理学特論」を置いた。「犯罪心理学特論」では、身近な非行・犯罪臨床と教育現場での青少年問題の実際から実践的なテーマを中心に学ぶ。

産業領域科目としては、「産業カウンセリング特論」「人間関係学特論」を置いた。「産業カウンセリング特論」では、産業カウンセリングに携わる者の知識、スキルを、多様な産業形態、特質などを踏まえて修得していく。「人間関係学特論」では対人関係学派、対象関係論、自己心理学における人間関係について学ぶ

### (3)臨床心理技法科目群

「臨床心理援助技法論Ⅰ(個人心理療法)」では、心理的援助を求めて来談するクライエン



トの抱える問題、治療過程、留意点、治癒原因について、事例を通して理解する。「臨床心理援助技法論Ⅱ(集団心理療法)」では、ヤーロムの理論を通して集団精神療法の有効性を学び、モレノのサイコドラマ、パールズのゲシュタルト療法、バーンの交流分析等の理論と実際について事例を通して学んだ後、グループでの演習を通して理論の有効性とともグループプロセスを体験し、実際のグループの進め方を修得する。「臨床心理援助技法論Ⅲ(臨床心理査定)」では、心理検査の導入から援助・支援までの過程において必要な基礎知識と技法を、ケース検討等を通して修得する。

#### (4)臨床心理実習科目群

「臨床心理基礎実習Ⅰ」では、学内施設において実際のケースを想定したロールプレイ(面接・電話受付等)、基礎的実習(試行カウンセリング等)や心理検査(人格検査、知能検査等)を院生相互で行う。「臨床心理基礎実習Ⅱ」では、学内施設で、教員等の心理面接の陪席の機会を得るとともに、院生がケースを担当し、インテーク面接や面接、心理検査の検査者を担当するとともに、これらの体験について個人スーパービジョンやケースカンファレンスを通じて指導を受け、理解を深める。「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」では、実際の心理臨床の現場を知ることにより、自身が心理臨床の専門家として働くということを理解するために、単科精神科病院(デイケア含む)、精神科クリニック、心療内科などの医療領域、その他の学外施設(学校、児童相談所、鑑別所、福祉事務所など)での見学および実習を行う。

#### (iii)研究指導

臨床心理学特別研究(修士論文)では、臨床心理学の研究法に関する最新の知見について探究できる能力を修得し、臨床心理学の専門家として必要な思考力、判断力、技能、表現力を得て、自らの研究に応用できる力を養成し、各自の関心のあるテーマについての修士論文を完成させることを目的とする。

なお詳細は、「カ. 教育方法、履修指導、研究指導の方法及び修了要件」を参照。

## 2. 必修科目・選択科目・自由科目の構成と配当年次の考え方

基礎分野科目群は、本学の基本理念の一つである「心身健康科学」を学ぶ科目と臨床心理学の基礎を学ぶ科目で構成されている。このため、すべてが1年次配当科目であり、「心身健康科学特講」「臨床心理学特論Ⅰ」「臨床心理学特論特講Ⅱ」「臨床心理面接特論Ⅰ」「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理査定演習Ⅰ」「臨床心理査定演習Ⅱ」は、必修科目となっている。

展開分野科目群の中でも、援助技法科目群、臨床心理技法科目群及び臨床心理実践科目群は選択科目となっている。これは将来、臨床心理士として活躍する分野によって適切な科目

を選択できるように配慮したことによる。援助技法科目群、臨床心理技法科目群を主に2年次前期に配し、臨床心理実践科目群を2年次後期3年次前期に配することにより、院生が段階的に学修を進められるように配慮した。臨床心理実習科目群はすべて必修科目である。臨床心理学は実践の学問であり、常に理論と実践のインタラクティブな関係を求めるものであるので、1年次後期から3年次前期まで各学期に配当してある。

「臨床心理学特別研究」は必修科目として、1年次に開講される「臨床心理学研究法特論」や「心理統計法特論」を踏まえた上で、2年次3年次に開講される。

## 資料②：3年間の授業計画

### 3. 教育課程の編成の特色

本学人間総合科学研究科では、人間の「こころ」と「からだ」の関連性から、「人間」「生命」と生涯健康やQOL（生命の質、生活の質）等についての研究に取り組んでいる。

本専攻の教育課程は、特に心の側面から科学的、総合的に現代人の健康について追究することをその特色としている。具体的には、科目として「心身健康科学特講」、「認知脳科学特講」、「ストレス学特講」、「心身医学特講」をおいている。また、「健康、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材」を育成すべく、臨床心理実践科目群には、臨床心理士の具体的な活躍の場を想定した領域毎の科目を配している。関連職種との連携・協働を意識した学びを提供することを目的としたものである。

### 4. 教育方法の特色

「セ. 通信教育の実施に関する具体的計画」に記載した。

## オ. 教員組織の編成の考え方及び特色

本専攻では、心とからだの相関性を基盤に、臨床心理学に関する専門知識を実践現場で活用し、臨床実践を主体的に行える能力を有する高度専門的職業人と研究者を養成することを目標としている。

そのために、医療、福祉、教育、産業等の各領域における臨床心理を専門とする教員によって教員組織を編成しているが、特に医療、教育の現場における心理臨床実践に習熟し事例研究や学術研究についても重視している専任教員を配備した。

臨床心理学専攻の教員編成にあたって、それぞれの研究領域において十分な業績を有している専任教員 6 名があたる。本学・臨床心理学専攻の特徴から、医療領域では、心療内科・精神科医療、また教育領域では、初等・中等教育・児童福祉や特別支援教育等の分野で優れた能力を発揮した人材を採用し、臨床心理学専攻の実践重視の教育体制を支える教員編成とした。なお、設置母体となる人間総合科学研究科から、心身健康科学専攻における心身相関を科学的に探求する基礎領域の教育・研究指導を 3 名の教授が担当し、臨床心理学の専門職として幅広い知見を教授する。

教員組織は、原則として教授の層を厚くし、教授が教育にあたることとしている。このことで、教育研究水準の維持向上、及び教育研究の活性化に資する教員組織の構成となっている。

## カ. 教育方法、履修指導、研究指導の方法及び修了要件

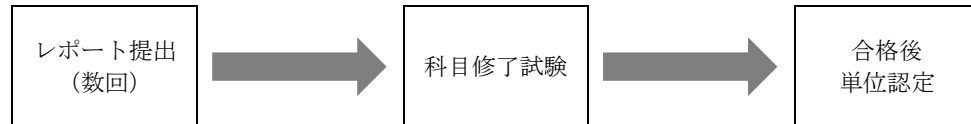
### (1)教育方法

本専攻は、通信教育課程であるが、通学課程の面接授業と同等の教育効果を挙げるために、印刷教材学修、面接学修に加え、さまざまな情報通信（ICT）技術を活用した教育方法を実践する。

#### (i)印刷教材学修（在宅）

印刷教材学修では、「自宅学習 → 課題レポート提出→教員や他の学生・院生とのオンラインでの意見交換 → 科目修了試験」の順に実施する。

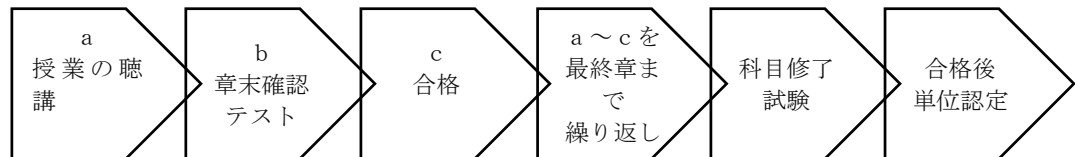
なお、科目修了試験はポータルサイトを通してレポートを提出する方法で行い、科目修了試験に合格することにより単位を認定する。



#### (ii)メディア学修（面接授業：在宅）

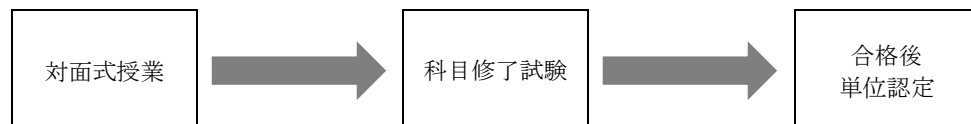
メディア学修では、「a. インターネットによる授業の聴講 → b. 章末確認テスト → c. 合格 → a～cを最終章まで繰り返し → 科目修了試験」の順に実施する。

なお、科目修了試験はポータルサイトを通してレポートを提出する方法で行い、科目修了試験に合格することにより単位を認定する。



#### (iii)対面式学修（面接授業）

実習科目、演習の含まれる科目を中心として対面式講義を大学院のキャンパスにおいて実施します。



#### (iv)実習

「サ. 実習の具体的計画」に記載した。

### (v)ICT 技術を活用した学修支援

人間総合科学研究科では、実習等を除く全ての科目がインターネット（ポータルサイト）で受講できる体制を整えており、院生からの質問および教員からの回答も、全てポータルサイトを通して行われている。ポータルサイトを利用した院生と教員とのやりとりは、時間を選ばず迅速に行うことが可能であるため、院生の学習意欲の持続に効果的であり、多様な院生の学修を可能としている。加えて、TV 会議システムを活用し対面式の面接指導に近い研究指導が行われている。また、演習科目では、本システムを利用してプレゼンテーションやディスカッションを行っている。



左：学修ポータルサイトを用いたオンラインディスカッション

右：TV 会議システムを用いたオンラインディスカッション

## (2)履修指導

1 年次は、臨床心理士受験資格に必要でありかつ必修科目である「臨床心理学特論Ⅰ」「臨床心理学特論Ⅱ」「臨床心理面接特論Ⅰ」「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理査定演習Ⅰ」「臨床心理査定演習Ⅱ」を受講する。また、心身健康科学に関する深い学識を修得させるため、必修科目の「心身健康科学特講」に加え、「認知脳科学特講」あるいは「ストレス学特講」を選択するよう指導する。また、研究活動に必要なリサーチ方法、論文作成方法を身に付けさせるために、「臨床心理学研究法特論」「心理統計学特論」の選択を促す。2 年次は、主に展開科目群が配当されており、臨床心理士として活躍する様々な領域に関連する科目を選択できる。3 年次は、論文作成がメインとなる中で臨床心理実践科目群から具体的な進路に応じた科目の選択を指導する。

### 資料③：履修モデル

## (3)研究指導の方法

「臨床心理学特別研究」では、2 年次の 4 月に決定する研究指導教員が、2 年間研究指導にあたり、研究計画の作成から修士論文の完成に至る研究活動を終始一貫して指導する。研

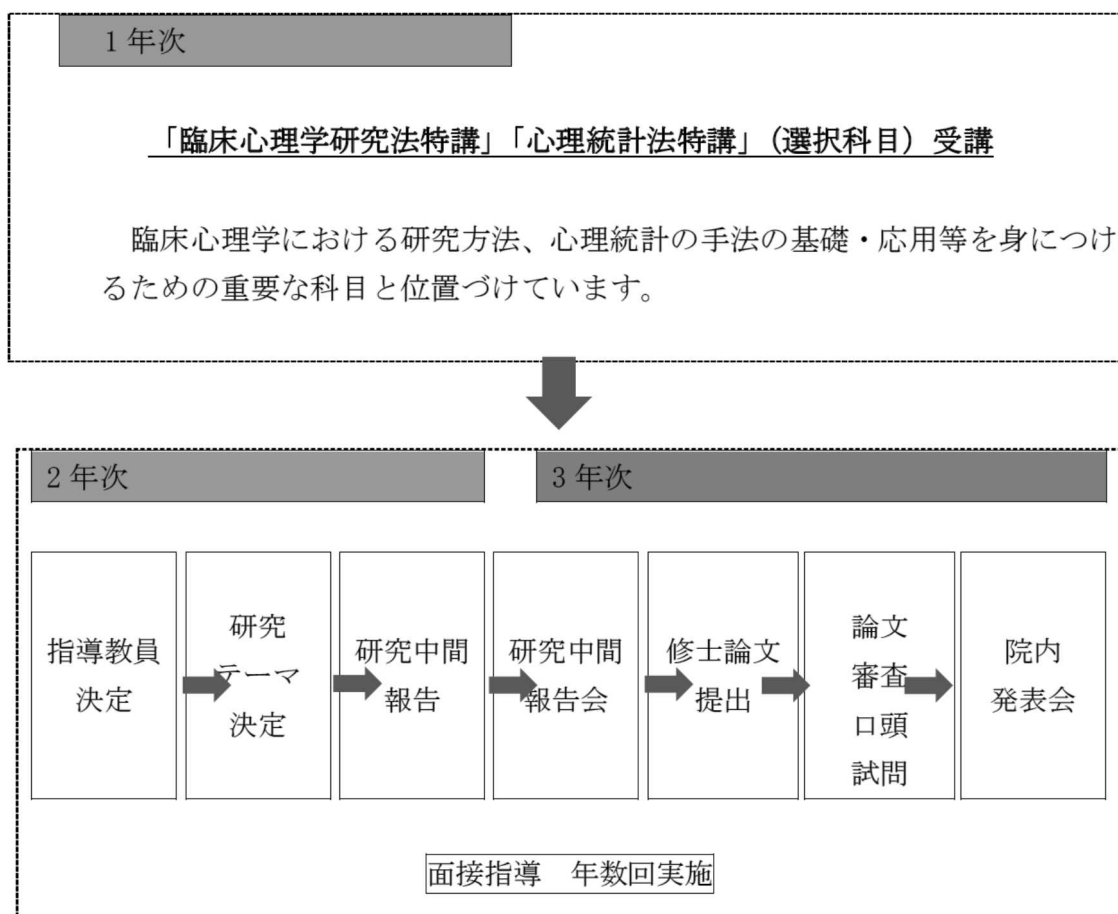
究指導にあたっては、計 10 回（毎年 5 回程度）の研究のための個別面接指導のほか、必要に応じて随時面接指導、ポータルサイトでの個別指導を実施する。

人間総合科学研究科では、開設以降、指導教員が、定期的な面接指導と、日常的な双方向型のオンラインシステムを利用した研究指導を行うとともに、中間報告会を開催し、研究内容の質向上を図るとともに、プレゼンテーション能力等、研究者としての基本的な能力の育成も行ってきた。同様に、本専攻においても面接指導とオンライン指導を融合させた研究指導体制を採用している。

さらに、本専攻では、学際的な研究指導を行うために複数教員制をとり、研究指導教員に加えて専門の異なる教員をサポート教員として配置している。サポート教員は専門的立場から、院生に対して助言を与え、院生からの質問に応じることで、きめ細かな指導を実現している。

#### 【臨床心理学特別研究（修士論文）の研究指導の流れ（スケジュール）】

臨床心理学領域において自立した研究活動を行うことができる能力を養成し、独創的な研究成果を達成するために臨床心理学特別研究において修士論文の作成がなされる。



## **1年次**

院生はまず「臨床心理学研究法特論」「心理統計法特論」から臨床心理学における研究方法と心理統計法の基礎を学ぶ。その中で臨床心理学専攻専任教員とのやり取りを通して「研究テーマ」を模索する。

## **2年次**

### **【面接指導、TV会議システム上の指導】**

2年次4月上旬に指導教員を決定し、研究テーマを決定し、研究に取りかかる。その間、年間5回の面接指導(必修)のほか、随時 UHAS@My キャンパス上で研究および論文指導、質疑応答等を行う。また、必要に応じて、TV 会議システム等のメディアを利用した指導も可能であり、さらに指導教員以外の教員からも指導・助言を受けることができる。

面接指導は指導教員と直接会って指導を受けることを原則とする。やむを得ぬ事情がある場合に限り、TV 会議システム等を利用した指導で代替することができる。

### **【研究計画書作成】**

指導教員との面接指導を通して、5月末日までに研究計画書を作成する。以後、この計画に沿って指導を受けながら研究を進める。

### **【文献レビューワークシート提出】**

7月～9月にかけて、院生は文献検索と文献レビューを行う。7月は研究に必要な文献の検索に慣れながら、数件の文献を「文献レビューワークシート」に沿って UHAS@My キャンパス上に提出。

### **【研究ドラフトアウトライン】**

第2年次の9月中に「序論」「方法」「結果」「考察」「結論」といった論文の構造を示すアウトラインを提示する。

### **【ドラフト提出 1～2回】**

11月～2月にかけて、ドラフト(下書き・草稿/4,000字～8,000字)を作成し提出する。提出後、12月～2月上旬まで、指導教員とディスカッションを繰り返しながら、ドラフト提出を繰り返す。

### **【研究経過中間報告書 提出】**

2年次の終わりにこれまでの研究経過をとりまとめ、中間報告書として UHAS@My キャンパスにて提出する。

## **3年次**

### **【中間報告会】**

2年次の3月に提出した研究経過中間報告書に基づき、一人約7分の発表と約8分の質疑応答を行う。その際に教員や他の院生からの意見を取り入れて、その後の研究を進める。

### **【アブストラクト提出】**

4月下旬に約600字程度のアブストラクトを提出する。次回のドラフト提出を控え、研究

の全体像を再検証することが目的である。

**【ドラフト提出 3～4回】**

6月以降、最終原稿案を目指して、ドラフト（下書き・草稿）の提出を繰り返す。提出されたドラフトは、指導教員および副査の教員が査読し、加筆修正意見が付されるなど UHAS @My キャンパス上での作業が行われる。

**【修士論文最終原稿(案)提出】**

教員からの指導をもとに、修士論文の最終原稿(案)の作成を進める。

**【修士論文の提出】**

11月下旬に所定の提出要領に従い、修士論文を提出する。

**【審査・口頭試問】**

修士論文提出者は、2月上旬に口頭試問を受ける。審査は、主査（指導教員）および副査で行われる。

**【合否判定】**

審査・試問に合格し修了となった場合、論文および報告書の内容は指定された書式で学内外に公表される。その後、大学院内（人間総合科学研究科）の院内発表会が行われる。

**【修士論文作成の倫理的手続き】**

本研究科での、人間を対象とした研究を行う際には、指導教員との連名で、人間総合科学大学倫理委員会に倫理審査を申請し、承認を受け研究を進めることとなる。

**資料④：人間総合科学大学 倫理委員会規程**

**(4)修了要件**

必修科目（「心身健康科学特講」2単位、「臨床心理学特論Ⅰ」2単位、「臨床心理学特論Ⅱ」2単位、「臨床心理面接特論Ⅰ」2単位、「臨床心理面接特論Ⅱ」2単位、「臨床心理査定演習Ⅰ」2単位、「臨床心理査定演習Ⅱ」2単位、「臨床心理基礎実習Ⅰ」1単位、「臨床心理基礎実習Ⅱ」1単位、「臨床心理実習Ⅰ」1単位、「臨床心理実習Ⅱ」1単位）の18単位、及び研究指導である「臨床心理学特別研究」6単位を含む30単位以上を修得し、その上で修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。



## キ. 施設・設備等の整備計画

### 1. 校舎等施設の整備計画

本専攻は通信教育課程であり自宅学習が中心となるため、教室はスクーリング時の使用がメインとなる。人間総合科学研究科では、専用校舎に下記の通りの教室を配置する。

小講義室（30名定員）	5室（うち1～2室は本専攻専用）
中講義室（250名定員）	3室
大講義室（500名定員）	1室
パソコン教室（60名定員）	1室
（随時、インターネットおよび電子メール使用可能）	
共同研究室（137㎡）	1室
自習室	1室

スクーリングについては、社会人の便宜のため、東京サテライトキャンパス、早稲田サテライトキャンパスも使用する予定である。

※サテライトキャンパスの利用については「⑭社会人を対象とした大学院教育の一部を本校以外の場所で実施する場合の具体的計画」で詳述する。

なお、マルチメディア関連技術・施設については基礎学部および既設修士課程で既に活用しており、また、当該システムについて専任の管理運営者が複数名配置され、十分に本専攻との共用が可能である。また、各種教材を利用する場合には、その保管および発送等の施設についても、基礎学部及び修士課程で使用中の施設が共用可能である。

※マルチメディア関連については、「⑮多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合」で詳述する。

資料⑤：自習室見取り図

### 2. 学内実習施設：人間総合科学大学附属カウンセリングセンター

本専攻の学内・学外実習とスーパービジョン体制を強化した教育課程の実現のために、学校法人早稲田医療学園、あるいは人間総合科学大学の施設として、人間総合科学大学附属カウンセリングセンターを新設する予定である。

在籍する院生は1学年15名を想定し、面接室3室、プレイルーム2室を設置する。面接室をワンフロアに集約して機能的な配置とし、相談者のプライバシーに配慮できるような設計を行う。

### 3. 図書等の資料及び図書館の整備計画

本大学図書館は、面積 410 m<sup>2</sup>である。収容可能書籍数は、蓮田キャンパス約 2 万 7 千冊、岩槻キャンパス約 2 万冊、両キャンパスで約 4 万 8 千冊の蔵書を有し、学生・院生の自学自習、授業に活用されている。メインとなる蓮田キャンパスは閲覧座席 126 席（6 人掛けテーブル 20 台・視聴覚資料閲覧用個別座席 6 席を有している。

また、蔵書以外に現在、63 タイトルの電子ジャーナル、8 つのデータベース、さらに研究に有効なデータベースに図書館サイトから検索できるように常時新たな情報が図書館よりホームページ上に更新され、学内だけでなく学外からも図書館のホームページよりアクセスすることで学生および院生が利用可能である。

図書等の検索は、学内だけでなく学生・院生が自宅から本学ホームページ内の図書館サイトにアクセスし、検索が可能である。NACSIS Webcat（日本全国の大学図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベース）、PubMed、国立情報学研究所、国立国会図書館、公共図書館等の所蔵図書の検索や、必要箇所の文献複写代行サービスを利用し希望する文献を入手することが可能である。

本学の蓮田図書館の開館時間は通常、10 時 30 分から 17 時 30 分、蓮田キャンパスでのスクーリング開講日は、8 時 30 分から 18 時 30 分である。本学図書館は、電子図書及び学術雑誌データベースが整備され、これにより本学学生ならびに院生は、遠距離にあっても自宅から 24 時間都合の良い時間に自宅からインターネットを通じて図書館に入ることによって利用することが可能である。

本専攻の図書等の資料に関しては、臨床心理士養成の理念と目的を達成するために、以下の学術雑誌、図書等を整備する。臨床心理学、心理学全般の高い学術知識を得るための学術雑誌として「心理臨床学研究」「心理学研究」「カウンセリング研究」「教育心理学研究」「発達心理学研究」「精神分析研究」「交流分析研究」「質的心理学研究」「心身医学」「特殊教育学研究」を整備する。個別の支援能力に関わる学術雑誌として「行動療法研究」「コミュニティ心理学研究」「犯罪心理学研究」「遊戯療法研究」「人間性心理学研究」などを整備する。

これらのほか、集団支援能力に関する学術雑誌として「集団精神療法」、地域支援能力に関わる学術雑誌として「コミュニティ心理学研究」、外国学術雑誌として「The International Journal of Psychoanalysis」「Transactional Analysis Journal」を追加で整備する。

**資料⑥：図書館システムの概要**

**資料⑦：電子図書**

**資料⑧：学術雑誌**

## ク. 既設の学部(修士課程)との関係

臨床心理学専攻は、人間総合科学研究科を基礎とする大学院教育課程として設置する。設置に当たっては、既設の心身健康科学専攻修士課程に所属する教員のうち、心理学、臨床心理学を専門とする 3 名が専任教員として異動し、人間科学部からも臨床心理士の資格を持つ教員 3 名が異動する。また、3 名が心身健康科学専攻修士課程との兼担となる。本専攻の設置に伴い、人間総合科学研究科は心身健康科学専攻[通信教育課程]修士課程・博士課程、健康栄養科学専攻修士課程、臨床心理学専攻[通信教育課程]修士課程の 3 専攻体制となる。なお、臨床心理学専攻設置以降においても、他専攻や人間科学部と教学面で連携を図る予定である。

基礎となる心身健康科学専攻とは、心の健康づくり及び、QOL 向上・心身の健康増進、メンタルヘルスやメンタルケアに関連する科目を共通分野として教育研究活動を展開する予定である。

### 資料⑨ 心身健康科学専攻との関係図

## ケ. 入学選抜の概要

### 1. 人間総合科学研究科のアドミッションポリシー

設置母体となる人間総合科学研究科では、建学の精神にもとづき、各専攻領域に関わる専門能力を養成するが、臨床心理学専攻では、臨床心理士の養成をはかることを目的としている。また臨床心理学に関する研究活動を行うのに必要な研究能力と、高度の専門性を要する職業等に必要な能力を培う。

大学及び本専攻のアドミッション・ポリシーは次の通りである。

#### (1) 人間総合科学大学のアドミッション・ポリシー

人間総合科学大学は、「建学の精神」に則り、知識や技術の修得を目指すだけでなく、「自立」と「共生」の精神を育み、主体的に考え、行動する人材を育てます。そのために本学では、人間の総合的理解に基づき、心身の健康への考察を深め、社会に求められる価値の創造を目指して、多分野で活躍しようとする意欲ある学生を受け入れる。

## (2) 大学院人間総合科学研究科 臨床心理学専攻のアドミッション・ポリシー

本専攻では、心身の健康を、臨床心理学の視点から探求します。人間総合科学大学の建学の精神を理解し、現代の心理学的理解や技能を必要とする様々な場面に対応できる、高度な専門性を身につけようとする姿勢を持つと同時に高い人間性を追究し、修得した知識と技術を社会に還元し、人々の生涯にわたる心身の健康に寄与しようとする強い意欲を有している者を広く迎える。

## (3) 養成する人材像

現代人の健康について、特に心の側面から科学的、総合的に追究し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもってその保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、高い倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士の養成を行う。

①健康、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材

②心理的問題を抱え支援を要する者の心理状態を受け止め、その心理を客観的に評価するとともに相談に応じ、適切な支援を行える人材

③心理的問題を抱え支援を要する当該者だけでなく、家族など本人を取り巻く関係者への相談にも応じ、適切な支援を行うことのできる人材

④心の健康に関する知識や技術の教育及び普及、情報の提供を行うことのできる人材

以上の養成する人材像を考慮するとともに、本専攻では、本学学部（人間科学部、保健医療学部）の卒業生、および広く社会人の入学が期待されるため、社会人入試、一般入試を行う。

## 2. 臨床心理学専攻の選抜方法

臨床心理学専攻の募集定員は15名とし、入学試験は入学試験要項に基づき、受験資格を認める者に対して実施する。第1次選考では、小論文、研究計画書、志願動機書、成績証明等をもとに書類選考を行う。第2次選考では、筆記試験、面接試験を行い、総合的に判断し、合否を決定する。なお、あらゆる指導や連絡においてパソコンを活用するため、パソコンを所有し、かつインターネット接続など必要なICT環境が整っていることが就学の条件となる。これらはHPや募集要項等で提示していく。

なお、入試問題については、「アドミッション委員会（人間総合科学研究科）」及び「研究科教務委員会」においてその年度ごとの方針に沿って作成する。

## 臨床心理学専攻 入学者選抜方法

専攻・課程	入学定員	選抜方法
臨床心理学専攻 修士課程	15	第1次選考 小論文、研究計画書、志願動機書、成績証明書 等をもとに書類選考 等をもとに書類選考 第2次選考 筆記試験、面接試験

## コ. 取得可能な資格

臨床心理士受験資格

## サ. 実習の具体的計画

### (1) 実習先の確保の状況

資料⑩：実習受入承諾書

### (2) 実習先との契約内容

実習において知り得た情報を外部に漏えいさせないなど、臨床心理士を目指す者として「一般社団法人日本臨床心理士会倫理綱領」「一般社団法人日本心理臨床学会倫理綱領」等に準じた行動をとるよう指導する。実習において、これらに違反する行為が見られた際には直ちに指導を行い、場合によっては実習を中止させる。

### (3) 実習水準の確保の方策

学内実習において、心理的援助の臨床心理士としてのあるべき態度、倫理的な規範を十分に身に付け、必要な知識および基本的技術を習得した上で、学外実習に臨めるように指導する。学外実習では、事前に実習先と担当教員が打ち合わせをし、実習内容を確認する。学外実習は実習先の都合等を考慮しながら、臨床心理士が働いている現場にて、その業務に準じた水準を確保する。

### (4) 実習先との連携体制

実習実施時の連絡体制、達成目標などについては事前に各実習先と先方の状況に合わせ

て実習が進められるように十分に打ち合わせを行う。

#### (5) 実習前の準備状況

各科目の履修および「臨床心理基礎実習Ⅰ」において、心理的援助の知識および基本的技術を習得するとともに、個人情報の保護（秘密保持）をはじめとする倫理的な問題を十分に理解し、など臨床心理士を目指す者として相応しい行動規範を身につけられるように教育を行う

#### (6) 事前・事後における指導計画

##### \*2週間集中型

事前指導 ⇒ 学外実習（1週目） ⇒ 学外実習（2週目） ⇒ 事後指導

- ・事前指導として、施設によっては担当教員同行のもと、実習先の見学を行う。
- ・1週目の後半もしくは2週目前半に担当教員が実習先を訪問し、実習先の指導担当者より学生の実習状況をうかがう。
- ・事後指導として担当教員が実習先を訪問し、実習の御礼と実習についての報告を受け、実習指導の参考にする。また、ケースカンファレンスおよび個人スーパービジョン等で、院生が学外実習の報告を行い、教員より指導を受ける。
- ・事前に実習担当者へ評価票への記入を依頼し、後日、郵送していただく。

##### \*継続型

事前指導 ⇒ 学外実習 ⇒ 事後指導

- ・事前指導として、施設によっては担当教員同行のもと、実習先の見学を行う。
- ・実習開始後、担当教員が実習先を訪問し、実習先の指導担当者より学生の実習状況をうかがう。
- ・事後指導として担当教員が実習先を訪問し、実習の御礼と実習についての報告を受け、実習指導の参考にする。また、ケースカンファレンスおよび個人スーパービジョン等で、院生が学外実習の報告を行い、教員より指導を受ける。
- ・事前に実習担当者へ評価票への記入を依頼し、後日、郵送していただく。

#### 資料⑩：学外実習のシステムと学習内容

#### (7) 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

「(6) 事前・事後における指導計画」に基づき、事前指導、学外実習中、事後指導に担当教員が実習先を訪問し、実習内容の確認と実習状況について、実習生ならびに実習先から話をうかがい、適宜指導を行う（下記、「(8) 実習施設における指導者の配置計画」参照）。

## (8) 実習施設における指導者の配置計画

下記は「臨床心理実習Ⅰ」および「臨床心理実習Ⅱ」の学外実習施設ならびに教員の配置計画である。

施設名	院生数	2017年度後期					2018年度前期					担当教員		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月
		臨床心理実習Ⅰ					臨床心理実習Ⅱ							
医療機関	高井内科クリニック	1名	Aグループ(7~8名程度)					Bグループ(7~8名程度)					中野 村上 矢吹 大澤	
	虎の門病院 本院及び分院	若干名												
	東邦大学医療センター大森病院 心療内	若干名												
	東邦大学医療センター大森病院 新生児	2~3名												
	心療内科アーツクリニック大崎	若干名												
	横浜相原病院	若干名												
	中部労災病院 心療内科	1名												
	聖路加国際病院 心療内科	若干名												
	晴和病院	若干名												
教育機関	志木市立教育サポートセンター	若干名	Bグループ(7~8名程度)					Aグループ(7~8名程度)					村上 中野 矢吹 大澤	
	鴻巣市教育支援センター	若干名												
	川口市立教育研究所	1~2名												
	新座市教育委員会教育相談室	1名												
	草加市教育委員会 教育支援室	1名												
	蓮田市教育委員会	若干名												
	熊谷市立教育研究所 適応指導教室	若干名												
	日々輝学園高等学校 神奈川校	2												

## シ. サテライトキャンパスの利用に関する具体的計画

東京サテライトは、東京都千代田区神田駿河台に位置し、JR御茶ノ水駅から徒歩2分という交通の利便性の高い地域にある。総面積367.34㎡、収容人員150人、部屋は可動式パネルによって増設が可能、専任スタッフは1名となっている。

現在も、人間科学科の卒業研究の面接指導やスクーリングの開講、心身健康科学専攻のTV会議による論文指導や、大学院内研究発表会の会場として活用されている。

本専攻においても、東京サテライトにおける、修士論文の個別面接指導およびTV会議による論文指導、スクーリング(面接授業)の開講およびTV会議によるメディア授業等の場、また大学院内研究発表会の会場として活用する予定である。

東京サテライトにも、無線LANが装備されており、蓮田キャンパス(岩槻キャンパス)の各研究室、図書館とのアクセスが可能である。現在でも、学生・院生たちは、講義内だけではなく講義外での、グループ学習や少人数でのアクティブ・ラーニング、また教員への質問や学修相談、論文指導などとして利用し、多様な学修スタイルに対応できる環境を実現している。

本専攻では、個別スーパービジョン、論文指導などを、無線LAN、TV会議、学修ポータルサイトなどを活用して行う予定である。

所在地は、〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5F (TEL 03-5577-6728)。

## ス. 多様なメディアの利用に関する具体的計画

### (1) 環境

本専攻のメインの校舎となる蓮田キャンパスは、

◎学内無線LANなどのインターネット接続環境が整備されており、キャンパス内の各空間でもとより、学外からのインターネットへのアクセスの利便性は高い。

◎また院生個別の学修・研究に当たっては、1) 事前・事後学修、2) 映像・画像資料の配信、3) ディスカッション、4) 論文指導等を、WEB上で行うための学修ポータルサイト(UHAS@My キャンパス)を院生ひとりひとりが利用することができる。

◎TV会議などによる、教員の音声や画像、および論文資料や学習教材(テキスト文書、画像・動画等)を同時に配信する双方向性のメディア授業配信が可能なシステムを装備している。教員と院生が直接顔を合わせる学修指導の他、来校が難しい際にも、事例や研究資料等を参照しながらの直接対話ができるようなシステムとなっている。

本専攻では、以上、これまで人間総合科学研究科で実践してきたICT技術を活用して臨床心理士の養成を行う。

### 資料⑫：学修ポータルサイトを活用した指導例

### (2)実施方法

◎TV会議システムを通じて教員の音声や画像および教材画像を同時に配信する双方向性のメディア授業配信を行う。教室内の院生は直接の音声で、遠隔の院生はチャットによって質問をしたり、議論に参加したりする。

◎学修ポータルサイト(UHAS@My キャンパス)では、メディア授業や印刷教材の補足として、資料映像や画像、文献など、図表や統計データ等を院生に個別に配信し、事前学修・事後学修、ディスカッションの準備、学会発表などの予行演習などを行うための教育効果の高いシステムとして活用されている。



◎文献検索等においても、前出の蓮田キャンパス図書館、岩槻キャンパス図書館では、所蔵の図書をインターネットを通じて、これらデータベースをサテライトキャンパス、自宅等から24時間利用することができる。

なお情報関連技術・施設の管理については、既設の専攻で既に管理・運用がなされており、専任の管理運営者が複数名配置され、本専攻の運用において共用が可能である。

### (3)学則における規定

人間総合科学大学大学院学則第21条「心身健康科学専攻及び臨床心理学専攻の授業は通信授業、面接授業（メディア等を利用して行う授業を含む。以下同じ。）及び放送授業によって行う。」と規定し、詳細については、「人間総合科学大学メディア利用要領」で定めている。具体的には『カウンセリング特講』『心理療法特講』などの授業科目をメディアを高度に利用する科目として指定しており、『臨床心理学特別研究』についても、一部利用するものとした。

### (4)当該実施方法が告示の要件を満たすものであることの説明

本研究科が導入するTV会議システムは、文字、音声、静止画、動画等の多様な情報を一体的に扱い、教員、院生間の同時かつ双方向のやり取りのできるICTシステム。面接授業に相当する教育効果を図ることが可能な装置である。TV会議での院生の質問や意見は、すでに研究科で稼動している学修ポータルサイト（UHAS@Myキャンパス）のQA機能などを通じて行われ、教員及び受講中の院生全員が参加できる。

さらに、出席や理解度、アンケートに関する回答を得ることもできる。例えば授業中に院生が講義に対する理解度を発信し、教員が院生の理解度をリアルタイムに把握し、対応することができる。本システムには、レポート提出機能や試験機能のほか、教員は院生に論文資料や学修教材（テキスト、画像、映像）等を適宜提示することができる。

以上のシステム運用・指導体制により、ICTシステムを高度に利用した指導は「同時かつ双方向性」を満たし、さらにきめ細かな前後の指導をネットワーク利用によって実施することから告示の要件を十分に満たし、大学院が求められている人材の養成が達成できる。

## セ. 通信教育の実施に関する具体的計画

### (1) 通信教育によって十分な教育効果が得られる分野であるかどうか

本専攻では、臨床心理士の養成を掲げており、**メディア授業ではTV会議を活用しスクーリングに近い授業形態を採用し、さらに面接授業を重視している。**

面接授業としては、実習科目(臨床心理実習科目群4科目)、演習科目(臨床心理査定演習ⅠⅡ)は勿論のこと、臨床心理技法科目群3科目もすべてを面接授業として設定している。また、その他の科目も印刷教材のみを使った授業は設定しておらず、TV会議や授業の配信などを利用したメディア授業と、面接授業を組み合わせることで常に双方向のコミュニケーションを重視したものとなっている。

また、本学では、既に人間総合科学研究科心身健康科学専攻(M)を通信課程として開設しており、本専攻との共通科目については通信教育によって十分な効果を得ている。

以上より、本専攻の教育・研究分野は通信教育によって十分な教育効果が得られる分野と考えている。

### (2) 教育・研究水準確保の方策

通信教育課程の教育・研究水準確保のために、以下の方策を用意している。

#### ・学修ポータルサイト

本専攻では、院生専用に学習情報とコミュニケーションの場を提供するために UHAS@My キャンパスを用意している。本学からの教育情報や各種マニュアルなどから、論文資料や学習教材等の閲覧およびダウンロードできるほか、教員からレポートの提出、課題等の提示、学修や研究の進捗管理が教員・院生ともに WEB 上で可能である。また、院生の現在までの履修成績状況、教員からの連絡・アドバイスが閲覧できるとともに、論文指導などでは担当教員からの質問、アドバイスをリアルタイムに行うことができる。さらに、担当教員、事務局員、そして同じように学習を進める院生の仲間との交流を持ちながら学習を深めることができる。

#### ・TV会議システムの利用

本研究科では、院生の研究指導の手法の一つとして「TV会議」システムの活用が進んでいる。教員と院生が直接顔を合わせる面接指導を定期的に義務付けているが、この機会とは別に、研究指導において研究資料等を参照しながらの直接対話が有効な場合には、TV会議システムを使用している。図表や統計データ等を検討しながらの指導や、学会発表などの予

行演習等の文字では伝えることが困難な指導に活用されている。

### ・オンライン図書館の利用

本学図書館は、電子図書および学術雑誌データベースも整備している。詳細は「ク. 施設・設備等の整備計画／3. 図書等の資料及び図書館の整備計画」を参照していただきたいが、院生はそれらを自宅からインターネットを通じて 24 時間利用可能で、働きながら学修・研究を推進していくことが可能なシステムとなっている。

### ・授業アンケートによるフィードバック

本学では、授業評価アンケートを、全学的に、各年度の履修期間終了時に実施している。授業評価アンケートの結果は学期ごとに「FD 推進委員会」に集約され、所属長によるレビューが行われる。この結果は担当教員にフィードバックされ、教員はこれをもとに「授業改善提案書」を作成して「FD 推進委員会」に提出する。また、問題等が確認された場合には、所長属が担当教員と面談し、改善の要求及び指導を行うことになっている。特に、大学院では、メディア授業、対面式のスクーリングを実施している全ての科目に関して、院生による授業評価アンケートが実施されている。

マークシート方式に加えて自由記述によるアンケートを実施することで、科目の教育内容の難易度の適切性、学習の計画性とその効果の達成度、質疑やレポートへの回答、学修等の迅速性・適切性などの確認のほか、学修や授業における院生のコメントを汲上げて、学修活動、授業効果の質向上を図っている。

### ・オフィスアワー

本専攻は、オフィスアワーを設定し、院生と教員の直接の学習相談、個別指導等の機会を設けている。院生は来校して、もしくは電話などを介して（メールなどを利用しながら）個別指導や相談に利用している。通信教育課程の特性から遠路の来校者に配慮し、オフィスアワーではあるが事前予約制としている。各学期の開始時に専任教員のオフィスアワーを設定し、Web 上の UHAS@My キャンパス上で告知している。

大学院では、このオフィスアワーを活用して、研究指導や学修相談、院生からの意見聴取等を行っている。これら個別の相談事項や意見は、定期的に専攻長等へ報告され、研究科教務委員会で共有され、相談内容によって個別に改善策や対応などが検討される。

### ・成績評価の厳格な運用

成績評価の運用に関しては、人間総合科学大学大学院学則『第 10 章「試験および成績評価」／第 26 条「成績評価」』に記された基準を厳正に遵守するとともに、平成 28 年度より「GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度」を導入し成績の厳格化の一層の具体化を進める。成績評価の運用は、上記の学則に則り研究科教務委員会において厳正に行われる。成績評価の確定にあたって、研究科教務委員会において成績判定会議が実施され、あわせて修了にあたっては卒業判定会議が開催され、結果が学長に報告され、決定する。

### (3)印刷教材による授業の実施体制

印刷教材による自宅学習については、「⑥教育方法、履修指導、研究指導及び修了要件」に記載した。

### (4)面接授業の実施方法及び体制

面接授業の実施方法及び体制については、「ク．教育方法、履修指導、研究指導及び修了要件」に記載した。

### (5)実験・実習を伴う授業にあつてはその具体的実施方法

実習における具体的実施方法については、資料⑭：「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」についてに詳述した。

### **資料⑬：「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」について**

### (6)単位の計算方法、単位の認定や成績評価の方法

単位の計算方法、単位の認定や成績評価の方法に関しては、人間総合科学大学大学院学則『第 22 条の 3「臨床心理学専攻の単位の計算方法」「第 26 条「成績評価」第 27 条「単位の授与」』『第 11 章「修了要件等」第 28 条「修了の要件」』に記された基準を厳正に遵守している。

具体的には、臨床心理学専攻の授業科目の単位数は、1 単位の履修時間を 45 時間とし次の基準により計算するものとする。

- ① 通信授業については、45 時間に相当する学修量の教材をもって 1 単位とする。
- ② 面接授業および演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- ③ 実験、実習および実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

なお、上記の規程にかかわらず、研究指導科目については、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる、となっている。

#### (7)学修指導の実施体制及び研究指導教員との連携体制

学修指導の実施にあたっては、Web上の学修ポータルサイト「UHAS@My キャンパス」を活用し、多様なメディアを利用した、迅速かつ丁寧な指導を実現する。

院生は、自宅でテキストやスタディガイドで学習し、課題に沿ってレポートを作成し、「UHAS@My キャンパス」に提出する。院生は、「UHAS@My キャンパス」にアクセスし、レポート課題の確認から教材（論分や資料、資料画像や資料映像など）の参照を、自由な時間に行い、学修や研究を進めることができる。

一方、教員はレポート等を「UHAS@My キャンパス」からダウンロードし、WEB上で、記号や朱書き、コメント機能等を用いて、院生に分かりやすい学修指導を行う。さらに、**学修履歴、研究記録などの記録を蓄積し、目標設定、進捗管理を行うことができるので、適切な学修支援や研究指導が可能となっている。**

#### (8)履修指導、研究指導の方法及び体制

「カ. 教育方法、履修指導、研究指導及び修了要件」に記載した。

#### (9)院生への指導

研究指導においては「TV会議」システムを活用。大学院では、教員と院生が直接顔を合わせる面接指導を定期的に義務付けているが、この機会とは別に、研究指導において研究資料等を参照しながらの直接対話が有効な場合には、TV会議システムを使用している。図表や統計データ等を検討しながらの指導や、学会発表などの予行演習等の文字では伝えることが困難な指導に活用されている。

さらに学修ポータルサイト(UHAS@My キャンパス)とTV会議システムを有効に用いて、様々な学修・研究指導を行う。UHAS@My キャンパスは、課題の提示やレポートの提出、論文資料や画像・映像資料の提示等の授業支援に留まらず、院生間の交流、必要な掲示板やフォーラム機能等を利用したディスカッションやコミュニケーションなどが可能。院生にとって有用で幅広い学修支援体制が構築できる。

#### (10)学修指導教材及び通信指導教材の保管、発送等の施設並びに教育研究のための情報通信機器等の整備についての配慮

(a) .学修指導教材及び通信指導教材の確保、発送などの施設

本研究科においては、基本的に教材やテキストは、株式会社紀伊國屋書（本社：東京都目黒区）及び中央印刷事務器株式会社（本社：東京都千代田区）に教材の配本、保健、発送業務を委託しており、中央印刷事務器株式会社に保管・作業スペースを確保し、梱包作業を行っていることから、必要に応じ本施設を利用することができる。

(b) .教育研究のための情報通信機器の整備についての配慮

本学科の学修指導は基本的に学修ポータルサイト(UHAS@My キャンパス)上で行われる。専任教員は教育研究用のパソコン、タブレット等から自身の研究室だけでなく、東京サテライトなどの大学附属施設からいつでも学修指導を行うことが可能である。また、学修ポータルサイト(UHAS@My キャンパス)のシステムは、学内外からのアクセスも可能で、自宅や出張先などからも学修指導を行える。さらに学内の無線 LAN を活用して、共有スペースや自習室へのアクセスができるので、非常勤教員については、学外からのアクセスによる学修指導に加え、学内の専用スペースを利用することで、適宜学修指導を行える。この専用スペースでは、専任教員、非常勤教員が学修指導・研究指導について打合せをすることができる。

本専攻では、各種メディア利用による授業を実施することから、システム担当者を事務局内に配置し、サーバーおよびネットワークなどの管理は、株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ（本社：東京都台東区）に外部委託をし、24 時間体制で遠隔監視を行い、異常時は学内担当者(複数)の携帯電話に連絡する体制をとっている。これにより、万が一サーバー、ネットワークなどのトラブルによるシステムダウンが起きても、迅速に復旧することが可能となっている（稼働率 99.9%以上）。

(11)教員の負担の程度

本専攻の開設により増加する担当時間数分は、新たに学部担当教員を採用することで、既設の学部・学科の本人の担当時間数を調整し、本人負担を増やすことなく対応する。さらに、学習方法等を考慮し、負担が大きいと判断した場合には、専任教員や非常勤講師を新たに採用するなどの対応を検討する。

以上により、通信教育課程における教育の水準を確保できるよう努めるものとする。

(12)入学選抜の概要

「キ. 入学選抜の概要」に記載した。

### (13)教育上の配慮

#### 1)大学院院生の研究室（自習室）の考え方

院生用の研究室として、蓮田キャンパス 1F に自習室（103 教室、104 教室）として準備している。講義は、蓮田キャンパスの各教室を利用するが、個別指導やオフィスアワー等では、各教員研究室に隣接したラウンジが共有施設として利用できる。無線 LAN が設置され、内外の院生、教員とのディスカッション等の場としても活用でき、開放的なコミュニケーションスペースとなっている。

#### 2)図書館・情報機器設備の利用上の配慮

「ク. 施設・設備等の整備計画」に記載した。

### (14)教材作成などの具体的準備計画

テキストは、各科目の担当教員が責任をもって選定、もしくは作成する。テキストを作成する際には、各担当教員によって形式や分量等に著しい差がでないように、あらかじめ例となるテキストを作成した上で示し、各担当教員にそれに沿った形での作成を依頼する。また、院生からのテキスト内容に関する質問に迅速かつ的確に回答できるように、基本的には各科目担当者が単独で執筆するものとする。

なお、補助教材（事前・事後学修等に利用）については、テキスト理解を促進させる内容となるよう、各科目の担当教員が責任をもって作成し、UHAS@My キャンパス上にテキストファイル、画像ファイル、動画ファイルとして掲載し、あわせて指示、課題、アドバイスなども配信することができる。その際、教員間での表記、段落、用字用語等の差が出ないように教材の執筆要項として準備されている。

## ソ. 管理運営

人間総合科学研究科では、人間総合科学大学大学院学則『第 4 章「研究科教授会」』にもとづき、研究科教授会を設置する。構成員については、『人間総合科学大学 大学院 人間総合科学研究科 研究科教授会規程』において、学長、研究科長、専攻長ほか専任教員をもって組織する。同教授会は学長が召集し、議長を務めることとなっており、下記「審議事項」を審議する。

- (1) 院生の入学、及び課程修了に関する事項
- (2) 学位授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成及び講義担当に関する事項

また、教授会は、人間総合科学研究科に関する次の各号に掲げる教育研究に関する事項について、学長から求めがあった場合には、審議し意見を述べることができる。

- (1) 学則に関する事項（軽微なものを除く）
- (2) 院生の表彰に関する事項
- (3) その他研究科の学術研究に関する事項
- (4) その他学長の諮問事項

資料⑭：人間総合科学大学 大学院 人間総合科学研究科 研究科教授会規程

## 夕. 自己点検・評価

### 1. 実施体制及び実施方法

人間総合科学大学は、建学の理念や目的、教育目標等を達成するために、学則第2条に「本大学は前条の目的の達成及び教育研究水準の向上をはかる為、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行う」と規定し、更に本条項に基づき「人間総合科学大学 自己点検・評価委員会規程」を平成12（2000年）年4月に制定、教育研究活動等の諸活動について、継続して自己点検・評価を行うことを目的として、自己点検・評価委員会を設置し、組織的な自己点検・評価が開始されている。

自己点検・評価を適切に実施する体制に関しては、「自己点検・評価委員会規程」第2条において委員会の構成員を定めている。教育・研究及び管理・運営面など、本学の全般的な活動状況を把握し、改善・向上をはかるために、「自己点検・評価委員会」が研究科長、学部長、図書館長、事務局長、及び理事長が委嘱する教職員によって構成され、理事長に委嘱された委員長を中心に活動がなされている。

「自己点検・評価委員会」は、自己点検・評価項目の設定に関する事項、自己点検・評価の実施に関する事項、自己点検・評価結果の分析に関する事項、第三者評価に関する事項、改革・改善の検討に関する事項を審議し、自己点検・評価の遂行全般に関して主導する。点



検項目ごとの自己点検・評価活動に関しては、項目ごとに責任者を定めてチームを編成し、教職員の協働により適切に遂行されている。

#### 資料⑮：人間総合科学大学 自己点検・評価委員会規程参照

## 2. 点検・評価項目

本学においては、教育・研究及び財務・管理運営に関する各種データは経年で各部署に蓄積され、「自己点検・評価委員会」の主導のもと、各委員会等にて分析がなされてきた。自己点検・評価活動及び報告書の執筆に際しても、下記の日本高等教育評価機構の評価基準及び評価項目に準じ調査と分析を行い、自己点検・評価報告書を作成している。

### ◎評価機構が定める基準に基づく自己評価

- 基準 1 使命・目的等
- 基準 2 学修と教授
- 基準 3 経営・管理と財務
- 基準 4 自己点検・評価

### ◎大学が使命・目的に基づいて独自に設定した基準による自己評価

- 基準 A 心身健康科学の展開
- 基準 B ヒューマンケアの実践者としての保健医療人材の養成

## 3. 結果の活用・公表

自己点検・評価結果については、「自己点検評価書」としてまとめ、教授会、研究科教授会を通して全学的に情報共有を図り、大学運営に反映している。また、ホームページに掲載（下記に URL 掲載）し、学内外の閲覧に供している。

## チ. 認証評価

本学における自己点検・評価活動は平成 12(2000)年 4 月の開学時から始まっているが、平成 17(2005)年度には、それまでの自己点検・評価活動の総括として『人間総合科学大学自己点検・評価報告書（2000-2003 年度）』が刊行された。

その後も年度ごとの自己点検・評価が行われてきたが、「学校教育法」により大学機関別認証評価（第三者評価）の周期が 7 年以内ごとと定められている中、本学においては初回の認証評価を、平成 20(2008)年度に日本高等教育評価機構にて受審した。

また、平成 24(2012)年度には、全学的に自己点検・評価を行い『自己点検評価書』を刊行した。

平成 12(2000)年の開学以降、自己点検・評価報告書が公表されるのは、平成 17 年(2005)年度、平成 20(2008)年度、平成 24(2012)年度の 3 回ということになる。また、平成 27(2015)年度には日本高等教育評価機構による 2 回目の大学機関別認証評価を受審する予定である。本自己点検・評価結果は、人間総合科学大学自己評価報告書としてまとめ、人間総合科学大学ホームページ（下記に URL 掲載）へ掲載するとともに、大学や関連機関等へ配布し、広く社会に公表している。

## ツ. 情報の公表

人間総合科学大学では、学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、在学生、保護者、卒業生、受験生はもとより、広く一般に向けて、大学の情報（大学の使命、目的、大学の運営状況、教育・研究活動等）を積極的に発信し、社会から魅力ある大学として評価を得るよう努めている。

公表している情報のうち、下記ア～ケを含む主な教育情報については、ホームページ上で <http://www.human.ac.jp/pr-index.html> 公開している。

ア大学の教育研究上の目的に関すること

イ教育研究上の基本組織に関すること

ウ教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

エ入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在籍する学生・院生の数、卒業又は

修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

オ授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

カ学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

キ校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

ク授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

ケ大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

また、平成 26 年度にスタートした「大学ポータルサイト（私学版）」に参加、さらにホームページ上では、上記を含め、「教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報」上にまとめて公開している。

**・教育情報の公開（基本 9 項目）**

HOME > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > 教育情報の公開（基本 9 項目）

<http://www.human.ac.jp/pr-index.html>

**・平成 20 年 認証評価結果（平成 20 年度人間総合科学大学自己評価報告書）**

HOME > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > JIHEE（大学機関別認証評価）

<http://www.human.ac.jp/cm-jihee.html>

**・平成 24 年度 人間総合科学大学自己評価報告書**

HOME > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > 平成 24 年度 自己評価報告書（平成 24 年度）

<http://www.human.ac.jp/common2/objfiles/jikohyoka.pdf>

**・学則**

HOME > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > 学則

<http://www.human.ac.jp/cm-gakubugakka.html>

**・教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報**

HOME > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

<http://www.human.ac.jp/mh-feature.html#aim02>

**・設置計画履行状況等報告書**

HOME > 早稲田医療学園 > 教育情報（基本 9 項目）の公表、および大学ポータルサイト情報 > 設置計画履行状況等報告書

<http://www.human.ac.jp/corp/common/pdf/secchi.pdf>

また、ホームページの他、以下の冊子等を作成し、情報公開を行っている。

**・「大学紀要／人間総合科学」**

教員の研究発表の場として、平成 13 年 3 月より紀要「人間総合科学」の発行を行っている。この紀要は、全国の私立大学の図書館に配布している。

**・学報「華蓮だより」**

平成 13 年 6 月から、学報「華蓮だより」を発行している（当初は季刊で平成 14 年度より

月刊化)。ホームページ内の「先生からの声」の抜粋を掲載する等、教育研究及び本学からの連絡等について積極的に情報公開している。現在は、Web 上での配信となっている。

#### ・公開講座

地域貢献を含めた生涯学習の一環として、本学では「生涯学習特別講義」と題して、年間3~4回程度開催し、通算33回の実績を持つ公開講座。講演会、ディスカッションなどを、毎回、「人間」「心身」「健康」「生命」「文化」「医療」といった本学の教育・研究領域である「人間総合科学」「心身健康科学」からテーマを設定し、本学学生のみならず、一般の市民も対称にしたシンポジウム形式の講演会となっている。学長をはじめとして教員が参加し講演を行い、本学の教育研成果及び関係領域の情報公開を積極的に行っている。

#### ・HAS (Human Arts and Sciences)

上記公開講座の講演録として、HAS (Human Arts and Sciences) を発行。現在、通巻18号を重ねているが、本誌も本学の研究成果公開のツールである。

## テ. 教育内容等の改善のための組織的な研修等

### 1. FD 推進委員会の設置

人間総合科学大学では、平成19年度に新たに「ファカルティ・デベロップメント(以下、FD) 推進室」を設置し、組織的なFD活動を明確化した。その後、平成23年度の保健医療学部の新設に伴い、「FD 推進委員会」へと改編致した。学生による授業アンケート、教員相互による授業参観の他、FDに関する全体研修会などを定期的を実施して、教員の資質向上に努めている。また、平成23年には、東日本地域の大学・短大・高専の授業改善を推進するために設立された「FD ネットワークつばさ」にも加盟した。本学のFDについては、その活動状況を「FD 推進委員会 News Letter」を発行し公開している。

### 2. 具体的な活動

本研究科では、自己点検・評価の一環として、開学以来スクーリング授業について、学生によるアンケートを行っており、そのフィードバックによって教育の質の向上を図っている。また、授業・指導方法、研究方法に関する教員相互の情報交換を通じて教育効果向上を図るとともに、指導教員間の相互支援を目的として「教員連絡会」を開いている。特に指導の特色であるポータルサイトの利用について、教員全体のレベル向上を図っている。教育内容や教育方法の改善を適宜行うための施策として、教員相互の講義参観による相互評価や、学生によるアンケート評価、また大学・大学院が連携し、FDに関して全教員に対する研修会を開催しており、この研修会は、学部教員連絡会と同時に開催し、院生の指導方法につい

て検討を行い、各教員が基本方針等を共有している。その他本学園の海外提携校との間で教員の相互交流、教員研修会、共同研究等を行い、FDに関する国際的な取組みも行っている。

既存の人間総合科学研究科心身健康科学専攻は通信教育課程であり、スクーリング科目（面接授業）とテキスト科目（印刷授業）とがあるが、平成16年度後期よりスクーリングに関する学生アンケートを発展させるべく検討を重ね、学生によるスクーリング授業評価を実施するとともに、テキスト科目やCD-ROM受講についても学生による評価を開始した。さらに、スクーリングについて、自由記述形式のアンケートを行っている。その回答と、学部での実績を基に、学修ポータルサイトを用いて、院生による授業評価を行う予定である。その結果を教員個人及び教員連絡会にフィードバックし、教員の資質向上を図っている。

このほかに、今後は教員に対して、資質向上のための外部研修会・研究会への積極的参加を要請し、本学の研修会において、教員が外部の研究会・研修会で修得したFDについて発表することを推奨している。

本専攻でも「教員連絡会」を開催する予定である。また、「学修ポータルサイトシステム」による履修科目の指導内容は、全教員が閲覧可能であり、教員間における、教育研究についての共通理解を高めることが可能となって、教員の資質向上を図ることができると考えている。

#### 資料⑩：人間総合科学大学 FD推進委員会規程

以上。

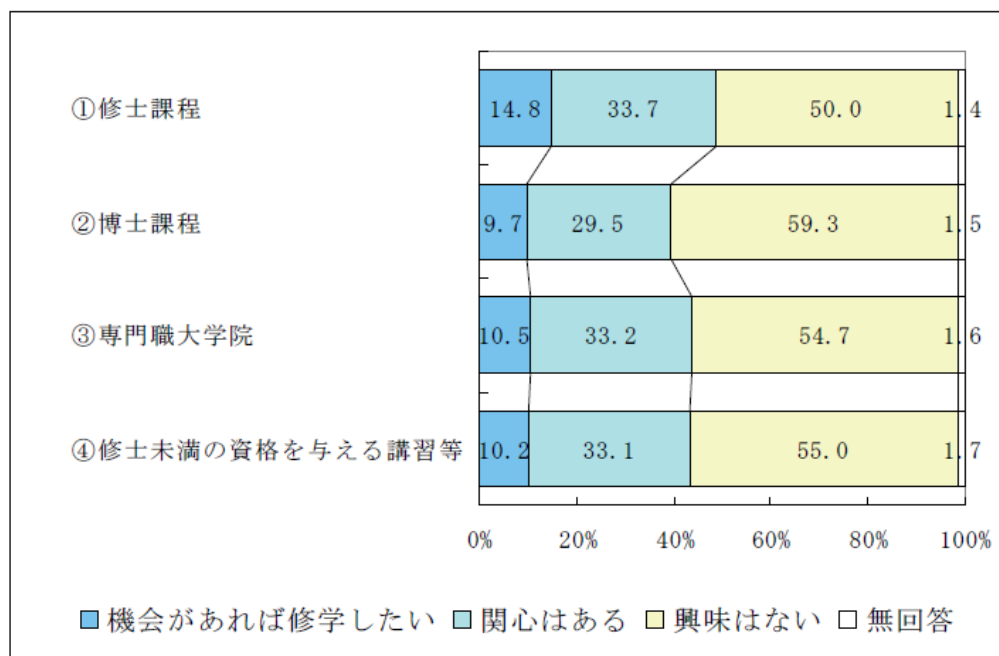
資料①：「大学教育に関する職業人調査」〈抜粋〉

出典：東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター，  
『大学教育に関する職業人調査』第1次報告書，2010年2月，  
<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/100312shokugyojin.pdf>

p160 「社会人大学院に対する考え」より

社会人を受け入れる大学院に対する考えを、『修士課程』、『博士課程』、『専門職大学院』、『修士未満の資格を与える講習等』の4項目について尋ねた。その結果、いずれの項目でも「関心はある」という人が3割程度いるものの、「機会があれば修学したい」という人は10%～15%程度であり、半数以上が「興味はない」という人たちである。これら4項目の中で最も関心を持たれているのが『修士課程』で、「機会があれば修学したい」が14.8%で最も多く、「関心はある」(33.7%)を合わせるとほぼ半数が関心をもっている。次いで『専門職大学院』、『修士未満の資格を与える講習等』が中程度の関心度である。一方、比較的関心度が低いのは『博士課程』で、「興味はない」という人が6割近くを占めている(図表165)。

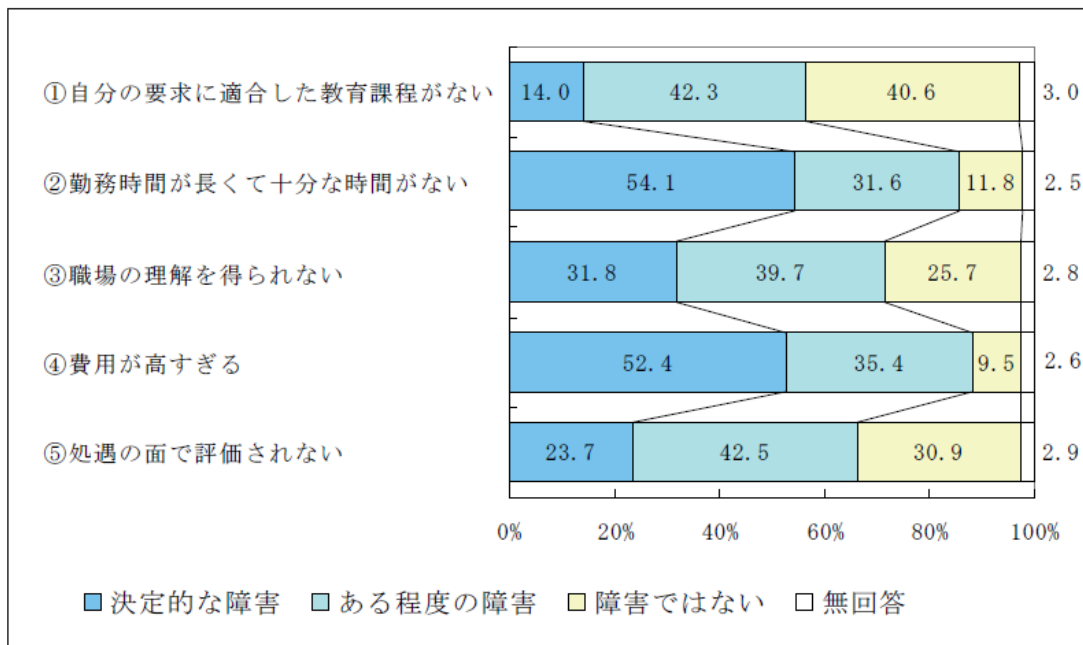
図表 165 社会人大学院に対する考え



p171 「大学院入学への阻害要因」より

大学院に入学するのに何が大きな障害になるかを5つの項目について尋ねたところ、『勤務時間が長くて十分な時間がない』、『費用が高すぎる』については、「決定的な障害」がそれぞれ 54.1%、52.4%と多く、これに「ある程度の障害」を加えると全体の8割以上を占めており、この2項目が大学院入学への大きな阻害要因になっていることがわかる。他の項目を「決定的な障害」と「ある程度の障害」を合わせた率でみると、『職場の理解が得られない』は 71.5%、『処遇の面で評価されない』は 66.2%、『自分の要求に適合した教育課程がない』は 56.3%の人が障害と考えている。(図表 176)

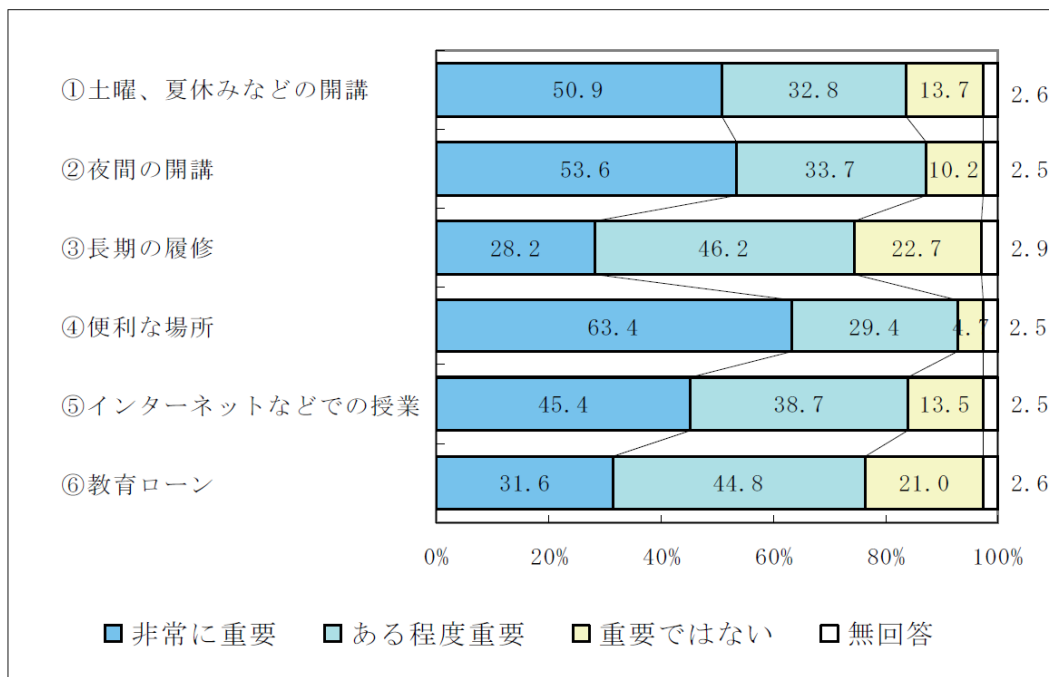
図表 176 大学院入学への阻害要因



p177 「働きながら大学院で勉強する条件」より

働きながら大学院で勉強するためには、どのような条件が重要であるかを6つの項目について尋ねたところ、『便利な場所』であることが「非常に重要」と考える人が64.4%と多く、「ある程度重要」(29.4%)を加えて9割以上の人が最も重要な条件であると考えている。次いで『夜間の開講』や『土曜、夏休みなどの開講』を「非常に重要」と考える人もそれぞれ53.6%、50.9%と多く、「ある程度重要」を合わせると8割以上が重要な条件と考えている。「非常に重要」と「ある程度重要」を合わせた率では、『長期の履修』、『教育ローン』についてもそれぞれ74.4%、76.4%が重要と考えているが、この6項目の中では下位の重要度となっている。(図表 182)

図表 182 働きながら大学院で勉強する条件





資料②：通信教育における3年間の授業計画

本学・大学院 人間総合科学研究科のICT教育の実績(通信教育課程) ICTによる研究指導

年次	期	月	科目履修(臨床心理士養成)			研究指導 臨床心理学 特別研究 [6単位]	月	期	年次	
			面接授業 (1)スクーリング	メディア授業 (1)オンライン上の講義の配信 (2)テレビ会議による 双方向型授業 など	印刷教材 (1)専門書籍・論文のほか (2)専門領域の電子書籍、論文 データなど(3)静止画、動画等の 研究や講義のデータ ※(2)(3)については、オンライン 上にアップデート可能					
1年	前	4	・オリエンテーション(教員紹介及び講義概要、3年間の指導の流れ、成績評価の方法、ITシステムの利用方法等の説明) ・教科書、参考書、国内外の論文等の教材提示、科目の選定(履修登録)			「臨床心理学研究法特講」「心理統計法特講」から臨床心理学研究の基礎を学ぶ	4	前	1年	
		5	臨床心理査定演習Ⅰ(必修)	・臨床心理学特論Ⅰ(必修:メディア+面接) ・臨床心理面接特論Ⅰ(必修:メディア+面接)	・心身健康科学特講(必修/心身健康科学基礎分野) ・臨床心理学研究法特講(選択) ・認知脳科学特講(選択/心身健康科学基礎分野) ・ストレス学特講(選択/心身健康科学基礎分野)		5			
		6					6			
		7					7			
		8					8			
		9					9			
	10	10								
	後	11	1年次の必修科目において、臨床心理士として必要な臨床心理学、面接、査定の知識を得る				11	後		
		12	臨床心理査定演習Ⅱ(必修) 臨床心理基礎実習Ⅰ(必修) 学内実習施設において、ロールプレイ等基礎的な実習を行う	・臨床心理学特論Ⅱ(必修:メディア+面接) ・臨床心理面接特論Ⅱ(必修:メディア+面接)	・心理統計法特論(選択)		12			
		1					1			
		2					2			
		3					3			
4		4								
5	5									
2年	前	4	学内実習施設において、実際にケースを担当する等の実習を行う			指導教員決定 研究テーマ決定 UHAS@Myキャンパスによる質疑応答・研究指導(随時) テレビ会議システムによる個別面接指導(随時) テレビ会議または対面による個別面接指導(計10回以上)	4	前	2年	
		5	臨床心理基礎実習Ⅱ(必修) 臨床心理援助技法論Ⅰ(個人心理療法)(選択) 臨床心理援助技法論Ⅲ(臨床心理査定)(選択)	・カウンセリング特論(選択) ・心身医学特論(選択) ・人間関係学特論(選択)	先行研究の整理 必要に応じて倫理審査の申請を行い、承認を得る		5			
		6					6			
		7					7			
		8					8			
		9					9			
	10	10								
	後	11	学内実習と並行して、医療機関もしくは教育機関にて学外実習を行う				修士論文作成 修士論文中間報告 修士論文中間発表会	11		後
		12	臨床心理実習Ⅰ(必修)	・心理療法特論(選択) ・発達心理学特論(選択) ・犯罪心理学特論(選択) ・産業カウンセリング特論(選択)	選択科目から臨床心理士として必要な専門知識を深める			12		
		1						1		
		2						2		
		3						3		
4		4								
5	5									
3年	前	4	学内実習と並行して、医療機関もしくは教育機関にて学外実習を行う			修士論文提出 論文審査・口頭試問 公開発表会にて口頭発表	4	前	3年	
		5	臨床心理実習Ⅱ(必修) 臨床心理援助技法論Ⅱ(集団心理療法)(選択)	・精神医学特論(選択) ・教育心理学特論(選択) ・学校臨床心理学特論(選択) ・老年心理学特論(選択)			5			
		6					6			
		7					7			
		8					8			
		9					9			
10	10									
後	11	修士(臨床心理学)学位授与			11	後				
	12	臨床心理士の養成 臨床心理学の体系的な学修 心理士として従事する領域に関する統合的な知識と臨床における対応能力の修得			12					
	1	臨床心理学領域において自立した研究活動を行うことができる能力を養成し、独創的な研究成果を達成する			1					

臨床心理士の養成と臨床心理学研究の習得

養成する人材像

資料③

履修モデル1 医療・福祉領域の場合

心身医学・精神医学に習熟し、病院やクリニック等の医療・福祉の領域で個人および集団への心理療法や心理査定の専門家として活躍することができる臨床心理士を目指すためのモデルである。

	1年次		2年次		3年次	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
基礎分野科目	心身健康科学特講	2				
	臨床心理学特論Ⅰ	2				
	臨床心理学特論Ⅱ	2				
	臨床心理面接特論Ⅰ	2				
	臨床心理面接特論Ⅱ	2				
	臨床心理査定演習Ⅰ	2				
	臨床心理査定演習Ⅱ	2				
	臨床心理学研究法特論	2				
	心理統計法特論	2				
展開分野科目	援助技法科目					
	臨床心理実践科目		心身医学特論	2	精神医学特論 老年心理学特論	2 2
	臨床心理技法科目		臨床心理援助技法論Ⅰ（個人心理療法） 臨床心理援助技法論Ⅱ（集団心理療法） 臨床心理援助技法論Ⅲ（臨床心理査定）	2 2 2		
	臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ	1 1	臨床心理実習Ⅱ
研究指導	臨床心理学特別研究					6
小計	19		10		11	
合計	40					

## 履修モデル2 教育領域の場合

児童・生徒の発達過程や実際の教育現場に習熟し、学校教育に関わる領域でスクールカウンセラーや教育相談員などの専門家として活躍することができる臨床心理士を目指すためのモデルである。

	1年次		2年次		3年次	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
基礎分野科目	心身健康科学特講	2				
	臨床心理学特論Ⅰ	2				
	臨床心理学特論Ⅱ	2				
	臨床心理面接特論Ⅰ	2				
	臨床心理面接特論Ⅱ	2				
	臨床心理査定演習Ⅰ	2				
	臨床心理査定演習Ⅱ	2				
	臨床心理職関連行政・倫理特講	2				
	臨床心理学研究法特講	2				
	心理統計法特講	2				
展開分野科目	援助技法科目		カウンセリング特論	2		
			心理療法特論	2		
	臨床心理実践科目		発達心理学特論	2	教育心理学特論	2
					学校臨床心理学特論	2
臨床心理技法科目						
臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	臨床心理実習Ⅱ	1
			臨床心理実習Ⅰ	1		
研究指導	臨床心理学特別研究					6
小計	21		8		11	
合計	40					

### 履修モデル3 司法矯正領域の場合

精神医学、犯罪心理学に習熟し、司法矯正の領域に関わるクライアントを理解するとともに、関連するクライアントの心理療法や心理査定、再犯防止を目指して活躍することのできる臨床心理士を目指すモデルである。

	1年次		2年次		3年次	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
基礎分野科目	心身健康科学特講	2				
	臨床心理学特論Ⅰ	2				
	臨床心理学特論Ⅱ	2				
	臨床心理面接特論Ⅰ	2				
	臨床心理面接特論Ⅱ	2				
	臨床心理査定演習Ⅰ	2				
	臨床心理査定演習Ⅱ	2				
	臨床心理職関連行政・倫理特論	2				
	臨床心理学研究法特論	2				
	心理統計法特論	2				
展開分野科目	援助技法科目		カウンセリング特論	2		
			心理療法特論	2		
	臨床心理実践科目		犯罪心理学特論	2	精神医学特論	2
	臨床心理技法科目		臨床心理援助技法論Ⅲ（臨床心理査定）	2		
臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	臨床心理実習Ⅱ	1
			臨床心理実習Ⅰ	1		
研究指導	臨床心理学特別研究					6
小計	21		10		9	
合計	40					

## 履修モデル4 産業領域の場合

企業や組織でのカウンセリングやそこで生じる人間関係の問題を理解し、産業領域において個人および集団への心理療法や予防教育に携わるメンタルヘルスの専門家として活躍することができる臨床心理士を目指すためのモデルである。

	1年次		2年次		3年次	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
基礎分野科目	心身健康科学特講	2				
	臨床心理学特論Ⅰ	2				
	臨床心理学特論Ⅱ	2				
	臨床心理面接特論Ⅰ	2				
	臨床心理面接特論Ⅱ	2				
	臨床心理査定演習Ⅰ	2				
	臨床心理査定演習Ⅱ	2				
	臨床心理職関連行政・倫理特論	2				
	臨床心理学研究法特論	2				
	心理統計法特論	2				
展開分野科目	援助技法科目		カウンセリング特論	2		
			心理療法特論	2		
	臨床心理実践科目		産業カウンセリング特論	2	人間関係学特論	2
臨床心理技法科目				臨床心理援助技法論Ⅱ (集団心理療法)	2	
臨床心理実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ	1 1	臨床心理実習Ⅱ	1
研究指導	臨床心理学特別研究					6
小計	21		8		11	
合計	40					

## 資料④

### 人間総合科学大学 倫理審査委員会規程

制 定 日：平成17年 4月 1日（理事長）

最新改定日：平成24年 5月29日（理事会）

---

#### （目的）

**第1条** この規程は、人間総合科学大学（以下「本大学」という。）の教授、准教授、専任講師、助教、助手、非常勤講師、職員及び、大学院生、学部学生が行う人間および動物を直接対象とする研究のうち、倫理上の問題が生じるおそれのある研究及びこれらの研究結果の公表における留意事項及び手続きを定め、研究対象者及びその関係者の人間の尊厳及び人権を尊重するとともに、文献研究も含めた諸種の研究における倫理的配慮を図ることを目的とする。

#### （留意事項）

**第2条** 前条の研究を行う者は、各人の自覚に基づいた高い倫理性を保持するとともに、次の各号に留意しなければならない。

##### （1）人間を研究対象とする場合

- ①ヘルシンキ宣言の趣旨に則して研究を行うこと。
- ②対象者の人権を尊重すること。
- ③研究を行うに際して、対象者に不利益及び危険が生じないように十分配慮すること。
- ④研究期間中の試料の保管及び研究期間終了後の試料の廃棄等を厳格に行い、対象者の個人情報保護の確保に配慮すること。
- ⑤あらかじめ対象者等に研究の内容及び方法等を説明し、理解を求めた上で、書面により同意（対象者が未成年の場合は、本人および保護者等の同意）を得ること。なお、対象者が年少者または障害者等で、本人の同意を確認することが困難な場合にあっては、保護者等から書面により同意を得ること。

##### （2）動物を研究対象とする場合

- ①飼育施設の整備、実験方法改良、施術技術の向上等を通じ、実験に伴う動物の苦痛やストレスを最小限に抑える。
- ②動物実験の範囲を研究目的に必要な最小限度にとどめる。
- ③動物実験に際して、下記の法律、指針に則して研究を行うこと。
  - ア「動物の愛護および管理に関する法律」（昭和48年法律第105号、平成11年改正）
  - イ「実験動物の飼養および保管等に関する基準」（昭和55年総理府告示第6号）
  - ウ「動物の処分方法に関する指針」（平成7年総理府告示第40号）
  - エ「動物実験に関する指針」（昭和62年（社）日本実験動物学会）

##### （3）文献研究も含めた諸種の研究の場合

- ①文献研究においては先行研究の有する著作権に十分配慮すること。
- ②アンケート・面接調査等においては、対象者等に内容及び方法等を説明し、理解を求めた上で、同意を得ること。また、アンケートに応じないことで、不利益を被らないことも説明すること。そして、対象者の人権の尊重と個人情報の保護に留意すること。

2 研究の場が本大学以外の場合は、研究の開始に際して、あらかじめ使用研究機関の施設の倫理審査委員会及び施設長等の承認を得ること。

#### （倫理審査委員会の設置）

**第3条** 第1条の目的を達成するために、本大学に人間総合科学大学倫理審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### （委員会の任務）

**第4条** 委員会は、第2条の留意事項に基づき、この規程の対象となる事項に関し、定められた手続きを経た申請に対して、倫理的・社会的観点から審査するとともに、実施中の研究に関して本規程に反する事態が生じた場合には、当該研究の変更・中止及び発表の禁止、その他研究等に関して必要な意見を述べることができる。

#### (委員会の組織)

**第5条** 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 人間総合科学大学の自然科学系の教員 若干名
- (2) 人間総合科学大学の人文・社会系の教員 若干名
- (3) 学外の有識者 若干名
- (4) その他学長が必要と認めた者

2 前項の委員は学長が任命する。

#### (委員長)

**第6条** 委員会には委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

#### (任期)

**第7条** 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (審査の判定)

**第8条** 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員は、自己の申請に係わる審査に加わることはできない。

3 委員会は、必要に応じて申請者及び関係者に出席を求め、申請内容等に関する説明及び意見の聴取を行うことができる。

4 委員会の運営に関する事項については、出席者の過半数をもって決する。

5 委員会は、必要に応じて持ち回りによって審議を行うことができる。

6 委員会は、必要に応じて学部・学科や領域等によって部会を開催して審議を行うことができる。

7 審査の判定は、出席した委員の3分の2の合意によるものとし、次の各号に掲げる表示を行う。

- (1) 非該当
- (2) 承認
- (3) 条件付承認
- (4) 変更の勧告
- (5) 不承認

8 審査経過は記録として保存し、原則として議事要旨は公開されるものとする。ただし、委員会が特に非公開が適切と判断した場合には、この限りではない。

9 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会が別に定めるものとする。

#### (迅速審査)

**第8条の2** 委員会は、次に掲げるような軽微な審査の場合には迅速な審査を行うため審査手続きを簡略化することができる。

1 研究計画の軽微な変更の審査

2 既に委員会において承認されている研究計画に準じた研究計画等の審査

3 共同研究等で既に主たる研究を行う機関において倫理審査に関する委員会の承認を受けた研究計画等の審査

4 研究対象者に対して最小限の危険（日常生活で被る身体的、心理的または社会的危害の可能性の限度を超えない危険であって、社会的に許容される種類のもの）を超える危険を含まない研究計画等の審査

#### (専門委員会)

**第9条** 委員会に、専門の事項を調査検討するために、専門委員会をおくことができる。

2 専門委員は、委員長が委嘱する。

3 委員会が必要と認めたときは、委員会に専門委員会委員の出席を求めて、調査検討事項の報告を受け、討議に参加させることができる。ただし、専門委員会委員は、審査の判定に加わることはできない。

**(守秘義務)**

**第10条** 委員は、委員会において知り得た個人に関する情報を、法令または裁判所の命令等正当な理由なしに漏らしてはならない。委員を退いた後といえども同様とする。

**(申請手続き及び判定の通知)**

**第11条** 審査を受けようとする研究責任者は、倫理審査申請書（別紙様式第1号）に必要事項を記入の上、学長に申請しなければならない。ただし、研究責任者が学部学生の場合、審査の必要性に関しては当該学生の指導教員が判断するものとする。

2 学長は、申請書を受理したときは、委員会に審査を諮問するものとする。

3 委員長は、審査結果について速やかに学長に書面をもって報告するとともに、審査結果通知書（別紙様式第2号）により、研究責任者に通知するものとする。

**(再審査)**

**第12条** 学長は、委員会の審査結果に疑義が生じたときは、委員会に再審査を諮問することができる。

2 研究責任者は、審査結果に異議があるときは、学長に再審査を求めることができる。

**(研究の検証)**

**第13条** 委員会は、必要に応じて研究責任者から当該研究について報告を求め、調査することができる。この場合において、当該研究において改善すべき事項があるときは、必要な指導・勧告を行うことができる。

**(研究計画の変更及び中止)**

**第14条** 研究責任者は、研究計画等を変更あるいは中止するときは、研究計画変更申請書（別紙様式第3号）を学長に提出するものとする。

**(補則)**

**第15条** この規程に定めるもののほか、研究上の倫理について必要な事項は、委員会の審議を経て学長が別に定める。

**(細則)**

**第16条** この委員会の運営に関する細則は、別に定めることができる。

**(改廃)**

**第17条** この規程の改廃については、少なくとも3年ごとに見直すものとし、理事長が決定する。

---

**附則**

1 この規程は、平成17年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

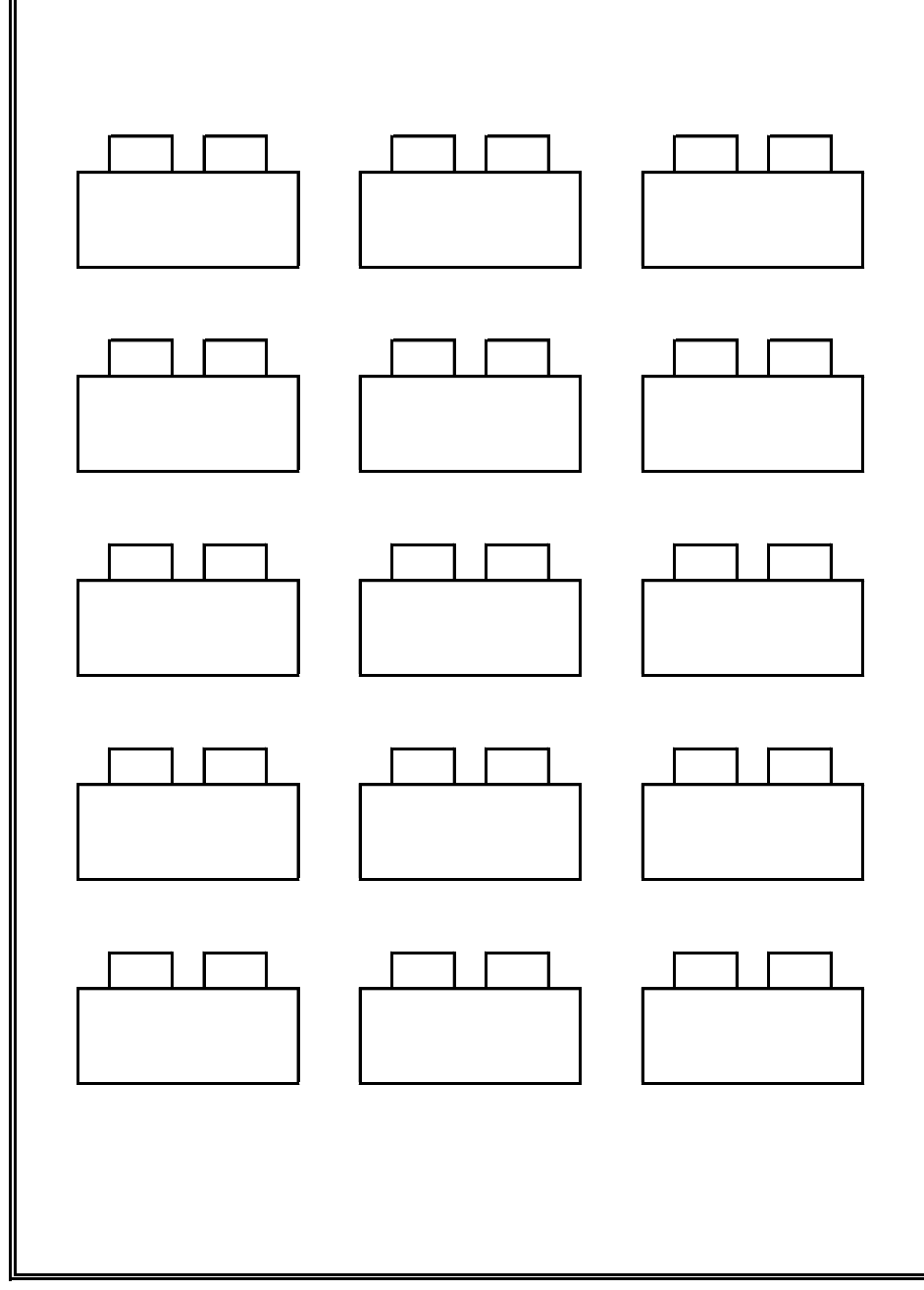
**附則**

1 この規程は、平成24年 4月 1日から施行する。

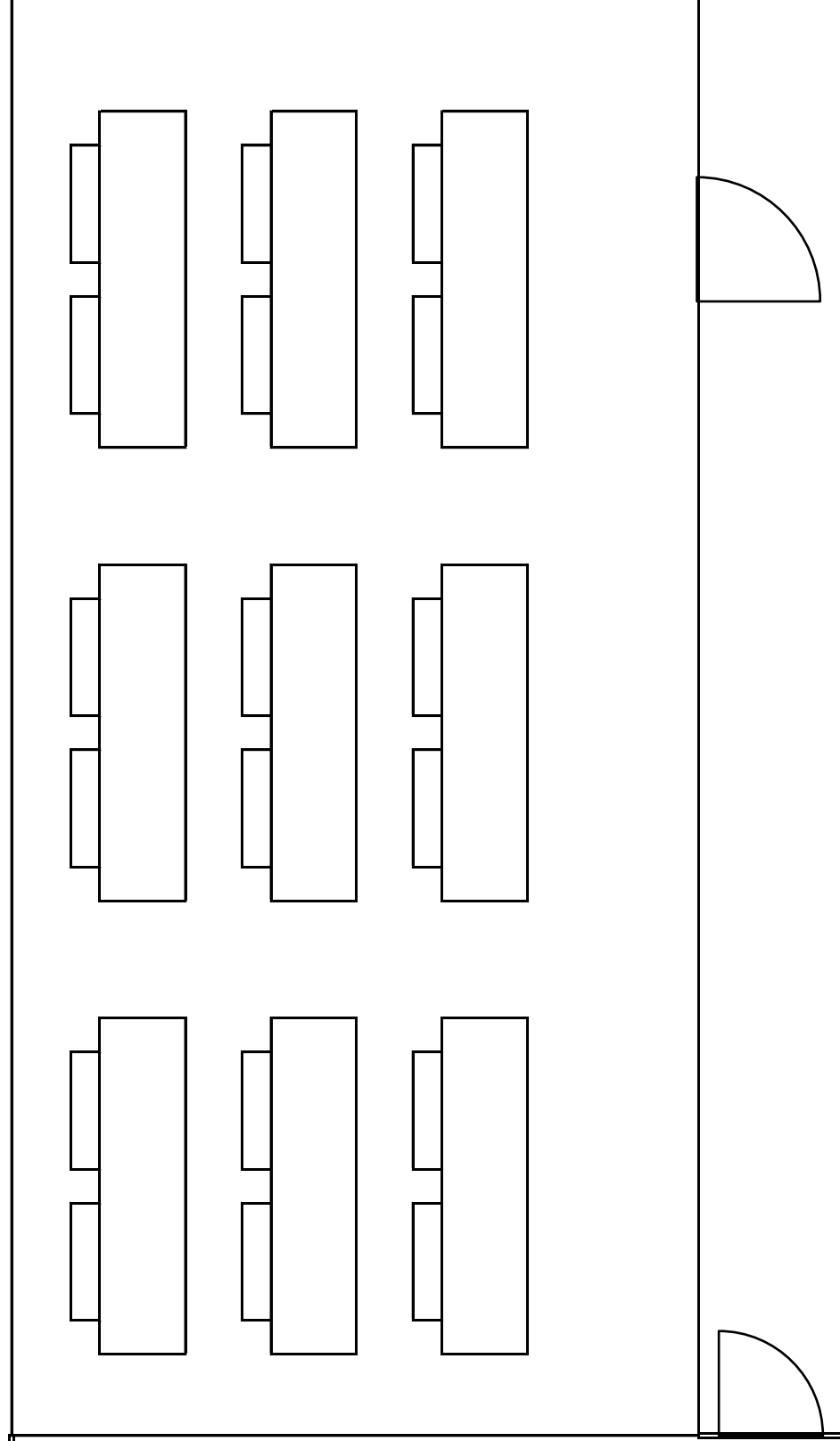


## 資料⑤：自習室の見取図

【104教室】



【103教室】



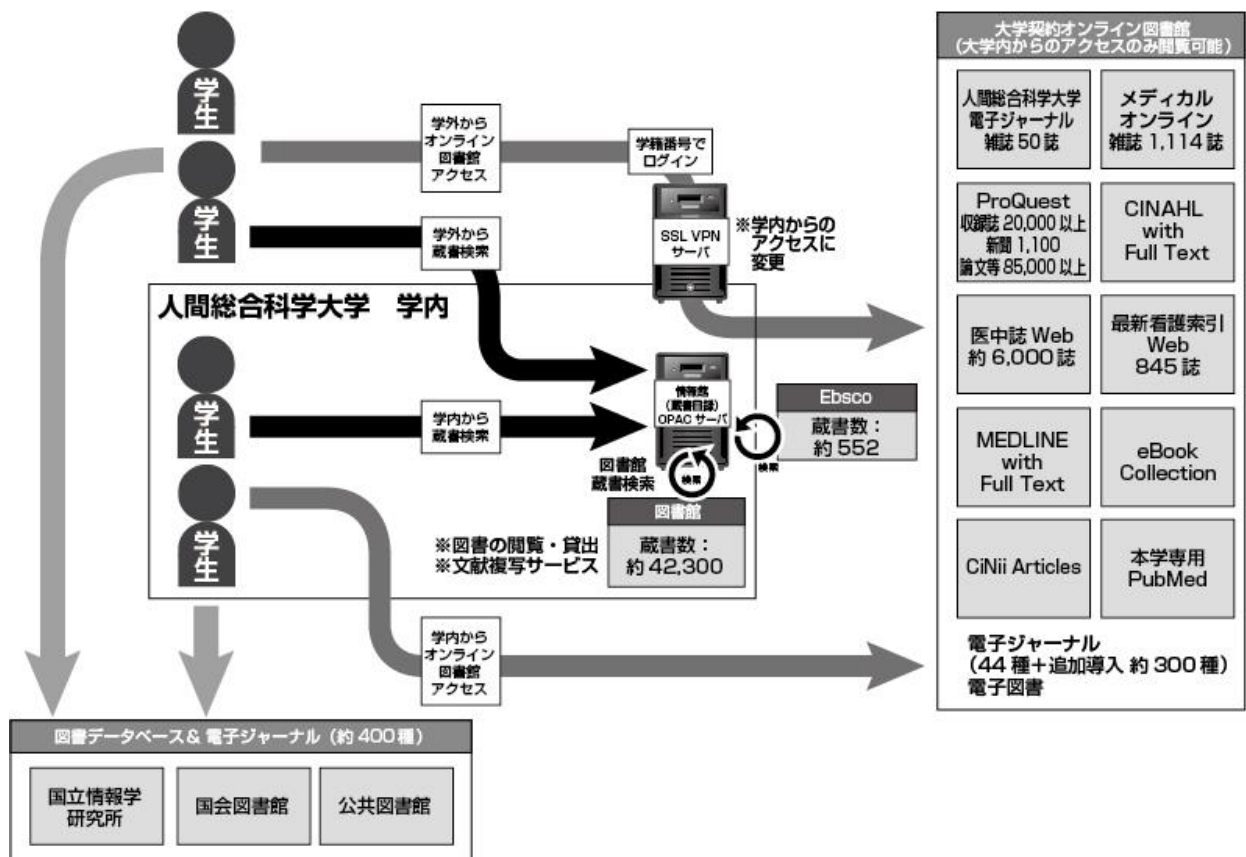
収容定員：30名【104】 20名【103】  
面積：40.8㎡ 30.8㎡

- ①学生の自習室(102教室)は、1)無線LANが装備、2)図書館に近い場所を確保されてお  
図書の出貸や、タブレットPCなどによるインターネット文献検索も活用でき、自己学修するには最適であ  
る。
- ②机は可動式で、遠隔地からのTV会議を利用した、ディスカッションなども可能。  
簡単なラーニングコモンズとしての利用もできるため、主体的なオンラインによるグループ学修も可能とな  
る。

資料⑥：図書館システムの概要

■図書館システムの概要

人間総合科学大学電子ジャーナルサイト紀伊 國屋書店 JournalWeb (予定)	医療系・心理系の海外電子ジャーナル： 契約タイトル数 50 誌 (FreeOnline 含む)
メディカルオンライン	医学関連情報データベース：雑誌 1114 タイトル
医中誌 Web	医学関連文献情報データベース：雑誌約 6,000 誌から収録された 870 万件の論文情報提供
最新看護索引 Web	看護に特化した文献の書誌を網羅。
CiNii Articles (サイニイ)	国内学術雑誌・研究紀要論文の検索・閲覧
ProQuest (プロクエスト)	【欧文】広範囲の分野をカバーする全文データベース： 収録誌数 20,000 タイトル以上 (全文収録 14,000 タイトル以上)、1,100 紙以上の新聞を全文収録、その他、85,000 件以上の学位論文や報告書等
CINAHL with Full Text (シナール)	【欧文】看護に特化したデータベース：収録誌数 845 誌 (約 205,253 件の雑誌論文件数)
MEDLINE with Full Text(メドライン)	【欧文】医学系データベース。
eBook Collection	電子書籍全文の検索および閲覧ができる。
本学専用 PubMed	本学独自のデータベースリンク
EBSCO 内 PsycINFO	心理学分野の必須データベース (導入予定)



# 資料⑦：電子図書

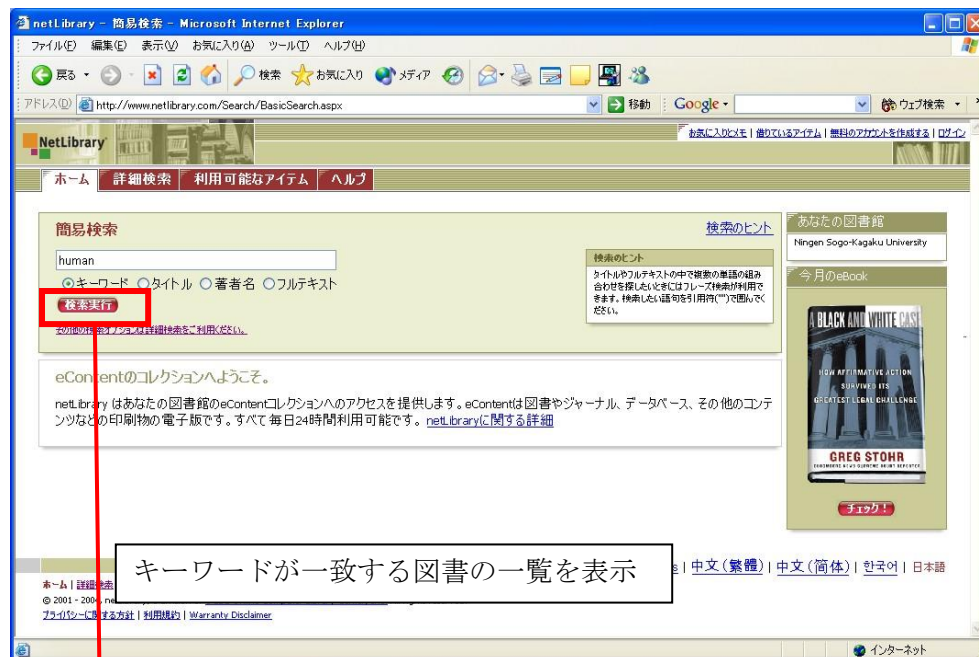
電子図書 約4200冊

## 1 検索画面

NetLibrary にアクセスすると簡易検索画面が表示されます。

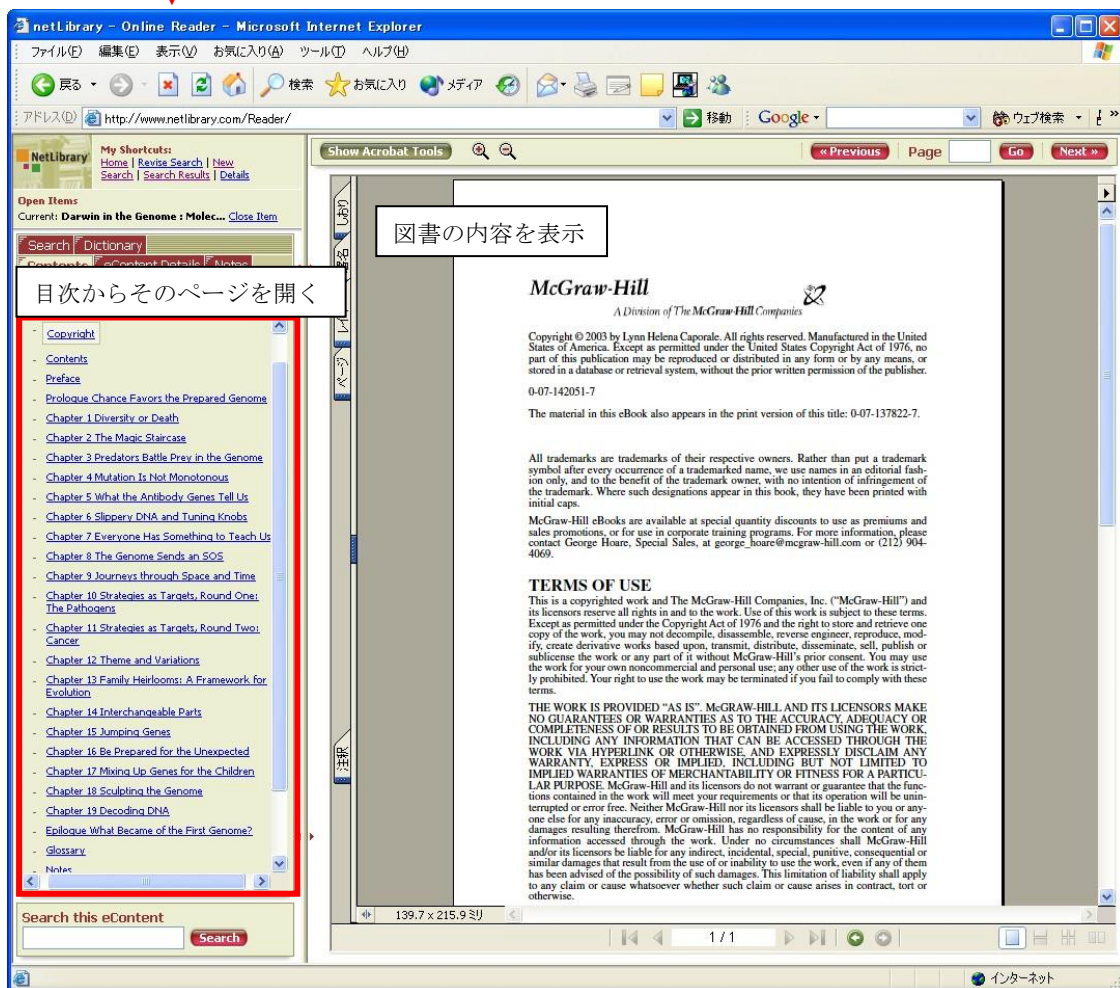
キーワード・タイトル・著者名・フルテキストでの検索が可能です。

検索する文字列を入力し、検索実行をすると検索結果を見ることができます。



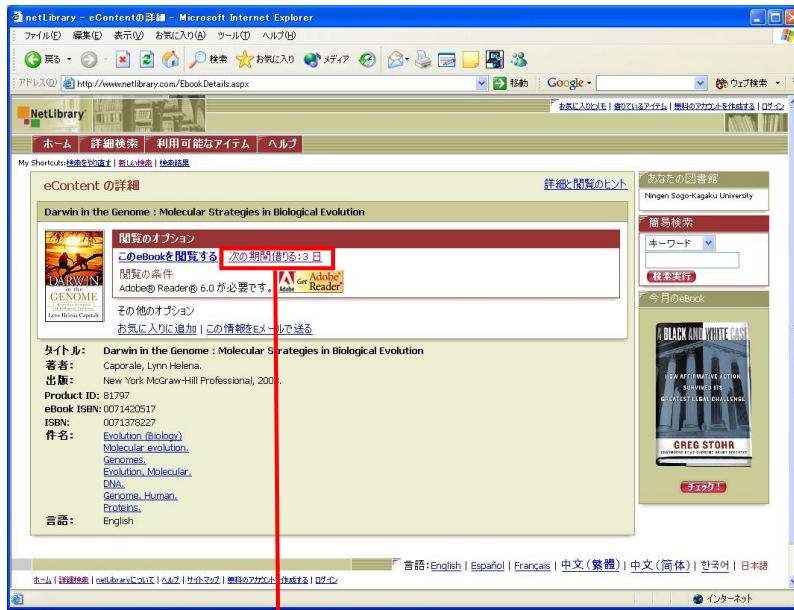
## 2 図書の閲覧

検索結果から目的の図書が見つかったら、「この eBook を閲覧する」を選択することでその図書を閲覧することができます。



### 3 図書を借りる

ネット上で借りることにより、その図書を占有することができます。



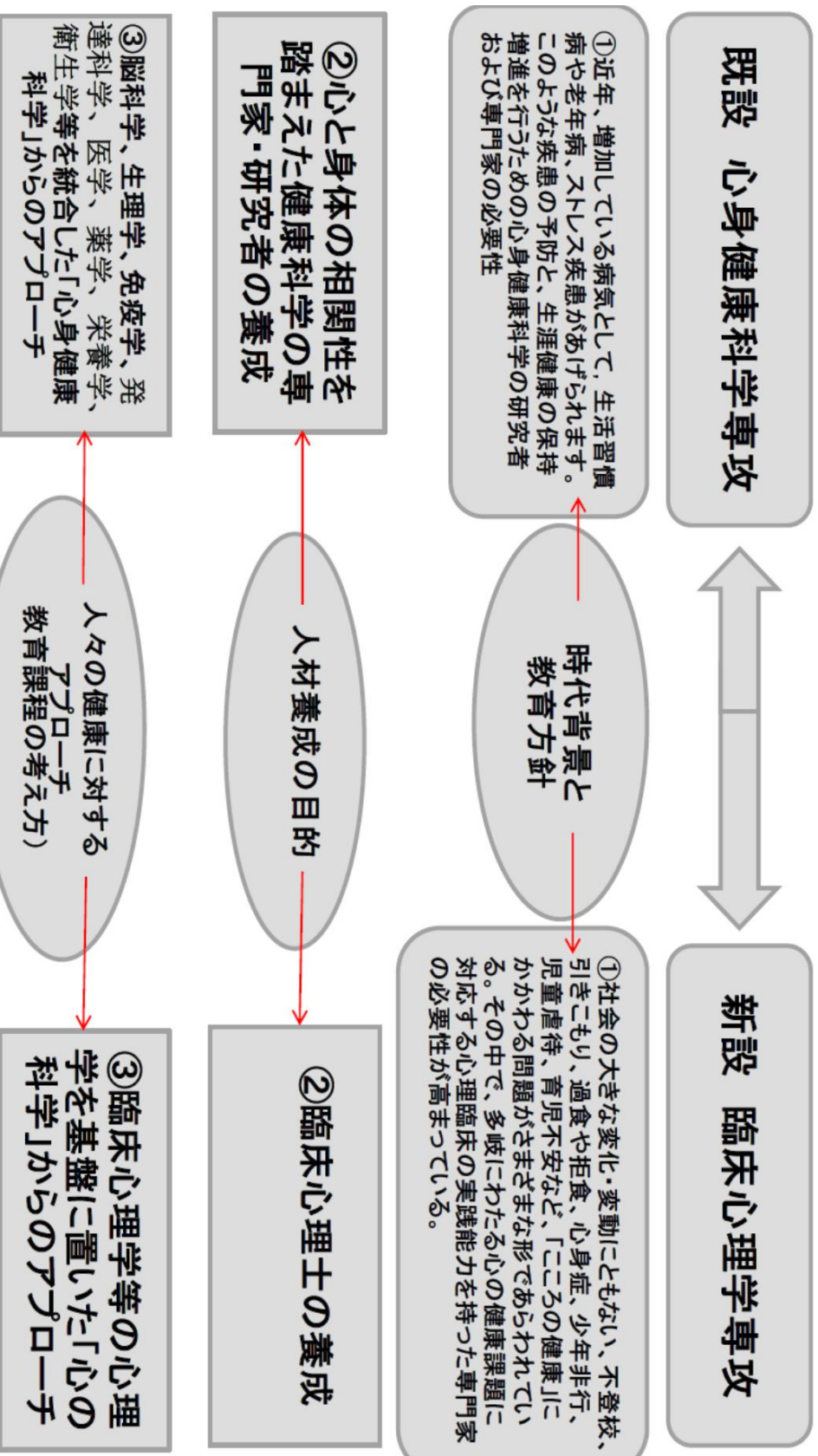
貸し出し期間を過ぎると、自動的に返却されます。

資料⑧：学術雑誌リスト

No. 雑誌名 中途解約年月日	出版者	契約開始年月日 契約終了年月日
[1] Attachment & Human Development	BrunnerRoutledge	2004/11/18
[2] Psychology health & medicine	Carfax	2004/11/25
[3] Aging & mental health	Carfax	2004/01/01
[4] Developmental psychology	American Psychological Association	2008/03/31
[5] Development and psychopathology	Cambridge University Press	2008/03/31
[6] カウンセリング研究	日本カウンセリング学会	2000/03/01
[7] 教育心理学研究	日本教育心理学会	2002/07/10
[8] 健康心理学研究	日本健康心理学会	2008/08/02
[9] 交流分析研究	日本交流分析学会	2001/07/20
[10] 心身医学	日本心身医学会	2008/02/28
[11] 心身健康科学	日本心身健康科学会	
[12] 心理臨床学研究	日本心理臨床学会	2002/04/01
[13] 心理学研究	日本心理学会	2000/03/01
[14] 心理臨床の広場	日本心理臨床学会	2009/11/04
[15] ストレス科学	日本ストレス学会	2006/03/31
[16] 精神分析研究	日本精神分析学会	2001/03/29
[17] 青年心理学研究	日本青年心理学研究会	2001/09/28
[18] 発達心理学研究	日本発達心理学会	2006/01/05
[19] 臨床心理学	金剛出版	2001/04/13
[20] 臨床精神医学	アークメディア	2000/03/01

## 資料⑨：心身健康科学専攻との関連

### 1. 臨床心理学専攻設置の意義



## 2. 臨床心理学専攻(新設)と心身健康科学専攻(既設)の科目相関

### 【人間総合科学研究科として科目相関性】

臨床心理学専攻（新設）及び心身健康科学専攻（既設）においては、現在、心身健康科学専攻で開講している科目のうち、「心の健康づくり及びQOL向上」「心身の健康増進」「メンタルヘルスやメンタルケア」に関連する科目を共通分野として教育研究活動を展開します。

### 人間総合科学研究科

#### （既設）心身健康科学専攻

#### （新設）臨床心理学専攻

基礎分野科目 (必修)	心身健康科学特論Ⅰ	←	心身健康科学特論
	心身健康科学特論Ⅱ	←	認知脳科学特論
I群 (選択必修)	心身健康科学特論Ⅲ		ストレス学特論
	心身健康科学特論Ⅳ		臨床心理学特論Ⅰ
選択分野科目 (選択)	高次脳機能学特講		臨床心理学特論Ⅱ
	生命倫理特講		臨床心理職関連行政・倫理特論
	心身機能観察特講Ⅰ		臨床心理面接特論Ⅰ
	心身機能観察特講Ⅱ		臨床心理面接特論Ⅱ
	ストレス学特講	←	臨床心理査定演習Ⅰ
	認知脳科学特講	←	臨床心理査定演習Ⅱ
	ライフサイクルと健康特講		臨床心理学研究法特論
	健康科学・疫学特講		心理統計法特論
	心身免疫学特講		カウンセリング特論
	精神分析特講	←	心理療法特論
	比較文化特講		心身医学特論
	長寿科学特講		精神医学特論
	文化人類学特講		学校臨床心理学特論
	健康文化論特講		教育心理学特論
	心身医学特講	←	発達心理学特論
	発達心理学特講	←	福祉心理学特論
老年健康科学特講	←	犯罪心理学特論	
研究指導	心身健康科学研究		産業心理学特論
			臨床心理援助技法論Ⅰ(個人心理療法)
			臨床心理援助技法論Ⅱ(集団心理療法)
			臨床心理援助技法論Ⅲ(臨床心理査定)
			臨床心理基礎実習Ⅰ
			臨床心理基礎実習Ⅱ
			臨床心理実習Ⅰ
			臨床心理実習Ⅱ
			臨床心理学特別研究



# 原本証明

次の書類の写しは、原本と相違ないことを証明する。

## 実習施設承諾書

(人間総合科学大学 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 実習施設)

平成27年6月30日

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288

学校法人 早稲田医療学園

理事長 久住 眞 理

# 実習施設承諾書

平成 27 年 06 月 22 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名： 聖路加国際病院 心療内科

代表者職名： 医長

代表者氏名： 太田 大介



下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	聖路加国際病院 心療内科
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成 28 年 04 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名

# 実習施設承諾書

平成 27 年 月 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 真理 殿

施設名： 公益財団法人神経研究所  
代表者職名： 附属 晴和病院  
代表者氏名： 院長 松浪 克文

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。



..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	病院 晴和病院
2. 定員	若干 名
3. 実習生の受入開始時期	平成 28 年 4 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干 名

# 実習施設承諾書

平成27年6月15日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名：心療内科アツクリエック大崎

代表者職名：院長

代表者氏名：村林信行

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	医療法人社団 信俊会 心療内科アツクリエック大崎
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名

実習施設承諾書

平成 27 年 6 月 10 日

学校法人 早稲田医療学園

学長 久住 眞理 殿

施設名: 東邦大学新木医学講座

代表者職名: 教授

代表者氏名: 奥田 仁志 (印)

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	東邦大学医療センター 大森病院
2. 定員	3 名
3. 実習生の受入開始時期	平成 28 年 6 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	2~3 名

実習施設承諾書

平成27年6月8日

学校法人 早稲田医療学園

学長 久住 真理 殿

施設名 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和南2-3-  
医療法人社団 喃育会  
代表者職名： 横浜相原病院  
院長 吉田 勝 謙  
代表者氏名： TEL 045 (362) 7111

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	医療法人社団 喃育会 横浜相原病院
2. 定員	若干 名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年 4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干 名

# 実 習 施 設 承 諾 書

平成 27 年 6 月 15 日

学校法人 早稲田医療学園  
 人間総合科学大学  
 学長 久住 眞理 殿

施設名: 東邦大学医療センター  
 大森病院 心療内科  
 代表者職名: 教授  
 代表者氏名: 端 浩 勝 敬

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	東邦大学医療センター 大森病院 心療内科
2. 定 員	若干 名
3. 実習生の受入開始時期	平成 <sup>27</sup> 年 4 月より
4. 実習受入可能時期	8 月 日から 8 月 日まで <small>医学部実習              夏季休暇期間 (30日程度)</small>
5. 実習受入人数	若干 名

実習施設承諾書

平成27年6月16日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名: 虎の門病院

代表者職名: 心理部心理科長

代表者氏名: 羽間 平人 (心理部 羽間)

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	虎の門病院 本院及び分院
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名



実習施設承諾書

平成27年6月11日

学校法人 早稲田医療学園

理事長 久住 眞理 殿

施設名: 高井内科クリニック

代表者職名: 院長

代表者氏名: 高井智子 (印)

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	高井内科クリニック
2. 定員	/ 名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで ※未記載でもOK
5. 実習受入人数	/ 名

# 実習施設承諾書

平成 27 年 6 月 16 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

〒455-8530 名古屋市港区港明1丁目10番6号  
中部労災病院 心療内科  
勤労者メンタルヘルスセンター  
施設名: TEL 052-652-5511

代表者職名: 心療内科部長  
勤労者メンタルヘルスセンター長

代表者氏名: 菅原 聡

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

〒455-8530 名古屋市港区港明1丁目10番6号  
中部労災病院 心療内科  
勤労者メンタルヘルスセンター  
TEL 052-652-5511

1. 施設種別及び施設名	
2. 定 員	名
3. 実習生の受入開始時期	平成 29 年 4 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	1 名

実習施設承諾書

平成 27 年 7 月 / 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名: 熊谷市立教育研究所

代表者職名: 所長

代表者氏名: 橋本 雅文

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	通訳指導教室 2CS教室
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成 29 年 10 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名

実習施設承諾書

平成27年6月18日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

草加市教育委員会  
施設名: 教育支援室  
代表者職名: 教育支援室長  
代表者氏名: 山根 明

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	草加市教育委員会教育支援室
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成28年4月より
4. 実習受入可能時期	5月 日から 2月 日まで
5. 実習受入人数	/ 名

実習施設承諾書

平成27年6月 | 日

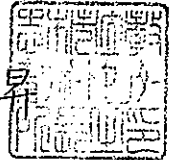
学校法人 早稲田医療学園

理事長 久住 眞理 殿 様

施設名: 志木市立教育サポートセンター

代表者職名: 所長

代表者氏名: 久保 昇



下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	志木市立教育サポートセンター
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成27年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名

※ 定員・実習受入人数等は協議して定める。

実習施設承諾書

平成27年6月11日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名： 日々輝学園高等学校

代表者職名： 校長

代表者氏名： 小 椋 龍 郎

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	日々輝学園高等学校 神奈川校
2. 定員	2 名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	2 名

# 実習施設承諾書

平成 27 年 6 月 12 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名: 鴻巣市立教育支援センター

代表者職名: 所長

代表者氏名: 松本 笑美子

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	教育支援センター
2. 定員	若干名
3. 実習生の受入開始時期	平成 29 年 4 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干名

実習施設承諾書

平成27年6月18日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 様

施設名: 新座市教育委員会  
教育相談センター

代表者職名: 室 長

代表者氏名: 川南 真一



下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	新座市教育委員会 教育相談室 (適応指導教室)
2. 定 員	5 名
3. 実習生の受入開始時期	平成29年10月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	/ 名



実習施設承諾書

平成27年 6月16日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施設名：川口市立教育研究所

代表者職名：指導課長  
代表者氏名：菅原京



下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	川口市立教育研究所
2. 定員	3名
3. 実習生の受入開始時期	平成28年4月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	1~2名

実 習 施 設 承 諾 書

平成 27 年 6 月 22 日

学校法人 早稲田医療学園  
人間総合科学大学  
学長 久住 眞理 殿

施 設 名：蓮田市教育委員会

代表者職名：教 育 長

代表者氏名：西 山 通 夫

下記のとおり、人間総合科学大学が開設する大学院・臨床心理学専攻（通信教育課程）  
の実習施設等として実習生を受け入れることを承諾いたします。

..... 記 .....

1. 施設種別及び施設名	蓮田市教育委員会
2. 定 員	若干 名
3. 実習生の受入開始時期	平成 28 年 4 月より
4. 実習受入可能時期	月 日から 月 日まで
5. 実習受入人数	若干 名

# 資料⑪ 学外実習のシステムと学習内容

## 事前指導

- ・学外実習における心構えの確認
- ・職業倫理および守秘義務の確認
- ・学外実習先の予備知識の学習
- ・学外実習先の実習担当者との打ち合わせ

## 学外実習

- ・臨床心理士の役割
  - ・ケース記録の書き方
  - ・チームアプローチの理解
  - ・心理面接への陪席
  - ・他職種との連携
  - ・心理検査の実施 等
- <医療機関>
- ・病院等の医療現場の理解
  - ・病院等の医療現場で働く臨床心理士の役割
  - ・医師、看護師等他職種の役割と連携
  - ・患者やクライアントへのカウンセリング、心理検査の実践
- <教育機関>
- ・教育現場(学校、教育相談所、適応指導教室、通級)の理解
  - ・教育現場で働く臨床心理士の役割
  - ・不登校、発達障害等の児童・生徒への支援
  - ・知能検査や発達検査等の実践

## 事後指導

- ・学外実習先の実習担当者からのフィードバック
- ・教員によるスーパーバイジョン
- ・学外実習報告会の実施

# 資料⑫：学修ポータルサイトを活用した指導例

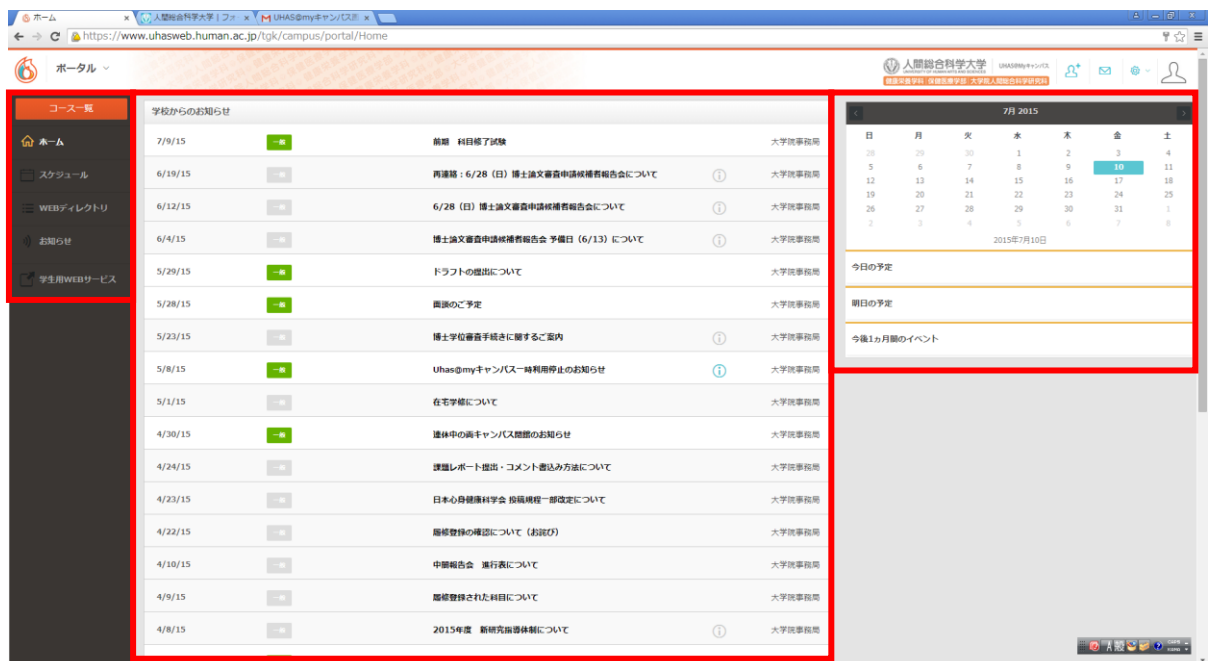
## 1 メニュー画面

学生には入学時に個人毎のユーザーID とパスワードが配布されます。



## 2 TOPページ

画面左側は学生の共通メニューで、[ コース一覧 ] をクリックすると履修している科目の一覧が表示され、科目名をクリックすると、該当科目のページに移行します。画面中央は大学からのお知らせが表示されます。画面右側はスケジュールがカレンダー表示されます。



### 3 在宅学修（レポート提出からディスカッション）

科目毎に3回のレポート提出（800字程度）を行ないます。自分のレポートを提出するとともに、他の学生のレポートに対して、意見を述べます。

The image shows a two-step process on a university website. The first screenshot shows a course selection menu with a red box around the '心身健康科学特殊講義' (Special Lecture on Psychophysiology) and a red arrow pointing to the second screenshot. The second screenshot shows the course page for '心身健康科学特論 I' (Special Lecture on Psychophysiology I). It features a '本人のレポート' (My Report) section with a table of reports and a '発言' (Comments) section with a detailed report and student comments.

**TOPメニューより該当科目を選択  
→該当科目のページに遷移**

**本人のレポート提出**

**他の学生・教員のコメント**

**本人のレポート**

**発言者名**

**他の学生のコメント**

削除	話題	最終発言日	件数	タ...
<input type="checkbox"/>		2015/07...	75	あり
<input type="checkbox"/>		2015/07...	61	あり
<input type="checkbox"/>		2015/06...	0	
<input type="checkbox"/>		2015/06...	62	あり
<input type="checkbox"/>		2015/06...	75	あり
<input type="checkbox"/>		2015/06...	73	あり
<input type="checkbox"/>		2015/05...	88	あり

発言

小岩 信義 2015/05/12 16:43  
課題用添付資料を読み、所定の場所に提出してください。  
※ 所属グループを間違えないようにしましょう。こちらはBグループです。

本人のレポート

参考文献 16 2015/05/26  
参考文献 13 2015/05/28  
参考文献 4 2015/06/01  
参考文献 9 2015/05/31  
参考文献 2015/06/01

発言者名

無数 16 2015/05/26

本人のレポート

野間様 レポート拝見いたしました。コメントさせていただきます。

他の学生のコメント

返信 削除

## 4 研究指導

研究論文の進捗状況を逐次指導教員に提出。

The image shows two screenshots of the UHAS MyCampus interface. The top screenshot shows the 'コース' (Course) menu with '研究指導 博士' (Research Guidance) selected. A red box highlights this menu item, and a red arrow points to the bottom screenshot. The bottom screenshot shows the '心身健康科学特別研究指導 (久住 武)' (Psychological and Physiological Health Science Special Research Guidance (Takizumi Takeru)) page. The 'タスクナビ' (Task Navigator) tab is active, showing a list of tasks for the '1年' (1st year) section. A red box highlights the 'レポートを提出' (Submit Report) button.

TOPメニューより研究指導（指導教員）を選択  
→指導教員の研究指導のページに遷移

レポートを提出

## 5 教員への質問

各科目や、研究指導について教員に質問ができます。

The screenshot shows the course page for '心身健康科学特別研究指導 (久住 武)'. The left sidebar contains navigation options: 'コース一覧' (Course List), 'ホーム' (Home), 'コース自己登録' (Course Self-Registration), 'スケジュール' (Schedule), 'Q&A', and '一般公開ライブラリ' (General Public Library). The main content area has tabs for 'コースNOW', 'タスクナビ', 'コースフィード', 'お知らせ', 'フォーラム', and 'コース情報'. Below the tabs is a 'ユニットで絞り込み' (Filter by Unit) dropdown menu. A row of tabs includes '先生へ' (To Teacher), '1年', '2年', '3年', and '面接指導'. The '先生へ' tab is selected and highlighted with a red box. Below it, there is a 'タスク概要' (Task Overview) section with a 'テキスト' (Text) icon and a '連絡・質問' (Contact/Question) link. A '質問する' (Ask Question) button is also highlighted with a red box. A red arrow points from the '先生へ' tab to the '質問する' button. Below the button, there is a '連絡・質問' (Contact/Question) section with a text area and a '保存' (Save) button. A note below the text area reads: '指導教員への連絡・質問は、上の [質問する] ボタンをクリックして力後、 [保存] ボタンをクリックしてください。' (To contact or ask a question to the supervising teacher, click the [Ask Question] button above, and then click the [Save] button after that.)

The '質問する' (Ask Question) dialog box is shown. It has a title bar with '質問する' and a close button (X). The main content area contains the following fields:

- 質問箱名: 心特研 (久住武) (Dropdown menu)
- テンプレート: テンプレートを使わない (Dropdown menu)
- タイトル: 先生への連絡・質問について (Text input)
- 本文: (Large text area for the question)
- 添付ファイル: 選択 (File selection button)

At the bottom right, there are two buttons: '閉じる' (Close) and '保存' (Save).

## 6 成績参照

最新の成績や学修状況をいつでも確認することができます。

### 成績参照 ? ヘルプ

成績参照

学籍番号	XXXXXXXXXX
氏名	XXXXXXXXXX
学部	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程
学年	2年 <span style="margin-left: 50px;">セメスタ</span>
郵便番号	XXXXXXXXXX
住所1	XXXXXXXXXX
住所2	XXXXXXXXXX
住所3	XXXXXXXXXX

### [成績情報]

科目分類・分野	科目名	授業形態	単位数	履修年度	成績評価	修得年度	状況
科目群	6104B0	心身健康科学特論 I	T/S	3単位	年		年
	6105B0	心身健康科学特論 II	T/S	3単位	年		年
	6108B0	心身健康科学特論 III	T/S	3単位	年		年
	6109B0	心身健康科学特論 IV	T/S	3単位	年		年
	6217B0	高次脳機能学特講	T/S	3単位	年		年
	6218B0	心身機能観察特講 I	T/S	3単位	年		年
	6213T0	ストレス学特講	T	2単位	年		年
	6212T0	精神分析特講	T	2単位	年		年
	6210T0	比較文化特講	T	2単位	年		年
	6229T0	文化人類学特講		2単位	年		
	6230T0	応用健康科学特講		2単位	年		
	6900G0	心身健康科学研究	G	6単位	年		

## 7 教材作成

教員は自分の担当する科目や研究指導画面内で自由に教材コンテンツを作成することができる。

コース ▾

コース一覧 >

ホーム

管理ツール ▾

スケジュール

Q&A

一般公開ライブラリ

### 心身健康科学特論 I

コーチ ▾
タスクナビ ▾
コースフィード
お知らせ
フォーラム ▾
コース情報
レポート
アンケート
テスト

ユニットで絞り込み ▾

第1回 テ...
第2回 テ...
第3回 テ...
第4回 テ...
第5回 テ...
科目修了試験
スクーリン...

タスクを追加

テキスト

XXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXX

**タスク種別 (必須)**

テキスト

提出物

レポート

アンケート

テスト

学習教材

配布資料

Webリンク

フォーラム

ビデオ

Youtube

全員を対象とする ▾

ライブラリから作成

キャンセル



種別	説明
レポート	<p>レポートを提出します。</p> <p>添付ファイルや模範解答の配布が可能です。</p> <p>また、提出されたレポートに対して成績を付けることが可能です。</p>
グループレポート	<p>グループメンバーで協力して作成したレポートを、グループの成果として提出します。</p> <p>添付ファイルや模範解答の配布が可能です。</p> <p>また、提出されたレポートに対して成績を付けることが可能です。</p>
アンケート	<p>アンケートに回答し、提出します。</p>
テスト	<p>テストに解答し、提出します。</p> <p>得点を成績に含めることが可能です。</p>
配付資料	<p>ファイルをダウンロードします。</p>
WEB リンク	<p>リンクをクリックし、リンク先の教材を閲覧します。</p>
掲示板	<p>教員の設定した話題について自分の意見を投稿します。</p>
ビデオ	<p>ビデオを視聴します。</p> <p>ビデオはブラウザ標準のプレイヤーで視聴できます。スマートフォンやタブレットに対応しています。</p>
YouTube	<p>YouTube 動画を視聴します。</p>



## 8 在宅学修（レポート提出・コメント書込）の実施例

### ① 課題

【】 前期レポート課題1 最終更新日 [REDACTED]









11才の男子(小学5年生)が朝の登校時に吐き気を催して登校できない状態となった。きっかけは学級担任が交替して以来、子供に厳しく注意を与える担任への不安が増大し、身体症状としての吐き気があらわれた。親は無理に登校させようとするが、吐き気は増強しているという。このケースは学級担任の厳しい態度におびえ、学校に強い不安を抱き、不登校に至ったものである。このケースをレスポナント学習の立場から論じて下さい。

### ② レポート提出・コメント書込一覧

 ... 本人のレポート     ... 他学生のコメント

投稿    前80日分の表示    次80日分の表示    検索    会議室設定    利用状況    ログアウト

[レポート1 発言一覧]

	題名	所属	氏名	更新日
 [59]	[REDACTED]	04610026 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [58]	[REDACTED]	04610028 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [55]	[REDACTED]	04610036 04610025 04610024 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [53]	[REDACTED]	04610035 04610015 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [52]	[REDACTED]	04610020 04610033 04610020 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [51]	[REDACTED]	04610023 04610008 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [49]	[REDACTED]	04610024 04610025 04610024 04610016 04610024 04610035 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [48]	[REDACTED]	04610018 04610026 04610018 教員	[REDACTED]	[REDACTED]
 [46]	[REDACTED]	04610032 04610026 04610027	[REDACTED]	[REDACTED]

## ◎実際のレポートとコメント

<p>最終更新日</p>
<p>レスポデント学習は、もともとは中性刺激であったものが、別の刺激と一対で繰り返し提示されることによって、その刺激と連合されるようになる学習過程である。(1) この過程は、古典的条件付け(Classical conditioning)として、パブロフ(Ivan Pavlov)の実験によって証明された。(2)</p> <p>小学男子は、担任の厳しい態度におびえ、学校生活に強い不安を抱いている。「担任の厳しい態度」は無条件刺激(unconditioned stimulus、UCS)であり、「不安、恐怖」は無条件反応(unconditioned response、UCR)である。(図1)小学男子は、「担任の厳しい態度」を、「学校」という環境で繰り返し経験し、厳しく注意を与える担任へ「不安、恐怖」が増大した。つまり、小学男子は、「担任の厳しい態度」と「学校」が連合した条件で、「不安」を体験した。(図2-①)「学校」への登校は、条件刺激(conditioned stimulus、CS)となり、小学男子は、不安惹起に影響の無かった「学校」(CS)への登校が、「不安・恐怖」を連想させ、回避反応として身体症状(吐き気)を引き起こした。(図2-②)</p> <p>UCSに対するUSRがある状況下で、UCSにCS(USRに直接的意味の無い刺激)を組み合わせることを「連合」という。CSが連合で与えられることによって、意味のある刺激となることを、古典的条件付けという。</p> <p>身体的症状の「吐き気」は、心因性嘔気症(psychogenic nausea)である。不安によるストレスが負の情動反応として大脳皮質の辺縁系(情動)から、延髄にある嘔吐中枢を刺激して、「吐き気」を誘発している。</p> <p>心理的な要素が影響している場合は、親は無理強いせず、手を触れて背中をさすり、やさしい言葉で不安を取り除く等の心理的補助を実施する。</p> <p>古典的条件付けによれば、CSとUCSの連合でUSRが出現する環境が成立した場合でも、次にCSがUCS無しの条件で与え続けられれば、やがてUSRが消失する。これを「消去」と言い、しばしば不安症の治療に応用される。</p> <p>古典的条件付けによるところの「消去」の理論を用いて、本例の不安による心因性嘔気症を解消するには、例えば、①学校への登校を途中まで実施したところで、目標到達とみなして、毎日繰り返し、次第に距離を長くする等、「学校」と「不安」の連合の切り離し(消去)、②学級担任と、交換日記・メールなどの間接的媒体を使用してコミュニケーションを図り、人間関係の再構築を進める。など情動反応の学習が有効である。</p> <p>(1)ヒルガードの心理学 (2) PAVLOV IP. , Experimental therapy as a new and extremely useful method in physiological investigations., Feldsher Akush. 1951 Sep.9:3-10.</p>
<p>Re 最終更新日</p>
<p>&gt; 古典的条件付けによるところの「消去」の理論を用いて、本例の不安による心因性嘔気症を解消するには、例えば、①学校への登校を途中まで実施したところで、目標到達とみなして、毎日繰り返し、次第に距離を長くする等、「学校」と「不安」の連合の切り離し(消去)、②学級担任と、交換日記・メールなどの間接的媒体を使用してコミュニケーションを図り、人間関係の再構築を進める。など情動反応の学習が有効である。 &gt; &gt;</p> <p>「消去理論」にまで論を展開されているのが素晴らしいと感じました。私は、「消去」の方法が具体的に分らなかったもので、非常に参考になりました。</p>
<p>Re 最終更新日</p>
<p>レポートを拝見し、よく整理されていて勉強になりました。私は、学校への登校を条件刺激とは考えずに、学級担任が厳しく注意を与えたことにより、中性刺激から条件刺激に変化したと考えてしまいました。すると無条件刺激と無条件反応の関係が説明しにくくなるのがわかりました。無理強いをする親は、新たな条件刺激になるのでしょうか。学級担任との人間関係を再構築するためには、距離を置き学級担任の考えていることが通じるような交換日記を行うことはとてもよい方法かと思いました。</p>
<p>Re 最終更新日</p>
<p>レスポデント学習をもとに事例について見事に記述されています。消去の方法についても触れ、パーフェクトです。</p>

## 資料⑬：「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」について

### (1)「臨床心理基礎実習Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅱ」について

#### ①実習概要

学内・学外実習において、心理臨床の形式および技術の習得をすることを目的に「臨床心理基礎実習Ⅰ」「臨床心理基礎実習Ⅱ」を行う。

「臨床心理基礎実習Ⅰ」では、学内実習として電話受付、面接、見学実習の事前指導をスクーリングにて実施する（：70分×15コマ×3週間）。

「臨床心理基礎実習Ⅱ」では、学習の進度に応じて、学内実習（電話対応、面接等）を行う（学内実習施設「人間総合科学大学カウンセリングセンター」）。学内実習は4月～9月（25週）のうち12週（ほぼ隔週）×1日7時間（10:00～18:00）＝84時間。

また下記の通り、見学実習を実施する。

#### ②見学実習

実習機関として、**教育、医療、福祉領域を含む施設**を見学し、心理職の職場の雰囲気、組織の在り方を学習し、心理面接、査定の方法などについて、実際に現場でどのように展開されているのかを知る。見学実習は「臨床心理基礎実習」担当教員が引率する。

##### 【事前指導】

- ・見学実習の目的説明
- ・事前に実習先の情報をできるだけ入手しておくよう指導する
- ・見学実習当日の服装・態度などについて指導する。

##### 【事後指導】

- ・見学実習報告書の提出
- ・ケースカンファレンスでの報告（フォローアップ）

## (2)「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」について

### ① 実習概要

「臨床心理実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅱ」では、2年次前期の学内実習を継続し、学内実習施設（「人間総合科学大学カウンセリングセンター」）においてケースを担当しながら臨床の学びを深めていく。また、医療機関および教育機関にて学外実習を行う。学外実習は2週間集中型あるいは週1回の継続型を選択できる。

「臨床心理実習Ⅰ」：学内実習2年次後期（10～3月の約25週）のうち12週（ほぼ隔週）×1日7時間（10:00～18:00）＝84時間以上と外部実習70時間（10日×7時間）の計154時間以上。

「臨床心理実習Ⅱ」：学内実習3年次前期（4～9月の約25週）のうち12週（ほぼ隔週）×1日7時間（10:00～18:00）＝84時間以上と外部実習70時間（10日×7時間）の計154時間以上。

### ② 学内実習

臨床心理実習の学内実習は2年次前期からの継続とケース担当を行う。電話受付報告、面接の経過報告などをケースカンファレンスで行い、ケース終了後にはレポートを提出させる。

### ③ 学外実習

医療機関および教育機関において2週間または週1回の継続型実習を行う。

#### 【事前指導】

2年次前期（6月頃）に実習機関の希望調査を行い、8月に実習先を決定し、9月に実習先の見学を行う。

#### 【訪問指導】

担当教員が実習先と密に連絡を取りながら実習先への訪問を行い指導する。また、実習担当者と面接を行い、実習内容の確認と実習状況について話を聞く。さらに、実習生に直接面接を行い、実習状況について話を聞く。

#### 【事後指導】

実習後、指導教員は実習先へ訪問し実習の御礼と実習についての報告を受け実習指導の参考にする。実習報告書を提出させ実習の確認を行う。また、事前に実習担当者へ評価票を渡し、実習についての評価をお願いし、終了後、郵送してもらう。その評価票を基に、以後の実習について検討する。カンファレンスの時間を使い、実習について学生が報告をし、意見の交換を行う。

## 資料⑭：人間総合科学大学 大学院 人間総合科学研究科 研究科教授会規程

制 定 日：平成16年 3月29日 (理事会)

最新改定日：平成27年 3月25日 (理事会)

---

### (目的)

**第1条** この規程は、人間総合科学大学大学院 学則第5条第2項の規定に基づき、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科の研究科教授会（以下「教授会」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

### (構成員)

**第2条** 教授会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 研究科長
- (3) 専攻長
- (4) 研究科の教授、准教授、専任講師及び助教
- (5) 事務局長又はこれに代わる者

2 前項にかかわらず、学長は必要に応じてその他の教職員を構成員として又はオブザーバーとして出席させることができる。

### (招集、議長)

**第3条** 教授会は、学長がこれを招集し、その議長となる。

2 前項にかかわらず、学長の指名する者がこれに代わることができるものとする。

3 学長に事故あるときは、学長があらかじめ指名する者がこれに代わる。

### (会議の開催)

**第4条** 教授会は、原則として毎月1回定例教授会を開催し、また、必要に応じて臨時に教授会を開催することができる。

2 前項にかかわらず、必要に応じて持ち回りによって審議を行うことができる。

### (定足数)

**第5条** 教授会は、構成員の過半数をもって成立する。

### (審議事項)

**第6条** 教授会は、人間総合科学研究科に関して次の各号に掲げる事項について滞りなく審議し、学長の決定にあたり速やかに意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、及び課程修了に関する事項
- (2) 学位授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成及び講義担当に関する事項

2 教授会は、人間総合科学研究科に関する次の各号に掲げる教育研究に関する事項について、学長から求めがあった場合には、審議し意見を述べることができる。

- (1) 学則に関する事項（軽微なものを除く）
- (2) 学生の表彰に関する事項
- (3) その他研究科の学術研究に関する事項
- (4) その他学長の諮問事項

3 教授会は、必要に応じて、前項に掲げる事項について、学部及び大学院に共通な事項を審議することができる。

**(連絡事項)**

**第7条** 教授会では、以下の事項に付き教員間の相互連絡を図るものとする。

- (1) 各種委員会に関する事項
- (2) 授業に関する事項
- (3) 研究指導に関する事項
- (4) 学生の試験に関する事項
- (5) 学位論文の審査に関する事項
- (6) 学生の厚生補導に関する事項
- (7) 教育及び研究予算に関する事項

**(議決)**

**第8条** 教授会の議決は、特別の定めのある場合のほかは、出席者の過半数で決する。

**(代議員会等)**

**第9条** 人間総合科学研究科に、教授会の構成員の一部をもって構成される代議員会を置き、第6条の一部について学長は、審議を委ねることができる。

- 2 代議員会の議決については、教授会の議決とする。
- 3 代議員会に関する事項は、別に定める。

**(専攻会議)**

**第10条** 研究科の各専攻において専攻会議を開催することができる。

**(報告)**

**第11条** 議長は、教授会において審議された事項等を、学長及び理事長に報告する。

- 2 4条第2項の持ち回りによる審議が行われた場合には、議長は審議された事項等を次の教授会において、報告する。

**(議事録)**

**第12条** 教授会開催の都度、議事録を作成するものとする。

**(改廃)**

**第13条** この規程の改廃については、教授会の議を経て理事会が決定する。

---

**附則**

- 1 この規程は、平成16年 4月 1日から施行する。

**附則**

- 1 この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

**附則**

- 1 この規程は、平成21年 3月16日から施行する。

**附則**

- 1 この規程は、平成22年 3月24日から施行する。

**附則**

- 1 この規程は、平成23年 5月24日から施行する。

**附則**

- 1 この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

## 資料⑮：人間総合科学大学 自己点検・評価委員会規程

制 定 日：平成12年 4月

最新改定日：平成23年 4月 1日（理事長）

---

### （目的）

第1条 この規程は、学校教育法109条の趣旨に基づき、人間総合科学大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について定めることを目的とする。

### （委員会の構成）

第2条 委員会は次の各号に掲げる委員をもって構成し、委員長は理事長が委嘱する。

- (1) 研究科長
- (2) 学部長
- (3) 図書館長
- (4) 事務局長
- (5) 理事長が委嘱する教職員若干名

2 必要に応じて委員長は、副委員長を置くことができる。

3 部会開催時には必要に応じて専攻長、学科長または専攻主任を出席させることができる。

### （任期）

第3条 委員の任期は、人間総合科学大学 委員会規程第3条第2項乃至第4項による。

### （委員長の職務）

第4条 委員長は、委員会を代表し、審議事項を統括する。

### （会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、学長統括のもと、委員長が招集し、議長を務める。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、審議することができない。

3 会議の議決は、出席委員の過半数の同意によって成立する。

4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員が会議の議長を務める。

5 委員会は、必要に応じて持ち回りによって審議を行うことができる。

6 委員会は、必要に応じて研究科または学部ごとに部会を開催して審議を行うことができる。

### （意見の聴取）

第6条 委員会は、必要に応じて委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聞くことができる。

### （審議事項）

第7条 委員会は、次の事項を審議立案する。

- (1) 自己点検・評価項目の設定に関する事項
- (2) 自己点検・評価の実施に関する事項
- (3) 自己点検・評価結果の分析に関する事項
- (4) 第三者評価に関する事項
- (5) 改革・改善の検討に関する事項

2 委員長は、会議の審議結果について、理事長に報告する。

3 審議事項の運用については、前項の報告をもとに、理事長の指示に従うものとする。

### （事務所管）

第8条 委員会の事務は、法人事務局及び大学事務局が行う。

### （改廃）

第9条 この規程の改廃については、理事長が決定する。

---



**附則**

この規程は、平成12年 4月から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成16年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

**附則**

1 この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

## 資料⑩：人間総合科学大学 F D 推進委員会規程

制 定 日：平成23年 3月27日（理事会）

最新改定日：平成 年 月 日（ ）

---

### （趣旨）

第1条 人間総合科学大学（以下「本大学」という。）のファカルティデベロップメント（以下「FD」という。）に関わる事項を審議立案するために、FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### （委員会の構成）

第2条 委員会は、委員長及び委員若干名をもって構成する。

2 委員長及び委員は、学長が指名し理事長が委嘱する。

### （任期）

第3条 委員の任期は、人間総合科学大学 委員会規程第3条第2項乃至第4項による。

### （委員長の職務）

第4条 委員長は、委員会を代表し、審議事項を統括する。

### （会議）

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長を務める。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、審議することができない。

3 会議の議決は、出席委員の過半数の同意によって成立する。

4 委員会は、必要に応じて持ち回りによって審議を行うことができる。

5 委員会は、必要に応じて学部ごとに部会を開催して審議を行うことができる。

### （意見の聴取）

第6条 委員会は、必要に応じて委員以外の者に会議への出席を求め、その意見を聞くことができる。

### （審議事項）

第7条 委員会は、次の事項を審議立案する。

- (1) FDの活動方針に関する事項
- (2) 授業アンケート、卒業生アンケート等FDの実施に関する事項
- (3) FD機関紙に関する事項
- (4) その他FDに関する重要な事項

2 委員長は、委員会の審議結果について、理事長、学長及び事務局長に報告する。

### （事務所管）

第8条 委員会の事務は、学務課が行う。

### （改廃）

第9条 この規程の改廃については、理事長が決定する。

---

### 附則

1 この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

## 11 学生確保の見通し等を 記載した書類

## 11 学生確保の見通し等を記載した書類

### (1)学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ①学生確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

###### i)入学定員設定の考え方

本学では人間総合科学研究科臨床心理学専攻の設置にあたり、入学定員を15名と設定した。これは、臨床心理士の養成にあたっては、一定規模の学生数を確保し、教育・研究上の効果を高める必要があるという教学上の要請と専任教員の十分な指導を期待できる人数を勘案した数字である。また、本専攻は通信課程であるが、既設の心身健康科学専攻【通信課程】(入学定員30名)において、募集、運営についての十分な経験と実績を有していることから、妥当な数字であると考えられる。

###### ii)定員充足の見込み

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願者動向」によると、心理学研究科(修士)、心理科学研究科(修士・専門職)、臨床心理学研究科(修士・専門職)を併せた心理系研究科の志願倍率は、2010年度から2014年度まで、それぞれ2.80倍、2.43倍、2.38倍、2.13倍、2.04倍と他の文系分野に比べて安定的に高い水準を保っている。臨床心理学研究科(修士・専門職)に限定すると、3.04倍、2.62倍、2.29倍、2.23倍、2.26倍と更に高い水準となっている。

#### (資料1)心理系研究科募集状況

また、本学臨床心理学専攻と同じく、臨床心理士養成課程を通信課程で設置している大学院は、佛教大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻、東京福祉大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻、放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻臨床心理学プログラムのみであるが、これら3校の志願倍率は高く、2014年度はそれぞれ、9.7倍、5.1倍、15.5倍であった。このように、通信教育による臨床心理士養成課程の需要が高い理由としては、多くの臨床心理士養成大学院が都市部に集中しており、地方に臨床心理士養成大学院は少なく、地方の学生の選択肢となっていること、社会人が働きながら学べること、学費が比較的低いことなどが考えられる。

#### (資料2)臨床心理学大学院通信課程の募集状況

本学既設の人間総合科学研究科心身健康科学専攻も、通信課程で入学定員30名ながら、2010年度から2014年度まではほぼ定員を充足させており、通信課程の需要を裏付けるものとなっている。

#### (資料3)人間総合科学大学大学院募集状況

他方、本学人間科学部人間科学科（通信教育課程）の卒業生に対するアンケート調査によると、依頼数2,792件中、219件の有効回答のうち、「受験したい」との回答が54件(24.7%)、「受験を検討する」が99件(45.2%)で併せて153件(70.0%)であった。この153件に対して、「受験して合格した場合」の入学意思を尋ねたところ、「入学したい」が132件(60.0%)、「併願校の結果によっては入学したい」が21件(9.6%)であった。この結果から、現時点で、多くの潜在的志願者が存在することが確認できる。同時に、毎年、300～400名に学位が授与されることを考えると一定数の潜在的志願者が継続的に生じることを期待できると考える。

#### (資料4) 学生確保の見通しに関するアンケート調査

以上より、本専攻入学定員15名を安定的かつ継続的に充足することは十分可能である。

#### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

##### (資料1) 心理系研究科募集状況

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願者動向」をもとに2010年度から、2012年度までの心理学研究科(修士)、心理科学研究科(修士・専門職)、臨床心理学研究科(修士・専門職)及びその合計について、研究科数、入学定員、志願者、入学者、志願倍率、入学定員充足率をまとめた。更に人文科学系、社会科学系、教育系についても比較可能な表にしてある。

##### (資料2) 通信制大学院入試結果

臨床心理士養成課程を通信課程で設置している3つの大学院(佛教大学大学院、東京福祉大学大学院、放送大学大学院)について、2014年度の志願者、合格者、志願倍率についてまとめた。

##### (資料3) 人間総合科学研究科心身健康科学専攻募集状況

本学既設の人間総合科学研究科心身健康科学専攻について、2010年度から、2012年度までの入学者数、在籍者数、収容定員充足率についてまとめた。

##### (資料4) 人間科学部人間科学科（通信教育課程）の卒業生に対するアンケート調査

人間科学部人間科学科（通信教育課程）の卒業生2,792名に対して(有効回答数219件)、臨床心理学専攻の受験意思、入学意思についてアンケートを実施してまとめた。

#### ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金について、近隣（東京都）の私立大学を参考に、本学既設の大学院人間総合科学研究科心身健康科学専攻と同額の入学金200,000円、授業料570,000円、施設・設備費

100,000円、教育充実費100,000円、初年度納付金970,000円とした。結果的に、初年度学生納付金を比較すると近隣の私立大学とほぼ同額ないし若干低額となった。

※本学卒業生は、入学金半額免除となる。

(資料5) 平成26年度他大学の学納金

②学生確保に向けた取組状況

本学では既設の人間総合科学研究科心身健康科学専攻については学生確保に向けた取組を次のとおり行っている。臨床心理学専攻についても同様に考えている。

ア オープンキャンパスの実施

平成27年度予定

	日にち	時間	会場
第1回	8月2日(日)	15:00~18:00	蓮田キャンパス(埼玉)
第2回	9月27日(日)	15:00~18:00	東京サテライト(御茶ノ水)
第3回	11月22日(日)	15:00~18:00	東京サテライト(御茶ノ水)

イ 個別相談会の実施

平成27年度予定

	日にち	時間	会場
第1回	6月27日(土)	15:00~17:00	東京サテライト(御茶ノ水)
第2回	7月25日(土)	15:00~17:00	東京サテライト(御茶ノ水)
第3回	8月14日(金)	15:00~17:00	東京サテライト(御茶ノ水)
第4回	8月15日(土)	15:00~17:00	東京サテライト(御茶ノ水)
第5回	9月19日(土)	15:00~17:00	東京サテライト(御茶ノ水)

ウ 通信制大学院合同入学説明会

開催地	期日	開催時間	会場
東京	11月30日(日)	11:00~16:00	日本大学会館2階

2014年度個別相談会等来場者データ

	日程	来場者	希望課程		性別		年代					
			修士	博士後期	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	不明
第1回個別相談会	2014年6月14日(土)	6	3	3	4	2	0	2	1	3	0	0
第2回個別相談会	2014年7月13日(日)	3	3	0	1	2	1	0	1	1	0	0
第3回個別相談会	2014年8月15日(金)	3	3	0	0	3	0	0	1	1	1	0
第4回個別相談会	2014年8月16日(土)	2	2	0	0	2	1	0	0	1	0	0
第5回個別相談会	2014年9月6日(土)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院オープンキャンパス	2014年9月28日(日)	13	12	1	7	6	2	1	3	6	1	0
第6回個別相談会	2014年10月12日(日)	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
第7回個別相談会	2014年11月15日(土)	4	4	0	3	1	1	1	1	1	0	0
通信制大学院合同説明会	2014年11月30日(日)	3	3	0	1	2	0	0	2	0	0	1
第8回個別相談会	2014年12月13日(土)	3	2	1	1	2	0	0	2	1	0	0
第9回個別相談会	2015年1月24日(土)	5	4	1	3	2	1	2	1	1	0	0
第10・11・12回個別相談会	2015年2月13日(金)、 14日(土)、15日(日)	7	4	3	2	5	0	0	4	1	2	0
合計		50	41	9	22	28	6	7	16	16	4	1

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

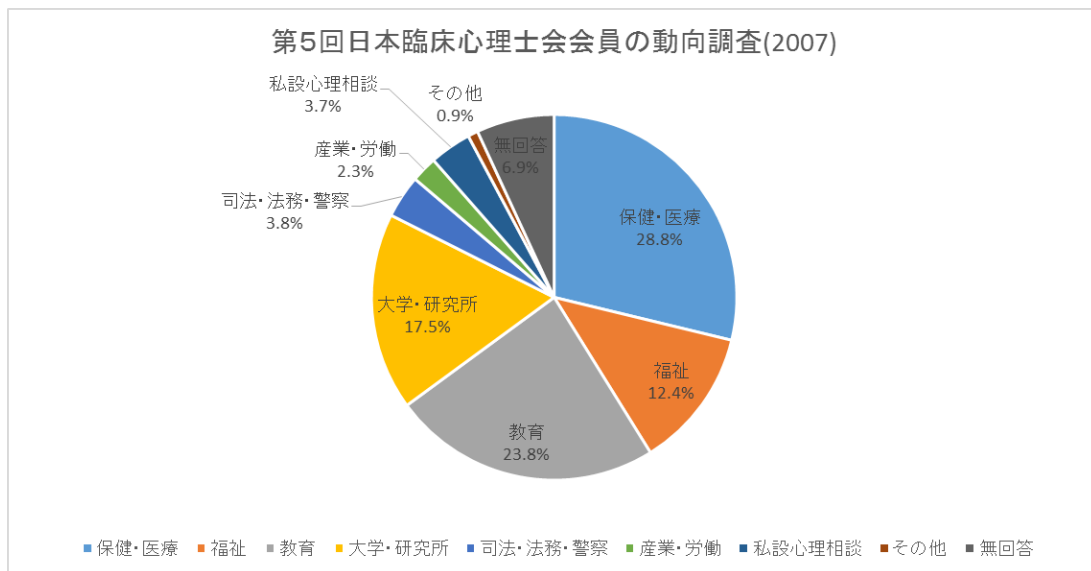
### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

現代人の健康について、特に心の側面から科学的、総合的に追求し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもってその保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、確かな倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士の養成を行う。

- ・健康、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材
- ・心理的問題を抱え支援を要する者の心理状態を受け止め、その心理を客観的に評価するとともに相談に応じ、適切な支援を行える人材
- ・心理的問題を抱え支援を要する者だけでなく、家族など本人を取り巻く関係者への相談にも応じ、適切な支援を行うことのできる人材
- ・心の健康に関する知識や技術の教育及び普及、情報の提供を行うことのできる人材

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本専攻が養成する「様々な分野で」「現代人の心の健康の保持、増進、回復を図る」人材が必要とされる状況は、臨床心理士の活躍の場が多様化していることからうかがい知れる。



特に、「保健・医療」「福祉」「教育」領域における需要は今後とも高まっていくと思われる。ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>) を用いて、この三分野における臨床心理士有資格者に対する求人を検索すると、東京都では49件（フルタイム23件、パートタイム26件）、埼玉県では10件（フルタイム6件、パートタイム4

件)の求人があった。内訳は医療関係29件、教育関係5件、福祉関係32件であった。臨床心理士有資格者に対する求人は、ほぼ、この三分野に集中していると言ってよい。

#### (資料6)ハローワークインターネットサービスでの臨床心理士の求人数

また、一都三県を主な対象としたアンケート調査では特に「病院」におけるニーズが高いことが確認できた。「貴団体において勤務されている臨床心理士資格保有者の人数をお答えください」という設問において、常勤職員として1名以上の臨床心理士を雇用している団体は全体で117団体中45団体であったが、「病院」の場合、53団体中33団体、「福祉施設(社会福祉法人・児童相談所・精神保健センター)」が21団体中7団体、「教育機関」が37団体中3団体であった。非常勤職員としては、全体で117団体中50団体であったが、「病院」の場合、53団体中21団体、「福祉施設(社会福祉法人・児童相談所・精神保健センター)」が21団体中4団体、「教育機関」が37団体中22団体であった。常勤職員としては病院、非常勤職員としては教育機関が臨床心理士の主たる就業場所であることがわかる。

#### (資料7)修了生の就職の見通しに関するアンケート調査

同じ調査で、「人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われませんか。」という設問では、117団体中3団体が「採用したい」と回答しているが2団体が病院(/53)、1団体は教育委員会(/8)であった。また「採用を検討したい」と回答した団体の内訳は、病院9(/53)、診療所/クリニック1(/1)、教育委員会1(/8)、大学/その他の教育機関1(/1)であった。ここでも「医療」「教育」分野からのニーズが確認できた。

「教育」分野については、全国的にスクールカウンセラーの配置が進んでいる。スクールカウンセラーが派遣されている学校は平成7年の154校から、平成17年には9,547校、平成26年(計画)は23,800校まで増えている。

#### (資料8)スクールカウンセラー等の配置箇所数、予算額の推移

都道府県や政令指定都市が、臨床心理士や精神科医などを「スクールカウンセラー」として学校に配置している(一部、政令指定都市以外の市町村では独自に配置しているところもある)が、教育委員会へのヒアリングによると、「予算の限度があるので現時点では難しいが、学校現場からはスクールカウンセラーを増やしてほしいという声がある」とのことだったので、将来は採用人数がさらに増える可能性も十分考えられる。

#### (資料9)臨床心理士のニーズ調査 東京都港区・埼玉県・千葉県

#### (資料10)心理系公務員の採用状況



表2 スクールカウンセラーの募集人員

	募集人員	年度	備考
東京都	1100名	(平成28年度)	
埼玉県	170名	(平成27年度)	
千葉県	280名	(平成27年度)	
横浜市	数名	(平成27年度)	採用実績は8名
川崎市	若干名	(平成27年度)	
千葉市	50名	(平成27年度)	

出典：各自治体ホームページ（横浜市の採用実績は教育委員会への電話ヒアリング、千葉市の募集人員は教育委員会への訪問でのヒアリングによる）

以上、本専攻の養成する「様々な分野で」「現代人の心の健康の保持、増進、回復を図る」人材は、臨床心理士の活躍の場が多様化し、特に「医療」「福祉」「教育」での臨床心理士のニーズが高まる中で十分な需要が見込まれると考えられる。

(資料1) 心理系研究科募集状況

	集計研究科数					入学定員(人)					志願者(人)					入学者(人)					志願倍率(倍)					入学定員充足率(%)				
	2010	2011	2012	2013	2014	2010	2011	2012	2013	2014	2010	2011	2012	2013	2014	2010	2011	2012	2013	2014	2010	2011	2012	2013	2014	2010	2011	2012	2013	2014
	心理学研究科(修士)	17	17	17	17	19	365	365	400	394	414	995	867	987	859	850	291	283	292	283	286	2.73	2.38	2.47	2.18	2.05	79.7%	77.5%	73.0%	71.8%
心理科学研究科(修士・専門職)	3	3	4	4	4	51	51	68	68	68	143	120	141	110	105	51	33	45	47	46	2.80	2.35	2.07	1.62	1.54	100.0%	64.7%	66.2%	69.1%	67.6%
臨床心理学研究科(修士・専門職)	6	7	7	6	6	112	122	122	120	120	341	320	279	268	271	112	108	108	102	95	3.04	2.62	2.29	2.23	2.26	100.0%	88.5%	88.5%	85.0%	79.2%
心理系合計	26	27	28	27	29	528	538	590	582	602	1,479	1,307	1,407	1,237	1,226	454	424	445	432	427	2.80	2.43	2.38	2.13	2.04	86.0%	78.8%	75.4%	74.2%	70.9%
人文科学系	181	184	178	177	179	5,339	5,351	5,256	5,220	5,175	7,538	7,437	6,616	5,932	5,880	3,604	3,486	3,156	2,812	2,953	1.41	1.39	1.26	1.14	1.14	67.5%	65.1%	60.0%	53.9%	57.1%
社会科学系	424	424	424	417	407	14,068	13,678	13,626	13,464	12,897	30,769	28,989	24,194	20,965	18,537	10,932	9,843	8,863	8,407	7,697	2.19	2.12	1.78	1.56	1.44	77.7%	72.0%	65.0%	62.4%	59.7%
教育学	23	28	30	30	36	676	711	716	716	835	1,071	1,065	932	984	981	548	591	498	561	562	1.58	1.50	1.30	1.37	1.17	81.1%	83.1%	69.6%	78.4%	67.3%

出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願者動向」

(資料2)

## 臨床心理学大学院通信課程の募集状況

平成26(2014)年度 佛教大学大学院(通信教育課程)修士課程入試状況

[http://www.bunet.jp/tab\\_02/tab\\_02\\_01\\_01-01.html](http://www.bunet.jp/tab_02/tab_02_01_01-01.html)

専攻	入学定員	志願者	合格者	倍率
浄土学	10	6	5	1.2
仏教学	10	7	6	1.0
仏教文化	10	5	5	1.0
日本史学	10	18	8	2.3
東洋史学	10	0	0	—
国文学	10	4	4	1.0
中国文学	10	2	2	1.0
英米文学	10	8	7	1.1
文学研究科 合計	80	50	37	1.4
生涯教育	10	10	7	1.4
<b>臨床心理学</b>	<b>6</b>	<b>68</b>	<b>7</b>	<b>9.7</b>
教育学研究科 合計	16	78	14	5.6
社会学	10	12	10	1.2
社会学研究科 合計	10	12	10	1.2
社会福祉学	10	20	13	1.5
社会福祉学研究科 合計	10	20	13	1.5
計	116	160	74	2.2

平成26(2014)年度 放送大学大学院修士全科生入学者選考結果

<http://www.ouj.ac.jp/hp/nyugaku/gakuin/outline.html>

プログラム	募集人員	出願者数	合格者数	倍率
生活健康科学	90程度	140	80	1.8
人間発達科学	60程度	117	51	2.3
<b>臨床心理学</b>	<b>30程度</b>	<b>479</b>	<b>31</b>	<b>15.5</b>
社会経営科学	100程度	114	93	1.2
人文学	90程度	97	75	1.3
情報学	70程度	53	47	1.1
自然環境科学	60程度	51	45	1.1
計	500	1,051	422	2.5

平成26(2014)年度 東京福祉大学大学院修士全科生入学者選考結果

<http://www.tokyo-fukushi.ac.jp/assets/pdf/admissions/result/2014result.pdf>

専攻	入学定員	志願者	合格者	倍率
社会福祉学専攻	60	4	4	1.0
<b>臨床心理学専攻</b>	<b>20*</b>	<b>41</b>	<b>8</b>	<b>5.1</b>
児童学専攻	10	4	4	1.0
計	90	49	16	3.1

\*内、臨床心理士資格取得コースは10名(入学時選択)

(資料3)

人間総合科学大学院募集状況

	入学定員(人)	入学者(人)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人間総合科学大学院人間総合科学研究科		30	28	30	28	29
心身健康科学専攻		30	28	30	28	29
修士課程(通信課程)	30	30	28	30	28	29
博士後期課程(通信課程)	9	11	11	10	7	9
健康栄養科学専攻	5	3	2	3	3	2
修士課程(通学課程)	5	3	2	3	3	2

人間総合科学大学院在籍数

	収容定員(人)	在籍数(人)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人間総合科学大学院人間総合科学研究科	60	62	53	59	61	60
心身健康科学専攻	27	31	36	42	44	43
修士課程(通信課程)	27	31	36	42	44	43
健康栄養科学専攻	10	6	5	5	7	5
修士課程(通学課程)	10	6	5	5	7	5

人間総合科学大学院充足率

	収容定員(人)	充足率				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人間総合科学大学院人間総合科学研究科	60	103.3%	88.3%	98.3%	101.7%	100.0%
心身健康科学専攻	27	114.8%	133.3%	155.6%	163.0%	159.3%
修士課程(通信課程)	27	114.8%	133.3%	155.6%	163.0%	159.3%
健康栄養科学専攻	10	60.0%	50.0%	50.0%	70.0%	50.0%
修士課程(通学課程)	10	60.0%	50.0%	50.0%	70.0%	50.0%

(資料 4)

人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理専攻

(通信教育課程)

設置に係るニーズアセスメント調査報告書

【学生確保の見通しに関するアンケート調査（入口調査）】

平成 27 年 6 月 17 日

株式会社高等教育総合研究所

## 目次

1. 調査の概要	3
2. 質問項目の集計結果	4
3. 分析	14
4. 添付資料	15

## 1. 調査の概要

- ◆調査の目的：平成 28 年度 4 月開設を計画中の人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の学生確保の見通しについて、大学外の第三者機関である株式会社高等教育総合研究所により、人間総合科学大学の卒業生へのアンケートを用いて計ることを目的とする。
  
- ◆調査期間：平成 27 年 5 月～平成 27 年 6 月
  
- ◆調査方法：調査対象者に、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の概要を記載したアンケート用紙（添付資料①）を送付し、インターネットを用いて回答を入力してもらう方法で実施
  
- ◆調査対象：人間総合科学大学人間科学部人間科学科を平成 22 年から平成 27 年の間に卒業した卒業生（科目等履修生、学士申請講座の学生は含めない）
  
- ◆調査内容：選択肢式で 7 問と記述式で 1 問。  
※主な質問項目は、人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻（通信教育課程）への進学意欲、および回答者の基本情報。
  
- ◆対象地域：全国の卒業生
  
- ◆依頼件数：2792 件
  
- ◆有効回答件数：219 件（回答率 10.4%）

## 2. 質問項目の集計結果

※構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と必ずしも一致しない。

### ◆回答者の基礎データ

問1 あなたが現在お住いの都道府県をお答えください。

	都道府県	回答数	構成比
(1)	北海道	9	4.1%
(2)	青森県	0	0.0%
(3)	岩手県	2	0.9%
(4)	宮城県	1	0.5%
(5)	秋田県	0	0.0%
(6)	山形県	1	0.5%
(7)	福島県	1	0.5%
(8)	茨城県	7	3.2%
(9)	栃木県	3	1.4%
(10)	群馬県	6	2.7%
(11)	埼玉県	39	17.8%
(12)	千葉県	8	3.7%
(13)	東京都	26	11.9%
(14)	神奈川県	31	14.2%
(15)	新潟県	2	0.9%
(16)	富山県	0	0.0%
(17)	石川県	0	0.0%
(18)	福井県	0	0.0%
(19)	山梨県	0	0.0%
(20)	長野県	2	0.9%
(21)	岐阜県	1	0.5%
(22)	静岡県	6	2.7%
(23)	愛知県	12	5.5%
(24)	三重県	2	0.9%
(25)	滋賀県	2	0.9%
(26)	京都府	1	0.5%
(27)	大阪府	17	7.8%
(28)	兵庫県	8	3.7%
(29)	奈良県	0	0.0%



(30)	和歌山県	1	0.5%
(31)	鳥取県	0	0.0%
(32)	島根県	2	0.9%
(33)	岡山県	1	0.5%
(34)	広島県	6	2.7%
(35)	山口県	1	0.5%
(36)	徳島県	1	0.5%
(37)	香川県	3	1.4%
(38)	愛媛県	0	0.0%
(39)	高知県	5	2.3%
(40)	福岡県	5	2.3%
(41)	佐賀県	1	0.5%
(42)	長崎県	0	0.0%
(43)	熊本県	0	0.0%
(44)	大分県	3	1.4%
(45)	宮崎県	0	0.0%
(46)	鹿児島県	2	0.9%
(47)	沖縄県	1	0.5%
	無回答	0	0.0%
	計	219	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

	性別	回答数	構成比
(1)	男性	44	20.1%
(2)	女性	175	79.9%
	無回答	0	0.0%
	計	219	100.0%

問3 あなたの年齢をお答えください。

	年齢	回答数	構成比
(1)	24歳以下	9	4.1%
(2)	25～29歳	18	8.2%
(3)	30～34歳	15	6.8%
(4)	35～39歳	37	16.9%
(5)	40～44歳	41	18.7%
(6)	45～49歳	42	19.2%
(7)	50～54歳	33	15.1%
(8)	55～59歳	13	5.9%
(9)	60～64歳	6	2.7%
(10)	65歳以上	5	2.3%
	無回答	0	0.0%
	計	219	100.0%

問4 現在お就きの職業についてお答えください

	職業	回答数	構成比
(1)	会社員	13	5.9%
(2)	公務員	15	6.8%
(3-1)	専門職－保健医療職 医師、看護師、保健師、助産師など	102	46.6%
(3-2)	専門職－医療技術職 理学療法士、義肢装具士、診療放射線技師、臨床検査技師など	17	7.8%
(3-3)	専門職－その他保健医療 管理栄養士、はり師、きゅう師、あんまマッサージ師など	4	1.8%
(3-4)	専門職－福祉職 介護士、ケア・マネージャー、精神保健福祉士、社会保健福祉士など	6	2.7%
(3-5)	専門職－心理職 カウンセラーなど	4	1.8%
(3-6)	専門職－教育職・保育職 小学校教員、中学校教員、高等学校教員、養護教員など	10	4.6%
(3-7)	専門職－司法職 弁護士、弁理士、司法書士など、その他（公証人、裁判所調査官など）	1	0.5%
(3-8)	専門職－その他専門職 宗教、芸術、出版・マスコミ、通訳など	3	1.4%
(4)	技術職	2	0.9%
(5)	自営業、自由業	9	4.1%
(6)	大学生、大学院生	3	1.4%

(7)	研究者	1	0.5%
(8)	その他	29	13.2%
	無回答	0	0.0%
	計	219	100.0%

問5 保有している資格等についてお答えください（複数回答）

	資格	回答数	比率
(1)	看護師（保健師・助産師）	121	55.3%
(2)	介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士	11	5.0%
(3)	理学療法士・作業療法士	10	4.6%
(4)	認定心理士	36	16.4%
(5)	臨床発達心理士	0	0.0%
(6)	学校心理士	1	0.5%
(7)	産業カウンセラー	17	7.8%
(8)	保育士	3	1.4%
(9)	幼稚園教諭	2	0.9%
(10)	小学校教諭	4	1.8%
(11)	中学・高校教諭	5	2.3%
(12)	その他	86	39.3%
	無回答	0	0.0%
		219	

◆人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）への進学意欲

問6 あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」（開設予定）を受験したいと思いますか。

	意向	回答数	構成比
(1)	受験したい	54	24.7%
(2)	受験を検討する	99	45.2%
(3)	受験しない	66	30.1%
	無回答	0	0.0%
	計	219	100.0%

問7 あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」（開設予定）に合格した場合、入学したいと思いますか。

（問6で1または2と答えた回答者のみに質問）

	意向	回答数	構成比
(1)	合格した場合、入学したい	132	86.3%
(2)	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	21	13.7%
	無回答	0	0.0%
	計	153	100.0%

問8 人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」(開設予定)について、ご意見、ご要望があればお答えください。

1	<p>本学の教育理念に共感し学び続けてきて、心理学をもう少し深く学びたいと思っている私としては、大学院に臨床心理学専攻課程ができることは、とても嬉しいです。</p>	<p>(埼玉県、女性、 40～44歳)</p>
2	<p>人間総合科学大学に臨床心理士受験資格を取得できる大学院が設置されるのは、大変喜ばしいことです。</p> <p>本学で心理学を学び始めた頃は、臨床心理士の道へと続く大学院があればいいのにとよく考えていました。</p> <p>開設が実現されたら、とても嬉しく思います。</p> <p>大学院入学を検討したい気持ちはあるのですが、現実的には、これから子供達の学費がかさむ時期なので、資金的に難しいというのが正直なところです。</p> <p>いつか、また学びの環境が整ったら、大学院入学を検討してみたいと考えています。</p>	<p>(埼玉県、女性、 45～49歳)</p>
3	<p>大変興味があります。本学は臨床心理士の1種指定校になるのでしょうか?もしもそうだとしたら、強く関心があります。タイムスケジュールや費用、在宅での学習でどこまで出来るのか、本学での授業等、具体的に知りたいです。ただ、現時点では子供が小学生および中3受験生ということで、時間もお金も自分の為に使える状況ではありません。近い将来勉強する機会に恵まれたらいいなあという希望はあります。また現実に仕事として考えた時に、あと10年若かったらなあという気持ちになってしまいますが、臨床心理士は究極の目標だったのでチャレンジする気持ちは持ち続けていたいと思います。</p>	<p>(兵庫県、女性、 45～49歳)</p>
4	<p>カウンセリングの指導を受けるのは遠隔では難しいかとも思いますが、年間何日くらいサテライトキャンパスに通う必要があるのでしょうか、</p>	<p>(大阪府、女性、 45～49歳)</p>

5	是非受験して入学したいのですが、病院での実習をしなければならぬのであれば、仕事を長期に休むことはできないので無理だと思います。そこはなんとかならないでしょうか。履修科目が分からないのに勝手なことを記載してすみません。	(北海道、女性、 50～54歳)
6	スクーリングが遠かった。もっと近ければ引き続き学びたい。	(兵庫県、女性、 50～54歳)
7	貴校の通信課程を卒業し認定心理士を取得しました。和歌山なのでスクーリングが大変でした。大学院はさらにスクーリングが多くなるのでしょうか。	(和歌山県、女性、 35～39歳)
8	臨床心理学専攻設置おめでとうございます！入学希望ありますが、学費の面が気になります。	(大分県、女性、 30～34歳)
9	興味はありますが今後生かしていけるか、まだ現実的ではなく、もう少し考えたい。	(神奈川県、女性、 40～44歳)
10	大学院ですので英語の受験科目があるのではないかと不安。英語については、可能であれば、半年1年の履修をしたい。	(愛知県、女性、 65歳以上)
11	スクーリングの曜日を土日のみにしてほしい。(その分回数は増えても構わないと思っています)	(群馬県、女性、 35～39歳)
12	授業料・受験資格の詳細等の内容が分かりませんので、何とも言えない状態です。	(新潟県、女性、 55～59歳)
13	費用や、スクーリングの詳細をもっと知りたい。場所や時間、以前のようなネットでスクーリングが受けられたほうが良いです。	(栃木県、男性、 35～39歳)
14	臨床心理士を目指していますので、人間総合科学大学の卒業生として大変心強く嬉しく思っています。3年間のカリキュラムや受験の手続きなどを早く知りたいと願っています。	(神奈川県、女性、 55～59歳)
15	できるだけ、スクーリングでの講義を多く持ちたい	(大阪府、女性、 50～54歳)
16	勉強はしたいと以前から考えているがスクーリング場所が遠いので難しいです。	(大阪府、女性、 55～59歳)
17	現時点では金額、スクーリング場所等考慮する部分がありますのですぐに入学をとるわけにはいきませんが、創設された場合、いずれは受験して学びたいと思います。	(福岡県、女性、 35～39歳)
18	今すぐに進学するのは無理ですが、選択肢の1つとして検討していきたいと思っています。	(埼玉県、女性、 45～49歳)

19	<p>人間総合科学大学人間科学科の今年の卒業生です。大学では、心理を中心に学び、臨床心理士の資格を取って仕事に生かしたいと思っておりましたので、貴大学が、臨床心理士の指定大学院になることをずっと望んでおりました。(この度のご案内が来るまでは、貴校が指定大学院でなかったのも、他の指定大学院の受験を考えておりました。)15名と定員が少ないので、人間総合科学大学の卒業生の推薦枠を多く設けていただけると嬉しいです。(大学での成績や論文・面接等を重視した内容で)そうすることで、人間総合科学大学への入学希望者も確実に増えると思います。私は、認定心理士と産業カウンセラーの資格要件を満たす科目を貴大学で履修済みですので、まもなく資格申請予定です。是非貴大学院の臨床心理学専攻で学びたいと願っております。出願方法や費用などが決まりましたら是非詳細を知りたいので、卒業生を対象とした説明会などを開催いただければ嬉しく思います。また、もし可能でしたら、ご案内等いただけると幸いです。</p>	(埼玉県、男性、 45～49歳)
20	<p>臨床心理学専攻の大学院が開設されることはとても嬉しく良かったですと思います。私は貴大学で認定心理士の資格は取りましたが現実には臨床心理士の資格を持っていることが働く場合必要でした。</p> <p>私は費用や年齢のこと、今後のことを考えると、入りたい気持ちはありますが無理と思われれます。</p> <p>まだまだ可能性のある若い人たちには希望が見え、とても良いことだと思われれます。</p> <p>今後のご発展をお祈り致しております。</p>	(愛知県、女性、 65歳以上)
21	<p>今すぐという訳ではないが、今後の選択肢として臨床心理士への道があると嬉しいと思う。</p>	(福岡県、女性、 45～49歳)
22	<p>年齢を考慮しこの先の仕事を考えると、臨床心理士を目指し3年間を費やすことが気がかりであり、認定心理士の方で学習し今の仕事の現場で役立て方が良いかと検討中。</p>	(埼玉県、女性、 45～49歳)
23	<p>スクーリング場所を大阪でも行って欲しい。</p> <p>遠いと、時間的に仕事の休みがとれなく、入学していた時、</p>	(京都府、女性、 50～54歳)

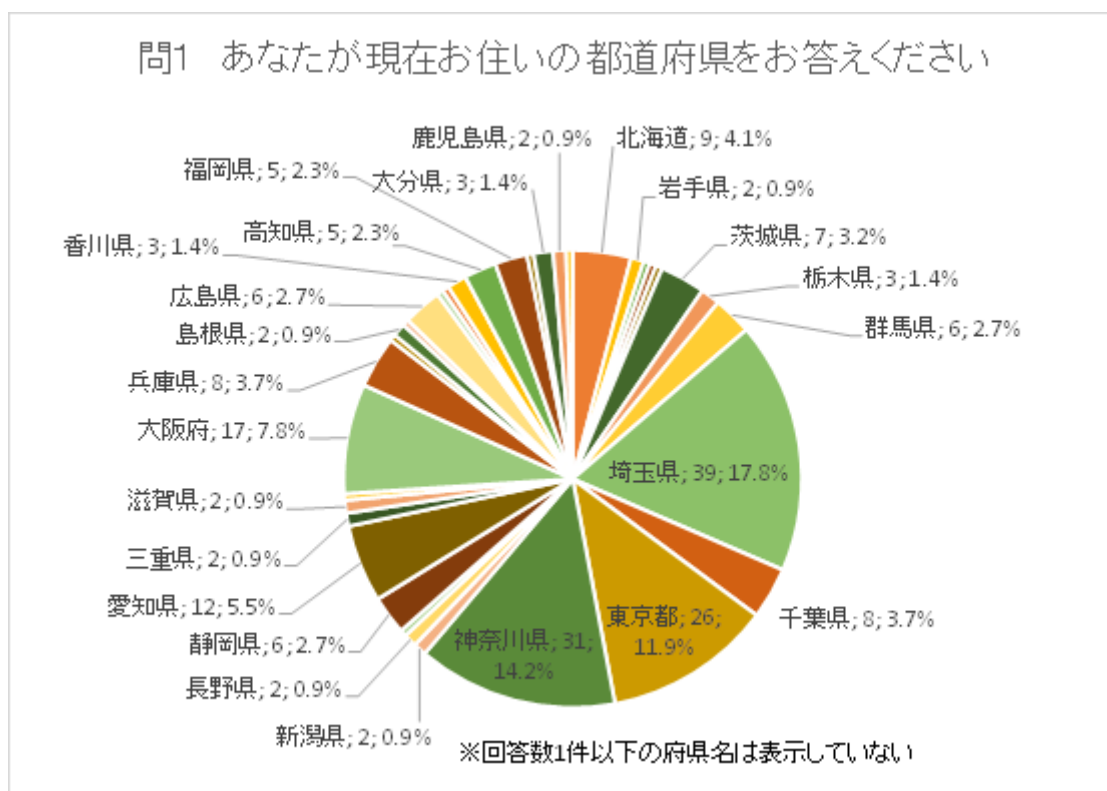
	本学まで行けなかったのが最終的に断念した経過がありました。	
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の通信課程だと外部の実習を自身で探さなければならないが、つてがない。またその期間の休暇を取れるかが心配。</li> <li>・卒業年限が長くなるような柔軟なものになってほしい。</li> </ul>	(埼玉県、男性、 40～44歳)
25	臨床心理士の一種指定校で、学費が安ければ是非入学したい。また学内推薦が受けれたら尚いっそう良い。	(北海道、女性、 25～29歳)
26	通信の卒業生なので、どんな風に学べるのか?は、理解出来ています。スクーリングの場所が、行きやすい所だと嬉しいのと、交通の便利さを重視します。	(大阪府、女性、 45～49歳)
27	インターネット授業が多い方がいいです。	(沖縄県、男性、 35～39歳)
28	仕事と育児をしているため、送られてきた学部の内容では受けようとすぐに決めることができない。もっと詳しい内容がわかれば知りたいと思う。	(大阪府、女性、 30～34歳)
29	ぜひ入学したいので、資料を送って欲しい。	(埼玉県、男性、 30～34歳)
30	合格した場合、入学したい希望はありますが、現実ハードルが高く、不可能に近いと感じています。不得手のパソコンなどを駆使して理解していける自信はなく、学費も高額となればさらに厳しくなります。しかし、臨床心理士のコース開設は永年の夢で、後輩のためにも実現となれば嬉しく思います。益々のご発展をお祈りしております。	(千葉県、女性、 50～54歳)
31	内容とか先生とか学費とかいろいろ気になりますので開設決まったらすぐ知りたいです。	(東京都、女性、 30～34歳)
32	年齢と体調を考えてしまいますが、関心を持っています。臨床心理士を目指す人でないと入学できないのでしょうか。	(埼玉県、女性、 65歳以上)
33	<p>インターネット講義のみで単位が取得できますか？</p> <p>スクーリングは必須ですか？</p> <p>遠方のため、交通費等の関係でお尋ねしています。</p> <p>授業料も検討したいです。</p>	(岩手県、女性、 55～59歳)



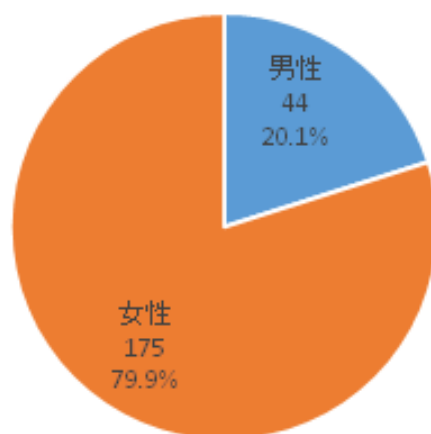
### 3. 分析

#### (1) 回答者の概要について

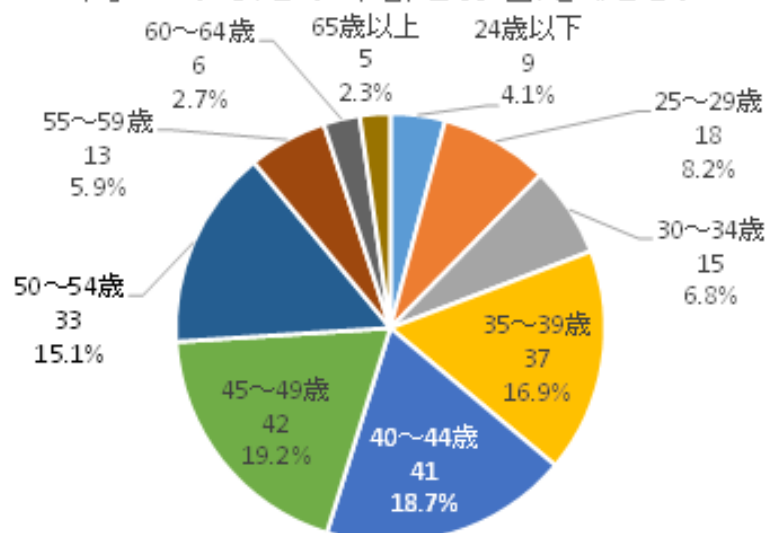
本調査では、人間総合科学大学が構想中の大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）への入学が期待できる対象者として、人間総合科学大学の卒業生に対してアンケート調査を実施し、219件の回答を得た。回答者の居住地および性別、年齢は以下の通りであった。居住地は全国にわたり、年齢も幅広い層から回答を得られた。性別に関しては男性が20.1%、女性が79.9%と偏りが見られた。これは、現在の在籍者における男女比（3：7）から、想定範囲である。【表2】参照。



問2 あなたの性別をお答えください

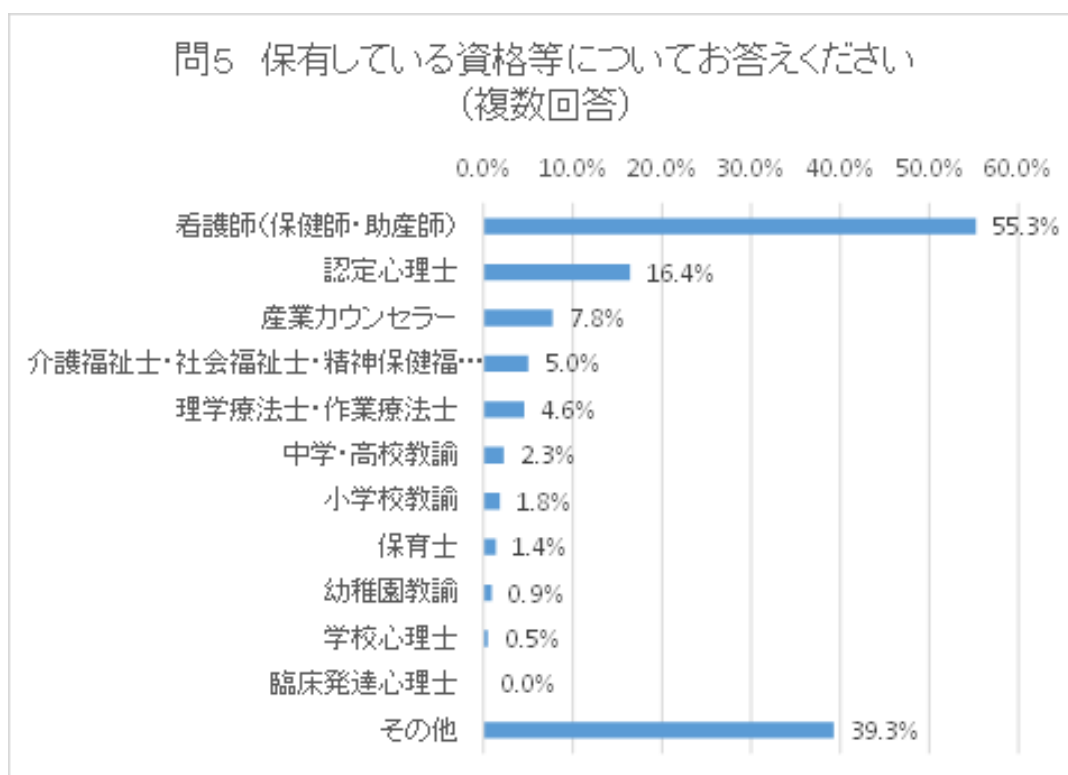
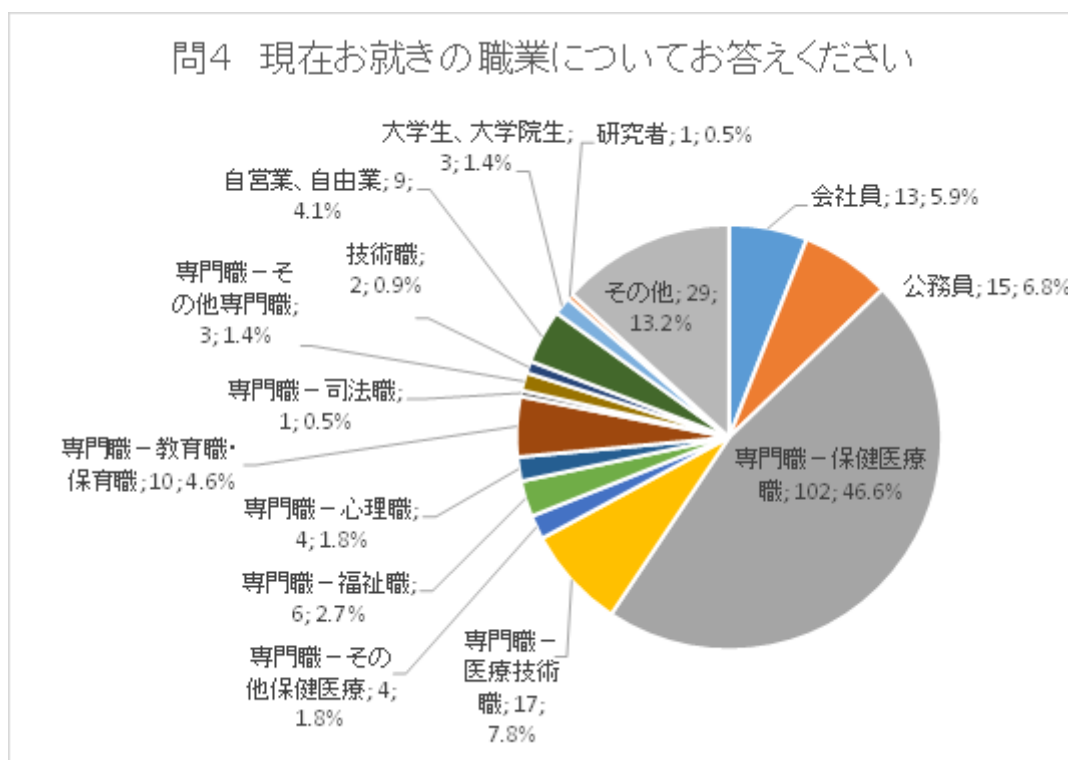


問3 あなたの年齢をお答えください



(2) アンケート回答者の職業、保有資格

本アンケート回答者には、医療職、福祉職が多いのが特徴的である。保有資格別に受験意思を分析すると（【表 1 参照】）、医療・福祉職の受験意思（「受験する」と「受験を検討する」）が高いことが確認できる。

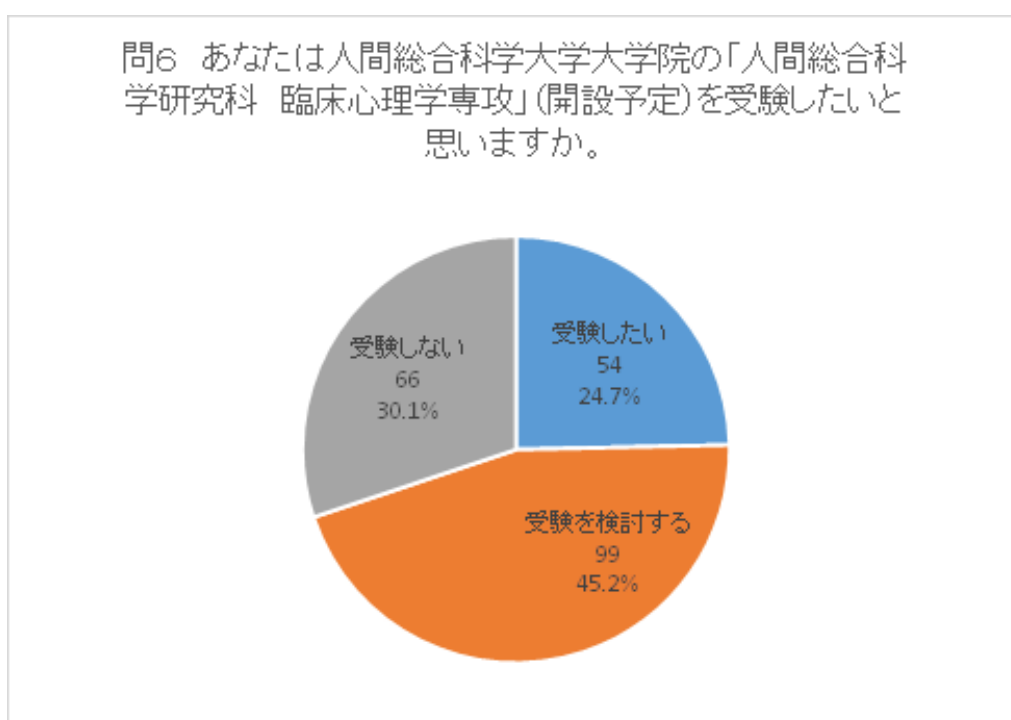


【表1】

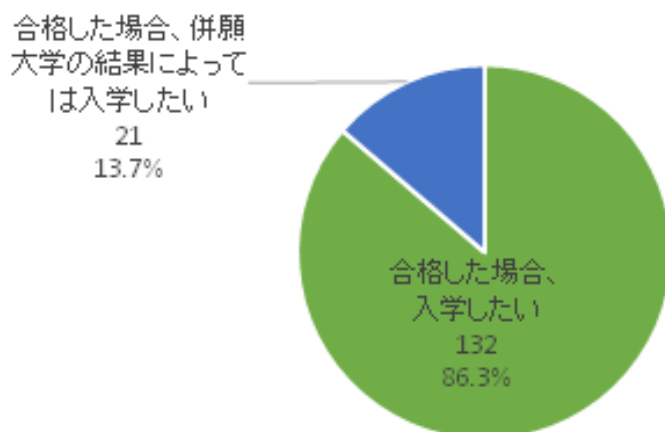
保有資格	保有者数	「受験したい」		「受験検討」		[受験&検討]	
看護師(保健師・助産師)	121	27	22.3%	64	52.9%	92	75.2%
介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士	11	3	27.3%	5	45.5%	8	72.7%
理学療法士・作業療法士	10	1	10.0%	3	30.0%	4	40.0%
認定心理士	36	12	33.3%	22	61.1%	34	94.4%
臨床発達心理士	0	0	—	0	—	0	—
学校心理士	1	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
産業カウンセラー	17	6	35.3%	9	52.9%	15	88.2%
保育士	3	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%
幼稚園教諭	2	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
小学校教諭	4	1	25.0%	2	50.0%	3	75.0%
中学・高校教諭	5	1	20.0%	3	60.0%	4	80.0%
その他	86	21	24.4%	32	37.2%	54	61.6%

(3) 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）への進学意欲

問6で受験意思、問7で入学意思について問うた。問6で「受験したい」と回答した者のうち90.7%が「合格した場合、入学したい」と答えている。また、問6では「受験を検討する」と答えた者でも受験に至った場合、「合格した場合、入学したい」と答えた者が83.8%であった（次ページ【表2】参照）。「受験したい」と答えた者だけでなく、「受験を検討する」と答えた者の入学意欲も強いことが確認できた。



問7 あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」(開設予定)に合格した場合、入学したいと思いますか。



【表2】

「あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」(開設予定)を受験したいと思いますか。」と「あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」(開設予定)に合格した場合、入学したいと思いますか。」の関係

選択項目	総計		受験したい		受験を検討する		受験しない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
合格した場合、入学したい	132	86.3%	49	90.7%	83	83.8%	0		0	
合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	21	13.7%	5	9.3%	16	16.2%	0		0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		0	
合計	153	100.0%	54	100.0%	99	100.0%	0		0	

#### (4)まとめ

直近5年間の人間科学部卒業生2,792名にアンケート用紙を送付し、未達返送685名分を除いた2,107名から219件の有効回答を得た。居住地、年齢、男女比などバランスのよいサンプルを得ることができた。219件のサンプルのうち、臨床心理学専攻を「受験したい」が54件(24.7%)、「受験を検討する」が99件(45.2%)であった。また、「受験をしたい」という回答者のうち、49名(90.7%)が「合格した場合、入学したい」と答え、「受験を検討する」という回答者のうち、83名(83.8%)が「合格した場合、入学したい」と答えた。以上より、人間科学部卒業生のうち、2.3%(49/2,107)程度の確信的入学希望者の存在を確認できた。また、「受験を検討する」と答えた者の多くからも、入学意思を確認できたことで、さらなる入学希望者を期待できる。

平成21年以前の卒業生の存在や今後も、安定的に卒業生が増えていくこと（【表3】参照）を考慮すると卒業生という限定的な集団ではあるが、長期的かつ安定的に一定程度の入学希望者を想定できるものとする。

【表3】在籍者数

学部	学科	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人間科学	人間科学	55	110	108	179	202	441	144	438	509	1,168
	健康栄養学	11	76	16	72	17	59	18	60	62	267
保健医療学	看護学	15	79	16	73	10	74	16	63	57	289
	リハビリテーション学	47	25	47	29	27	29	27	17	148	100
合計	小計	128	290	187	353	256	603	205	578	776	1,824
	男女計	418		540		859		783		2,600	

※2014年5月1日現在。

#### 4. 添付資料

添付資料① アンケート用紙（※次ページから全4ページ）



# 人間総合科学大学大学院 [通信教育課程]

## 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻【修士】 臨床心理学専攻設置についてのアンケート調査

人間総合科学大学（埼玉県さいたま市）は2016年4月に、大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（15名）を開設する予定です。人間総合科学大学ではこのアンケート調査を通して、皆様からご意見をいただくことで、今後もより一層、医療・教育・保健・

福祉等の分野で貢献できる人材輩出を行って参りたいと考えております。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻設置に係る統計資料としてのみ活用いたします。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は人間総合科学大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

はじめに、現在の状況についてお尋ねいたします。

回答はWEBからお願い申し上げます。

■スマートフォンの場合、QR CODE を読み込んでください。



■PC の場合、次の URL から回答してください。

<https://www.human.ac.jp/q201502/>

**問1** あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

※プルダウンから選択してください。

**問2** あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

**問3** あなたの年齢をお答えください。

※プルダウンから選択してください。

**問4** 現在お就きの職業についてお答えください。

1. 会社員                  2. 公務員                  3. 専門職（→プルダウンから選択してください）  
4. 自営業・自由業      6. 大学生・大学院生      7. 研究者  
8. その他

問5～問7は、3・4ページの臨床心理学専攻（人間総合科学大学が2016年に開設予定）の概要をお読みになった後にお答えください。

**問5** あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」（開設予定）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 受験したい           →       **問6** にお答えください。
2. 受験を検討する       →       **問6** にお答えください。
3. 受験しない           →       ありがとうございました。アンケートは終了です。

※「問6」は「問5」で「1. 受験したい」「2. 受験を検討する」と答えた人のみ回答してください。

**問6** あなたは人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」（開設予定）に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 合格した場合、入学したい
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

**問7** 人間総合科学大学大学院の「人間総合科学研究科 臨床心理学専攻」（開設予定）について、ご意見、ご要望があればお答えください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました

充実した教育により、医療、福祉、教育などの分野で活躍できる人材を育成いたします。

人間総合科学  
研究科

# 臨床心理学専攻

[通信教育課程]

2016年4月開設を構想中

## 専攻の概要

- ◇設置年月：平成28年（2016年）4月（予定）
- ◇名称：人間総合科学研究科臨床心理学専攻（仮称・設置構想中）
- ◇入学定員：15人
- ◇開講形態：通信教育課程
- ◇修業年限：3年 ※臨床心理士受験資格取得
- ◇学位：修士（臨床心理学）
- ◇設置場所：埼玉県さいたま市（人間総合科学大学蓮田キャンパス）  
東京都千代田区（東京サテライト御茶ノ水キャンパス）

## 教育目標

人間の健康を主に心理的側面から、科学的、総合的に追求し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって、心の健康の保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための研究・援助を行うことのできる人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、高い倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士の養成を行う。

## 養成する人物像

- ①保健、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって、地域、コミュニティ等における人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材
- ②心理的問題を抱え支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析するとともにその心理に関する相談に応じ、助言、指導その他を行える人材
- ③心理的問題を抱え支援を要する者の関係者に対しても、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことのできる人材
- ④心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うことのできる人材

## 教育研究の特色

現代人の心の健康問題を統合的に捉える

心とからだの健康科学（本学の標榜する『心身健康科学』）において、特に現代人の心の健康問題に焦点をあて、科学的、実践的な研究と専門職の養成を図る。その大きな特色は、心身健康科学の科学的側面と実践的側面を基盤にしながら、心の健康に関わる人間行動や認知行動、脳活動や生理機能を統合的にとらえ、心の健康問題の解決を目指す点にある。

■特徴（1）

スマホ、タブレットPCなどに対応したインターネットによる双方向型の講義形態を実現

■特徴（2）

スクーリングは、交通便利なサテライトキャンパス（御茶ノ水）を中心に実施。

■特徴（3）

実習指導もオンライン上のTV会議を利用。社会人が時間を選ばずに十分な指導を受けることが可能。

■特徴（4）

修了率の高さを保障する本大学院が蓄積してきた「サポートシステム」の充実さ便利さ。

## 免許・資格

臨床心理士の受験資格を取得することができます。

■医療・保健

病院、診療所、精神保健福祉センター、保健所、保健センター、リハビリテーションセンター、老人保健施設など

■教育

公立教育相談機関、教育委員会、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、予備校（職名は、スクールカウンセラー、教育相談員、保育カウンセラーなど）

■大学・研究所

大学（学生相談室を含む）、短期大学、専門学校、研究所・研究機関、大学付属臨床心理センターなど

■福祉

児童関連、障害関連、女性関係（女性相談センター、DV相談支援センターなど）老人福祉施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホームなど）

■産業・労働

企業内健康管理センター・相談室、外部 EAP（従業員支援プログラム）機関、公共職業安定所、障害者センターなど

■司法・法務・警察

司法関係機関（家庭裁判所など）、法務省関係機関（少年鑑別所・少年院・刑務所・保護観察所など）警察関係機関（相談室・科学捜査研究所など）

大学院名・研究科名・専攻名
東京福祉大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻【通信課程】
東京都豊島区東池袋 4-23-1
佛教大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻【通信課程】
京都府京都市北区紫野北花ノ坊町 96

■人間総合科学大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻の学費は未定です。

MAP

蓮田キャンパス (埼玉・蓮田)

- 人間科学部
  - 健康栄養学科
  - 人間科学科（通信制）
- 人間総合科学研究科
  - 健康栄養科学専攻
  - 心身健康科学専攻（通信制）



蓮田駅への所要時間

大宮から	10分	新宿から	42分	宇都宮から	42分
上野から	37分	横浜から	75分	高崎から	75分
東京から	50分	成田空港から	90分		

蓮田駅から

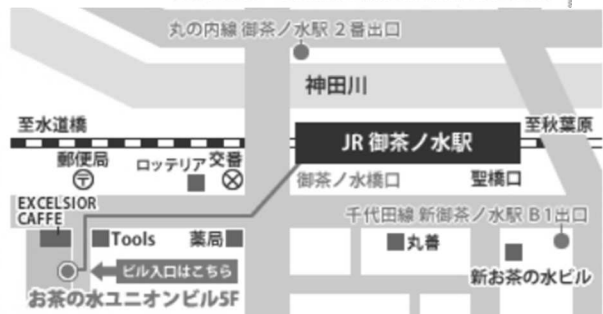
徒歩 13分



〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288

東京サテライト(東京・御茶ノ水)

- 人間科学部
  - 人間科学科（通信制）
- 人間総合科学研究科
  - 心身健康科学専攻（通信制）



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル5F

## (資料5)

大学院名・研究科名・専攻名 所在地	入学金	授業料	実習費	教育充実費 等	諸経費等	初年度 学費
人間総合科学大学大学院人間科学研究科臨床心理専攻【通信課程】 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288	200,000	680,000	—	100,000	—	980,000
東京福祉大学大学院心理学研究科臨床心理専攻【通信課程】 東京都豊島区東池袋4-23-1	100,000	410,000	100,000	170,000	69,310	849,310
埼玉学園大学心理学研究科臨床心理専攻【通学課程】 埼玉県川口市木曾呂1510	300,000	600,000	—	100,000	—	1,000,000
東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理専攻【通学課程】 東京都北区王子3-23-2	300,000	350,000	100,000	220,000	40,000	1,010,000

(資料6)

ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>) を用いて臨床心理士有資格者に対する求人を検索すると、全国で 273 件 (フルタイム 169 件、パートタイム 104 件) の求人があった (平成 27 年 6 月 19 日現在)。地域を限定した場合、東京都では 49 件 (フルタイム 23 件、パートタイム 26 件)、埼玉県では 10 件 (フルタイム 6 件、パートタイム 4 件) の求人があった。

ハローワークインターネットサービスでの臨床心理士の求人数

		臨床心理士の求人数			
		医療関係	教育関係	福祉関係	合計
埼玉県	フルタイム	2	0	4	6
	パート	1	0	3	4
	計	3	0	7	10
東京都	フルタイム	12	1	10	23
	パート	13	2	11	26
	計	25	3	21	49
千葉県	フルタイム	1	2	1	4
	パート	0	0	3	3
	計	1	2	4	7
合計	フルタイム	15	3	15	33
	パート	14	2	17	33
	計	29	5	32	66
全国	フルタイム				169
	パート				104
	計				273

出典：ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>) 平成 27 年 6 月 19 日現在

## (資料 7)

人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理専攻

(通信教育課程)

設置に係るニーズアセスメント調査報告書

【修了生の就職の見通しに関するアンケート調査（出口調査）】

平成 27 年 6 月 22 日

株式会社高等教育総合研究所

## 目次

1. 調査の概要	3
2. 質問項目の集計結果	4
3. 分析	12
4. 添付資料	21



## 1. 調査の概要

- ◆調査の目的：平成 28 年度 4 月開設を計画中の人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の人材需要の見通しについて、大学外の第三者機関である株式会社高等教育総合研究所により、公的団体等へのアンケートを用いて計ることを目的とする。
  
- ◆調査期間：平成 27 年 5 月～平成 27 年 6 月
  
- ◆調査対象：関東地方と宮城県・静岡県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県・福岡県の病院等の医療機関、埼玉県内と東京都内の市区町村の教育委員会、埼玉県内と東京都内の私立中学・高等学校、埼玉県内と東京都内の社会福祉法人など
  
- ◆調査方法：対象の団体等に、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の概要を記載したアンケート用紙（添付資料①）を送付し、アンケートへの回答を依頼した。
  
- ◆調査内容：選択肢式で 5 問と記述式で 4 問（記述式のうち、人数を答える設問が 3 問）。  
※主な質問項目は、団体等の概要、採用の動向、採用で重視すること、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の修了生の採用の意向。
  
- ◆依頼件数：1500 件
  
- ◆有効回答件数：117 件（回答率 7.8%）

## 2. 質問項目の集計結果

※構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計は100%と必ずしも一致しない。

※問1～問7、および問9は回答した117団体すべてに回答を求めている。

問1 貴団体についてお答えください。

	回答	回答数	構成比
1	病院	53	45.3%
2	診療所／クリニック	1	0.9%
3	小学校／中学校／高等学校	28	23.9%
4	特別支援学校	0	0.0%
5	大学／その他の教育・研究機関	1	0.9%
6	教育委員会	8	6.8%
7	社会福祉法人	14	12.0%
8	児童相談所	6	5.1%
9	精神保健センター	1	0.9%
10	その他	4	3.4%
	無回答	1	0.9%
	計	117	100.0%

問2 貴団体の所在地をお答えください。

	回答	回答数	構成比
1	東京都	48	41.0%
2	埼玉県	28	23.9%
3	神奈川県	10	8.5%
4	千葉県	10	8.5%
5	その他	20	17.1%
	無回答	1	0.9%
	計	117	100.0%

問3-1 貴団体において勤務されている臨床心理士資格保有者の人数をお答えください  
(常勤職員)

	回答	回答数	構成比
1	0人	54	46.2%
2	1人	16	13.7%
3	2人	13	11.1%
4	3人	4	3.4%
5	4人	4	3.4%
6	5人以上	8	6.8%
	無回答	18	15.4%
	計	117	100.0%

問3-2 貴団体において勤務されている臨床心理士資格保有者の人数をお答えください  
(非常勤職員)

	回答	回答数	構成比
1	0人	59	50.4%
2	1人	23	19.7%
3	2人	9	7.7%
4	3人	5	4.3%
5	4人	3	2.6%
6	5人以上	9	7.7%
	無回答	9	7.7%
	計	117	100.0%

問4-1 貴団体において2014年4月に採用された臨床心理士資格保有者の人数をお答えください（常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	0人	93	79.5%
2	1人	11	9.4%
3	2人	1	0.9%
4	3人	0	0.0%
5	4人	0	0.0%
6	5人以上	0	0.0%
	無回答	12	10.3%
	計	117	100.0%

問4-2 貴団体において2014年4月に採用された臨床心理士資格保有者の人数をお答えください（非常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	0人	92	78.6%
2	1人	12	10.3%
3	2人	3	2.6%
4	3人	1	0.9%
5	4人	0	0.0%
6	5人以上	1	0.9%
	無回答	8	6.8%
	計	117	100.0%

問5-1 貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください（常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	不足しており、採用数を増やしたい	8	6.8%
2	適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい	37	31.6%
3	過剰であり、採用数を減らしたい	0	0.0%
4	わからない	50	42.7%
	無回答	22	18.8%
	計	117	100.0%

問5-2 貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください（非常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	不足しており、採用数を増やしたい	6	5.1%
2	適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい	40	34.2%
3	過剰であり、採用数を減らしたい	1	0.9%
4	わからない	52	44.4%
	無回答	18	15.4%
	計	117	100.0%

問6 貴団体が臨床心理士資格保有者の採用において重視する項目をお答えください（複数回答）。

※複数回答項目のため、回答数は延べ数

※比率は回答した117団体のうち、各項目を挙げた団体の割合

	回答	回答数	比率
1	コミュニケーション能力	79	67.5%
2	基礎的な学力	27	23.1%
3	臨床心理学の専門知識	67	57.3%
4	社会常識・マナー	51	43.6%
5	積極性・行動力	37	31.6%
6	精神力・忍耐力	11	9.4%
7	チームで働く力	49	41.9%
8	人間としての魅力	16	13.7%
9	目的達成能力	9	7.7%
10	トラブル・問題解決能力	19	16.2%
11	その他	7	6.0%
	無回答	17	14.5%

問7 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われますか。

	回答	回答数	構成比
1	採用したい	3	2.6%
2	採用を検討したい	12	10.3%
3	どちらとも言えない	84	71.8%
4	採用はしない	14	12.0%
	無回答	4	3.4%
	計	117	100.0%

※問8は、問7で「採用したい」または「採用を検討したい」と答えた回答者にのみ回答を求めている。

問8-1 現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか（常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	0人	6	40.0%
2	1人	5	33.3%
3	2人	0	0.0%
4	3人	0	0.0%
5	4人	0	0.0%
6	5人以上	0	0.0%
	無回答	4	26.7%
	計	15	100.0%

問8-2 現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか（非常勤職員）

	回答	回答数	構成比
1	0人	8	53.3%
2	1人	1	6.7%
3	2人	0	0.0%
4	3人	0	0.0%
5	4人	0	0.0%
6	5人以上	0	0.0%
	無回答	6	40.0%
	計	15	100.0%

問9 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」に対するご意見、ご要望などがあればお答えください。(記述式回答)

	ご意見・ご要望	(団体の属性、所在地、採用の意向)
1	現在、採用について検討中の為、具体的な人数については未定となります。	(病院、埼玉県、採用を検討したい)
2	学校教育の場で生徒もさることながら教職員に対するサポートも検討出来るのならば一番良いのですが、他の学校などではその切り分けがどの様になっているのか知りたいと思います。	(小学校／中学校／高等学校、東京都、どちらとも言えない)
3	学校等関係なく、人間として人間に優しく真剣にぶつかっていける人材を希望します。基礎や専門知識だけの四角四面な人間ではなく多角的に物事を見、必要に応じて柔和に対応出来るような人材を是非育てて下さい。	(病院、埼玉県、どちらとも言えない)
4	①採用については、あくまでも人物であり、大学名、院卒・大卒では考えません。 ②臨床心理だけの採用はむずかしいので、他教科の資格があれば良いと考えます。	(小学校／中学校／高等学校、東京都、どちらとも言えない)
5	児童相談所には人事採用の権限はないため、答えられない項目あり。	(児童相談所、その他、無回答)
6	勤務していただける臨床心理士を確保することに苦勞することがあります。臨床心理士が見つからないときに紹介していただけると助かります。	(教育委員会、埼玉県、どちらとも言えない)
7	・常勤は、地方公務員採用試験に合格する必要あり。 ・非常勤については認定臨床心理士を有することが望まれる。	(児童相談所、埼玉県、どちらとも言えない)
8	本校ではカウンセラーの常勤職員がいます。臨床心理士を採用するにはカウンセラーとのバランスが必要と思われます。いずれ、学校には臨床心理士が必要になると思います。	(小学校／中学校／高等学校、東京都、どちらとも言えない)
9	病院としては診療報酬上、何らかの収入につながる事が採用の条件となります。人件費位の収入があると望ましいのですが…。患者様へのサービスとしては必要な職種だと考えています。	(病院、東京都、どちらとも言えない)
10	コミュニケーション能力の育成を重視したい。	(教育委員会、埼玉県、どちらとも言えない)

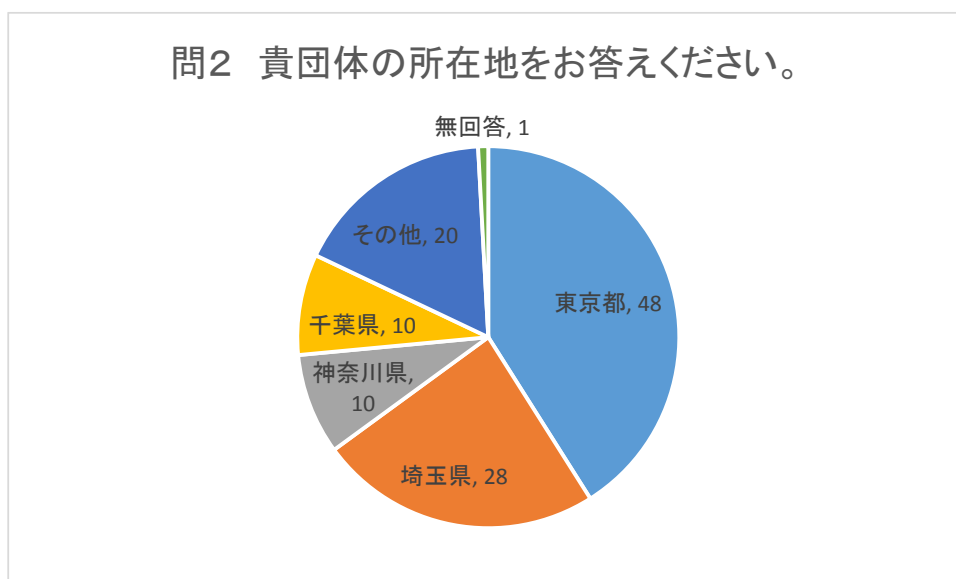
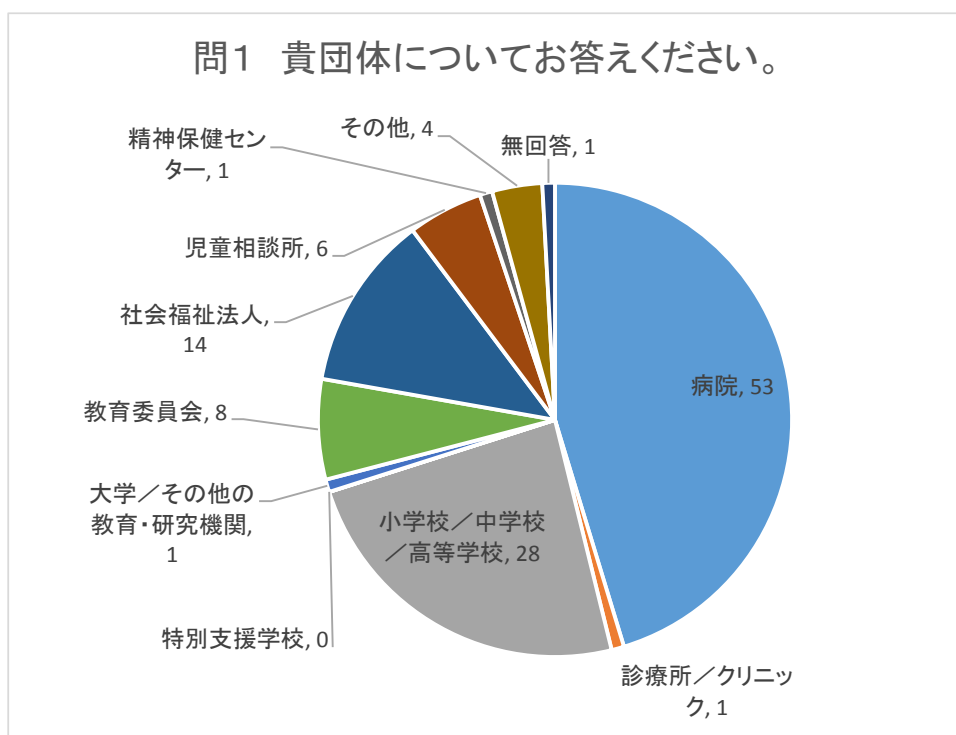


11	これからは、より必要性の高い資格だと思しますので、今後の職員採用時などには検討していければと考えております。	(社会福祉法人、埼玉県、どちらとも言えない)
12	特にありませんが、「教育目標」に定めたような人材を養成していただければ…と切に思います。	(病院、東京都、どちらとも言えない)
13	通信制は、スーパービジョンの機会が少なそうなので、卒後すぐの採用は経験値の面で不安です。	(病院、その他、採用はしない)
14	通信制大学院ということでも興味があります。是非設置していただき人間力の高い臨床心理士を育てていただきたいと思っております。本校においては3名のカウンセラーが働いており(資格保有者2名)大忙しです。現場は必要としていることは間違いないと思っております。	(小学校／中学校／高等学校、東京都、どちらとも言えない)

### 3. 分析

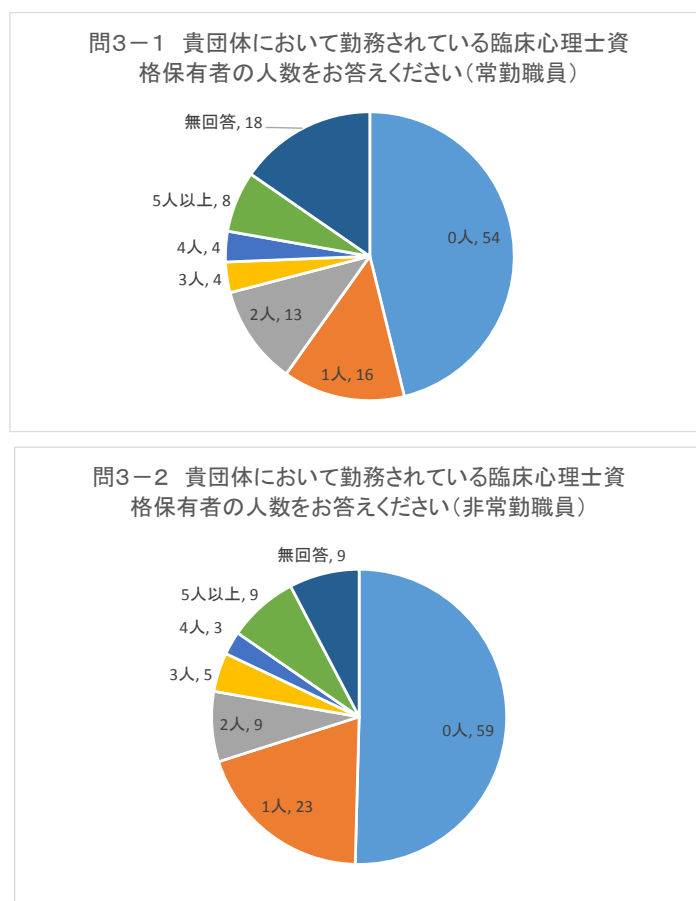
#### (1) 回答を得た団体の概要について

本調査では、人間総合科学大学が構想中の大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻（通信教育課程）の修了生の採用が期待できる団体として、全国主要地域の病院と、人間総合科学大学が所在する埼玉県および近隣で人口が多く採用の見込みが大きいと考えられる東京都にある教育委員会、私立中学・高等学校、教育委員会、社会福祉法人等を対象としてアンケート調査を実施し、117の団体から回答を得た。回答者の属性および所在地は以下の通りであった。



(2) アンケート対象団体における臨床心理士資格保有者の雇用状況

常勤で資格保有者を雇用しているのは病院、児童相談所等、医療・福祉関係の割合が大きい。非常勤の場合、学校、教育委員会等の教育関係であった（【表 1】参照）。



【表 1】団体種別雇用状況

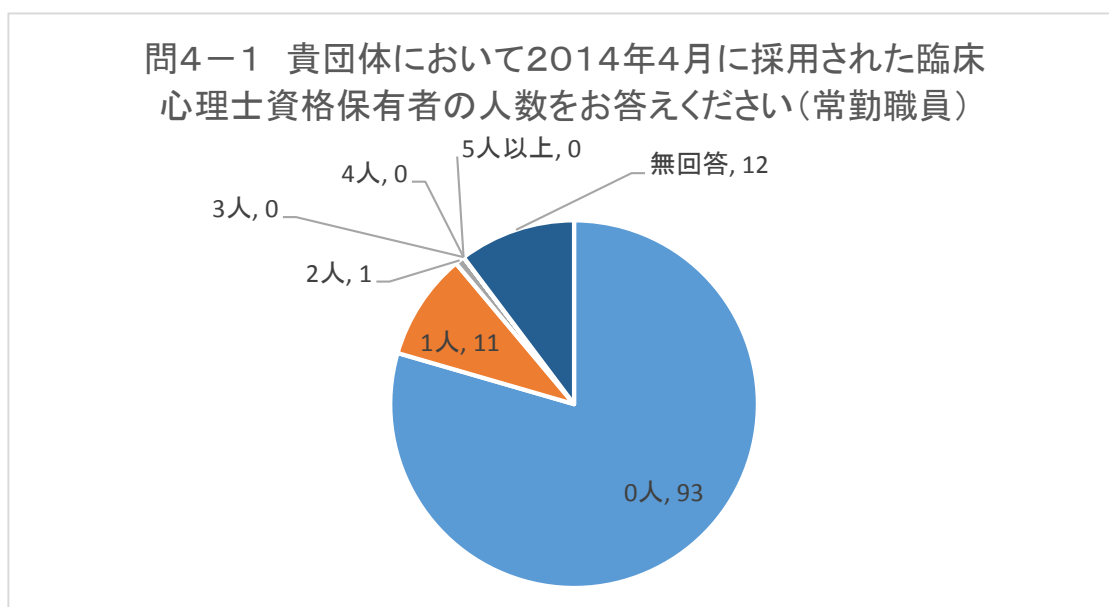
	回答数	保有者常勤		保有者非常勤	
		人数	割合	人数	割合
病院	53	33	62.3%	21	39.6%
診療所／クリニック	1	0	0.0%	0	0.0%
小学校／中学校／高等学校	28	2	7.1%	18	64.3%
特別支援学校	0	0	—	0	—
大学／その他の教育・研究機関	1	1	100.0%	0	0.0%
教育委員会	8	1	12.5%	4	50.0%
社会福祉法人	14	1	7.1%	2	14.3%
児童相談所	6	5	83.3%	2	33.3%
精神保健センター	1	1	100.0%	0	0.0%
その他	4	1	25.0%	2	50.0%
無回答	1	0	0.0%	0	0.0%
合計	117	45	38.5%	49	41.9%

※1名以上、資格保有者を雇用している団体数。

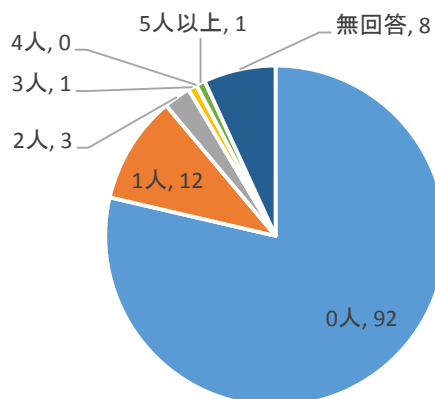
### (3) アンケート対象団体の臨床心理士資格保有者の採用状況について

病院等における臨床心理士の採用は定期採用が少なく、欠員が出たときに採用するケースが多いと考えられるため、2014年4月採用の臨床心理士を問うたこの問4では、採用人数を「0人」とした回答が多かったことはやむを得ないものと考えられる。ただし、「1人」とする回答が常勤で11件、非常勤で12件あり、「2人」とする回答が常勤で1件、非常勤で3件あるなど、採用された実数の合計は39人にのぼり、数は多くはないとは言えるものの採用実績はあるという結果であった。団体種別の常勤の新規採用状況を見ると、病院、教育関係がほとんどであった。非常勤の場合、教育関係が目立つ(【表2】参照)。

また、今後の見通しについても、欠員が出るかどうかは現時点ではわからないため、「わからない」とする回答が最も多くなったものと考えられる。それでも、「適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい」とする回答が常勤・非常勤ともに30%以上あり、「不足しており、採用数を増やしたい」とする回答も5~7%程度あるので、今後も臨床心理士資格保有者の採用は現行並み以上が期待できると考えてよいだろう(p7参照)。採用見通しについても、常勤は病院、非常勤は教育関係が積極的である(【表3】【表4】参照)。



問4-2 貴団体において2014年4月に採用された臨床心理士資格保有者の人数をお答えください(非常勤職員)

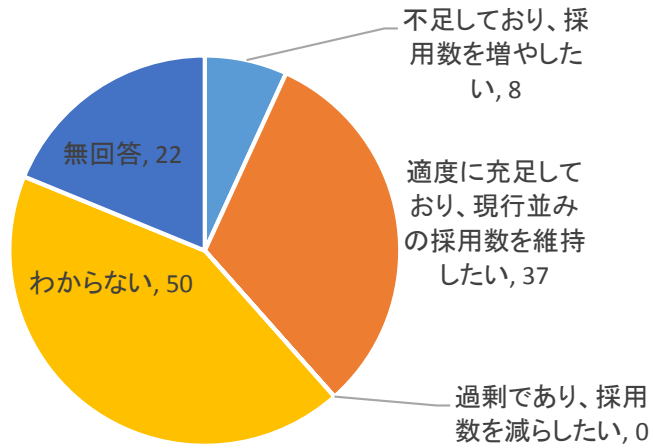


【表 2】 団体種別新規採用数

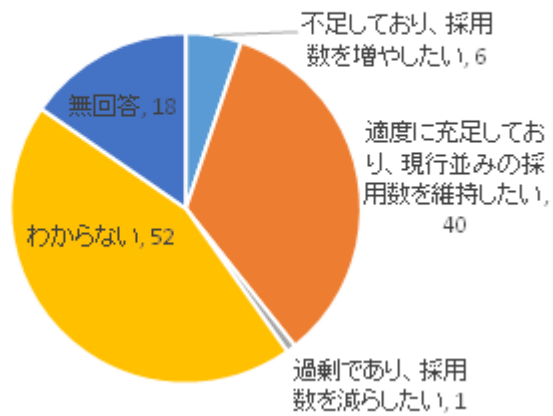
	回答数	常勤新規採用		非常勤新規採用	
病院	53	8	15.1%	4	7.5%
診療所／クリニック	1	0	0.0%	0	0.0%
小学校／中学校／高等学校	28	1	3.6%	5	17.9%
特別支援学校	0	0	—	0	—
大学／その他の教育・研究機関	1	1	100.0%	0	0.0%
教育委員会	8	1	12.5%	4	50.0%
社会福祉法人	14	0	0.0%	1	7.1%
児童相談所	6	0	0.0%	1	16.7%
精神保健センター	1	0	0.0%	0	0.0%
その他	4	1	25.0%	2	50.0%
無回答	1	0	0.0%	0	0.0%
計	117	12	10.3%	17	14.5%

※1名以上、資格保有者を新規採用した団体数。

問5-1 貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください(常勤職員)



問5-2 貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください(非常勤職員)



【表3】

「回答者種類」と「貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください(常勤職員)」の関係

選択項目	総計		病院		診療所/クリニック		小学校/中学校/高等学校		特別支援学校		大学/その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不足しており、採用数を増やしたい	8	6.8%	6	11.3%	1	100.0%	1	3.6%	0		0	0.0%
適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい	37	31.6%	26	49.1%	0	0.0%	6	21.4%	0		1	100.0%
過剰であり、採用数を減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0		0	0.0%
わからない	50	42.7%	17	32.1%	0	0.0%	10	35.7%	0		0	0.0%
無回答	22	18.8%	4	7.5%	0	0.0%	11	39.3%	0		0	0.0%
合計	117	100.0%	53	100.0%	1	100.0%	28	100.0%	0		1	100.0%
	教育委員会		社会福祉法人		児童相談所		精神保健センター		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	25.0%	1	7.1%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	37.5%	10	71.4%	6	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%
	3	37.5%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
	8	100.0%	14	100.0%	6	100.0%	1	100.0%	4	100.0%	1	100.0%

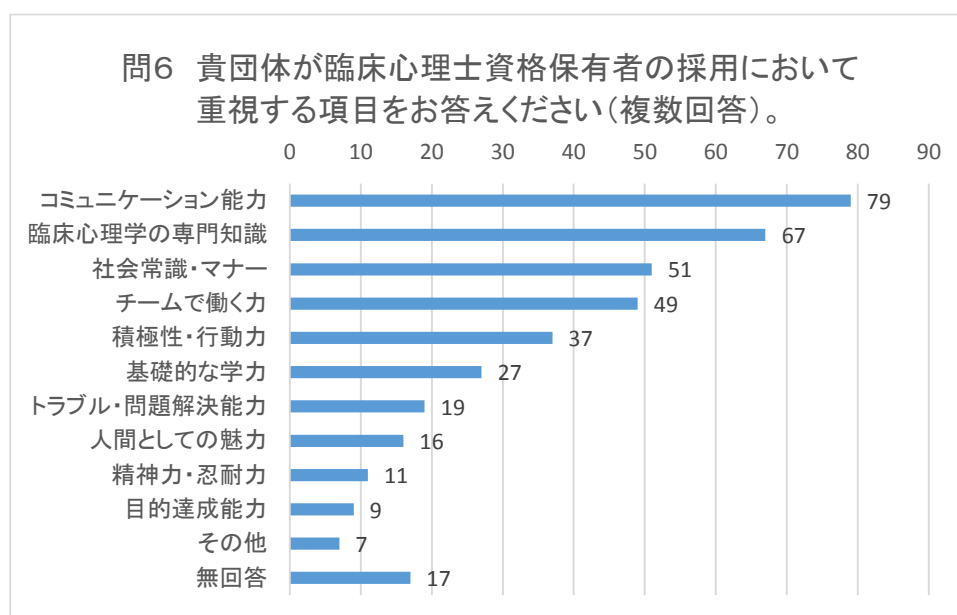
【表4】

「回答者種類」と「貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の見通しについてお答えください(非常勤職員)」の関係

選択項目	総計		病院		診療所/クリニック		小学校/中学校/高等学校		特別支援学校		大学/その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
不足しており、採用数を増やしたい	6	5.1%	4	7.5%	0	0.0%	2	7.1%	0		0	0.0%
適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい	40	34.2%	19	35.8%	0	0.0%	13	46.4%	0		1	100.0%
過剰であり、採用数を減らしたい	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	0		0	0.0%
わからない	52	44.4%	22	41.5%	1	100.0%	8	28.6%	0		0	0.0%
無回答	18	15.4%	8	15.1%	0	0.0%	4	14.3%	0		0	0.0%
合計	117	100.0%	53	100.0%	1	100.0%	28	100.0%	0		1	100.0%
	教育委員会		社会福祉法人		児童相談所		精神保健センター		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	4	50.0%	1	7.1%	1	16.7%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	37.5%	10	71.4%	4	66.7%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%
	1	12.5%	3	21.4%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
	8	100.0%	14	100.0%	6	100.0%	1	100.0%	4	100.0%	1	100.0%

#### (4) 臨床心理士資格保有者の採用で重視すること

臨床心理士が持っていることを期待されている能力・スキル等については、第一に「コミュニケーション能力」が挙げられており、以下、「臨床心理学の専門知識」、「社会常識・マナー」、「チームで働く力」などとなっている。「臨床心理学の専門知識」とする回答は2番目に多いが、これは臨床心理士として当然持っている能力と認識している回答者が多かったため、最も多い回答にはならなかったと考えられる。それ以外の「コミュニケーション能力」、「社会常識・マナー」、「チームで働く力」などは、臨床心理士に限らず職場一般で働くために必要なスキルであり、臨床心理士としての能力プラスアルファのスキルが多くの職場で求められていることが分かる。





(5) 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理学専攻」修了者への採用意欲について

問7『人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われますか。』に対する回答のうち、「採用したい」とする回答が3件、「採用を検討したい」とする回答が12件あったことから、回答を寄せた117の団体のうち少なくとも15団体は人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻の修了生の採用に前向きであることが分かった。また、「どちらとも言えない」とする回答が84件(71.8%)あり、修了生の採用に対して必ずしも否定的ではない回答が大多数であった。地域を限定して行った調査で採用に前向きな回答が15件あったということから、調査対象を広げた場合により多くの採用に前向きな回答が得られるものと考えられる。

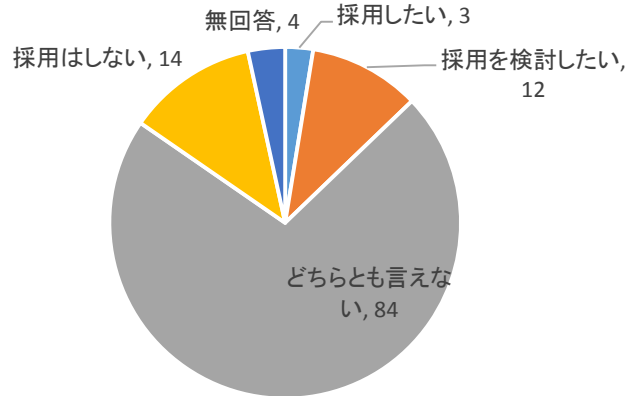
なお、問8では「現時点で採用可能と思われる人数」として「0人」とする回答が最も多かった。これについては以下のように考える。

病院等の臨床心理士の職は定期採用が少なく、欠員が出た場合に採用するケースが多い。したがって、今回の調査においても、例えば問7で「採用したい」または「採用を検討したい」と答えた団体（採用に前向きな団体）であっても、現時点で欠員が出ていなければ問8で回答する採用可能な人数としては「0名」と答えざるを得ない場合が多かったものと考えられる。したがって、問8で得られた回答の採用可能人数が少なかったとしても、必ずしも採用の可能性が少ないわけではないと考えるべきである。

団体種別の採用意欲は【表5】によって確認できる。「採用したい」「採用を検討したい」という積極的な回答は病院がほとんどであった。

本調査によって、限定されたサンプルにおいても、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻の修了生に対するニーズが、医療、教育分野で一定程度存在することを確認することができた。

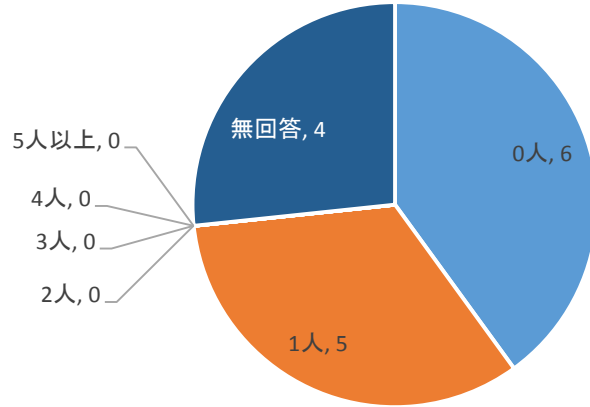
問7 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われませんか。



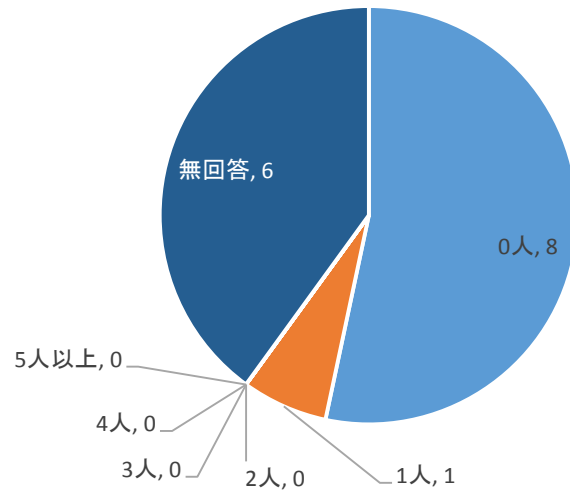
【表5】「回答者種類」と「人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われませんか。」の関係

選択項目	総計		病院		診療所/クリニック		小学校/中学校/高等学校		特別支援学校		大学/その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
採用したい	3	2.6%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
採用を検討したい	12	10.3%	9	17.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
どちらとも言えない	84	71.8%	35	66.0%	0	0.0%	23	82.1%	0	0.0%	0	0.0%
採用はしない	14	12.0%	7	13.2%	0	0.0%	4	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	4	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
合計	117	100.0%	53	100.0%	1	100.0%	28	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
	教育委員会		社会福祉法人		児童相談所		精神保健センター		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	5	62.5%	11	78.6%	5	83.3%	1	100.0%	4	100.0%	0	0.0%
	0	0.0%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	12.5%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
	8	100.0%	14	100.0%	6	100.0%	1	100.0%	4	100.0%	1	100.0%

問8-1 現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか(常勤職員)



問8-2 現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか(非常勤職員)



【参考資料1】

ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>) を用いて臨床心理士有資格者に対する求人を検索すると、全国で 273 件（フルタイム 169 件、パートタイム 104 件）の求人があった（平成 27 年 6 月 19 日現在）。地域を限定した場合、東京都では 49 件（フルタイム 23 件、パートタイム 26 件）、埼玉県では 10 件（フルタイム 6 件、パートタイム 4 件）の求人があった。

表1 ハローワークインターネットサービスでの臨床心理士の求人数

		臨床心理士の求人数			
		医療関係	教育関係	福祉関係	合計
埼玉県	フルタイム	2	0	4	6
	パート	1	0	3	4
	計	3	0	7	10
東京都	フルタイム	12	1	10	23
	パート	13	2	11	26
	計	25	3	21	49
千葉県	フルタイム	1	2	1	4
	パート	0	0	3	3
	計	1	2	4	7
合計	フルタイム	15	3	15	33
	パート	14	2	17	33
	計	29	5	32	66
全国	フルタイム	/			169
	パート				104
	計				273

出典：ハローワークインターネットサービス (<https://www.hellowork.go.jp/>) 平成 27 年 6 月 19 日現在

【参考資料2】

都道府県や政令指定都市は、臨床心理士や精神科医などを「スクールカウンセラー」として学校に配置している（一部、政令指定都市以外の市町村でも独自に配置しているところもある）。また、教育委員会へのヒアリングによると、「予算の限度があるので現時点では難しいが、学校現場からはスクールカウンセラーを増やしてほしいという声がある」とのことだったので、将来は採用人数がさらに増える可能性も十分考えられる。

表2 スクールカウンセラーの募集人員

	募集人員	年度	備考
東京都	1100人	(平成28年度)	
埼玉県	170人	(平成27年度)	
千葉県	280人	(平成27年度)	
横浜市	数名	(平成27年度)	採用実績は8名
川崎市	若干名	(平成27年度)	
千葉市	50名	(平成27年度)	

出典：各自治体ホームページ（横浜市の採用実績は教育委員会への電話ヒアリング、千葉市の募集人員は教育委員会への訪問でのヒアリングによる）

#### 4. 添付資料

添付資料① アンケート用紙（※次ページから全4ページ）

## 臨床心理学専攻設置についての人材需要アンケート調査

人間総合科学大学（埼玉県さいたま市）は2016年4月に、大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻(15名)を開設する予定です。人間総合科学大学ではこのアンケート調査を通して、皆様からご意見をいただくことで、今後もより一層、医療・教育・保健・福祉等の分野で貢献できる人材輩出を行って参りたいと考えております。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科臨床心理学専攻設置に係る統計資料としてのみ活用いたします。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は人間総合科学大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

はじめに、貴団体についてお尋ねいたします。

**問1** 貴団体についてお答えください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）。

- |                                 |                   |                 |
|---------------------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 病院                           | 2. 診療所／クリニック      | 3. 小学校／中学校／高等学校 |
| 4. 特別支援学校                       | 5. 大学／その他の教育・研究機関 | 6. 教育委員会        |
| 7. 社会福祉法人                       | 8. 児童相談所          | 9. 精神保健センター     |
| 10. その他（                      ） |                   |                 |

**問2** 貴団体の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- |        |                                |         |
|--------|--------------------------------|---------|
| 1. 東京都 | 2. 埼玉県                         | 3. 神奈川県 |
| 4. 千葉県 | 5. その他（                      ） |         |

**問3** 貴団体において勤務されている臨床心理士資格保有者の人数をお答えください。（該当する人数をご記入ください。）

◆ 常勤職員

名)

◆ 非常勤職員

名)

問4

貴団体において2014年4月に採用された臨床心理士資格保有者の人数をお答えください。  
(採用人数をご記入ください。)

◆ 常勤職員

 名)

◆ 非常勤職員

 名)

問5

貴団体において臨床心理士資格保有者の人数の今後の採用見通しについてお答えください。  
(貴団体について、最もあてはまる番号をご記入ください。)

◆ 常勤職員

◆ 非常勤職員

1. 不足しており、採用数を増やしたい
2. 適度に充足しており、現行並みの採用数を維持したい
3. 過剰であり、採用数を減らしたい
4. わからない

問6

貴団体が臨床心理士資格保有者の採用において重視する項目をお答えください。  
(あてはまるものにすべて○をしてください。)

- |                 |             |               |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. コミュニケーション能力  | 2. 基礎的な学力   | 3. 臨床心理学の専門知識 |
| 4. 社会常識・マナー     | 5. 積極性・行動力  | 6. 精神力・忍耐力    |
| 7. チームで働く力      | 8. 人間としての魅力 | 9. 目的達成能力     |
| 10. トラブル・問題解決能力 | 11. その他 ( ) |               |



以下は人間総合科学大学が2016年に開設予定の臨床心理学専攻の概要です。  
お読みになった後に問6・問7にお答えください。

充実した教育により、医療、福祉、教育などの分野で活躍できる人材を育成いたします。

人間総合科学  
研究科

# 臨床心理学専攻

[通信教育課程]

2016年4月開設を構想中

## 専攻の概要

- ◇設置年月：平成28年(2016年)4月(予定)
- ◇名称：人間総合科学研究科臨床心理学専攻(仮称・設置構想中)
- ◇入学定員：15人
- ◇開講形態：通信教育課程
- ◇修業年限：3年 ※臨床心理士受験資格取得
- ◇学位：修士(臨床心理学)
- ◇設置場所：埼玉県さいたま市(人間総合科学大学蓮田キャンパス)  
東京都千代田区(東京サテライト御茶ノ水キャンパス)

## 教育目標

人間の健康を主に心理的側面から、科学的、総合的に追求し、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって、心の健康の保持、増進、回復を図るとともに、心理的問題の予防・改善のための研究・援助を行うことのできる人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、高い倫理観、関連職種と連携・協働ができる能力を備えた専門職としての臨床心理士の養成を行う。

## 養成する人材像

- ①保健、医療、福祉、教育、産業その他の分野において、臨床心理学に関する専門知識及び技術をもって、地域、コミュニティ等における人々の心の健康の保持増進に貢献できる人材
- ②心理的問題を抱え支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析するとともにその心理に関する相談に応じ、助言、指導その他を行える人材
- ③心理的問題を抱え支援を要する者の関係者に対しても、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うことのできる人材
- ④心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うことのできる人材

## 教育研究の特色

現代人の心の健康問題を統合的に捉える  
心とからだの健康科学(本学の標榜する『心身健康科学』)において、特に現代人の心の健康問題に焦点をあて、科学的、実践的な研究と専門職の養成を図る。その大きな特色は、心身健康科学の科学的側面と実践的側面を基盤にしながら、心の健康に関わる人間行動や認知行動、脳活動や生理機能を統合的にとらえ、心の健康問題の解決を目指す点にある。

- 特徴(1)  
スマホ、タブレットPCなどに対応したインターネットによる双方向型の講義形態を実現
- 特徴(2)  
スクーリングは、交通便利なサテライトキャンパス(御茶ノ水)を中心に実施。
- 特徴(3)  
実習指導もオンライン上のTV会議を利用。社会人が時間を選ばずに指導を受けることが可能。
- 特徴(4)  
修了率の高さを保障する本大学院が蓄積してきた「サポートシステム」の高い充実度。

## 免許・資格

臨床心理士の受験資格取得

問7

人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」を修了した学生を採用したいと思われませんか。  
(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. どちらとも言えない
4. 採用はしない

問8

問7で、「1. 採用したい」、「2. 採用を検討したい」を選択された方にお訊ねいたします。  
現時点で採用可能と思われる人数は何人ですか(枠内に数字を記入)。

◆ 常勤職員

名

◆ 非常勤職員

名

問9

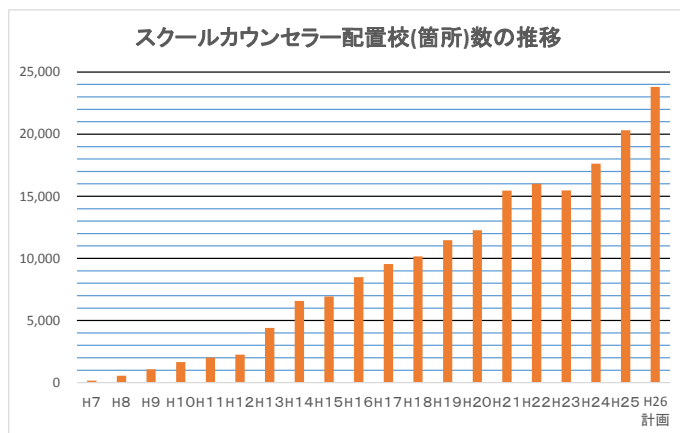
人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科「臨床心理専攻」に対するご意見、ご要望などがあれば  
お答えください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

(資料8) スクールカウンセラー等の配置箇所数、予算額の推移

区分	年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 計画
派遣校(箇所)数		154	553	1,065	1,661	2,015	2,250	4,406	6,572	6,941	8,485	9,547	10,158	11,460	12,263	15,461	16,012	15,476	17,621	20,310	23,800
予算額(百万円)		307	1,100	2,174	3,274	3,378	3,552	4,006	4,495	3,994	4,200	4,217	4,217	5,051	3,365	14,261 の内数	13,093 の内数	9,450 の内数	8,516 の内数	3,892	4,113

※派遣箇所とはスクールカウンセラーが配置されている学校と派遣されている学校、教育委員会への配置を含む。



文部科学省資料より作成

[ここに入力]

( 資料 9 )

臨床心理士のニーズ調査 東京都港区、埼玉県、千葉県

・学校法人早稲田医療学園では、平成28年4月に人間総合科学大学大学院・臨床心理学専攻の新設を計画しており、新設する臨床心理学専攻(修士課程)で養成する臨床心理士ニーズ調査を行った。人間総合科学大学(埼玉県さいたま市)近郊の自治体、東京都港区・埼玉県・千葉県千葉市3自治体でヒアリングを実施した。

ヒアリング

市町村名	受入	受入人数	連絡先	訪問日時	所属	住所	先方対応者
千葉市			03-6400-0090	6/9(火)	子供家庭支援センター	東京都港区三田 1-4-10	細田様
港区			03-3451-3221	6/30(火)	教育センター	東京都港区芝 2丁目 1-30	安斎様
埼玉県			048-830-6745	6/10(水)	県立学校部生徒指導課	さいたま市浦和区高砂 3-15-1	瀧澤様

実習施設受入

市町村名	受入	受入人数	連絡先	訪問日時	所属	住所	先方対応者
志木市	○	若干名	048-473-1111	5/27(水)	教育サポートセンター	志木市上宗岡 1丁目 5-1	的場様
埼玉県	○	若干名	048-830-6745	6/10(水)	県立学校部生徒指導課	さいたま市浦和区高砂 3-15-1	瀧澤様
鴻巣市	○	若干名	048-541-1321	6/12(金)	教育委員会学校教育部	鴻巣市東 3丁目 8-17	小峰様
川口市	○	若干名	048-258-1110	6/16(火)	教育委員会指導課	川口市芝園町 3-17	大竹様
新座市	○	若干名	048-477-5947	6/17(水)	教育相談センター	新座市野火止一丁目 1番 1号	鮫島様
蓮田市	○	若干名	048-768-3111	6/19(金)	学校教育課	蓮田市大字黒浜 2799 番地 1	増田様
熊谷市	○	若干名	048-524-1651	6/23(火)	学校教育課	熊谷市宮町二丁目 47 番地 1	田中様
草加市	○	若干名	048-922-0151	6/8(月)	教育委員会教育支援室	草加市松江 1-1-32	加藤様

[ここに入力]

東京都、埼玉県、千葉県それぞれの予算で、臨床心理士をスクールカウンセラーとして採用し、公立学校(小学校、中学校、高等)に配置を行っている、将来的にはスクールカウンセラーを全校配置する方向であるとのこと。

今回ヒアリングした3自治体のみならず、教育福祉分野では臨床心理士の社会的ニーズ・雇用機会は増加傾向である。

<http://www.sankei.com/life/news/150624/lif1506240028-n1.html>

中央教育審議会の部会は24日、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを正規の学校職員に位置付け、全ての公立小中高校をカバーできるような配置を検討すべきだとの中間報告案を示した。7月にも中間報告をまとめ、法改正を提案する。

子供の心理的ケアをするスクールカウンセラーや、児童相談所などと連携して児童生徒の生活改善に当たるスクールソーシャルワーカーは、教育委員会から各学校に派遣される。小中高校は全国に約3万5千校あるが、2013年度に国の補助事業で配置されているスクールカウンセラーは約7千人、スクールソーシャルワーカーは約千人にとどまっているのが現状だ。

[ここに入力]

ヒアリング 千葉市教育委員会

1. 日時 2015年6月5日(金)13:00-15:00

2. 場所 千葉市教育委員会

3. 先方 福本 順 氏 (千葉市教育委員会 学校教育部指導課 教育支援担当課長)

4. 当方 宗田(高等教育総合研究所)

5. メモ

- ・ 千葉市におけるスクールカウンセラーの採用状況について
- ・ 千葉市では、スクールカウンセラーは50名採用している。
- ・ すべて非常勤の1年契約で、常勤の採用はしていない。
- ・ 当然、何度も応募する人もいるし、初めて応募する人もいるが、その内訳についてはスクールカウンセラーの経験者(再応募者)が有利かという点、必ずしもそうではない。  
(選考は書類審査と面接で、公平に行っている)。
- ・ 臨床心理士の資格を持っている人が望ましいが、そうでなくても経験のある人は採用している。臨床心理士有資格者の割合は公表していない。
- ・ 予算の限度があるので、採用の今後の見通しは「現状維持」である。しかし、学校の現場からは「スクールカウンセラーを増やしてほしい」という要望があるので、担当課としては増員したいという気持ちはある。
- ・ 千葉市内のすべての中学校にスクールカウンセラーを配置している。小学校はまだ一
- ・ 勤務形態は1日4時間勤務×週2回が基本。
- ・ 教育委員会として臨床心理士を採用する予定があるのは、スクールカウンセラーとしてだけで、ほかの職種では臨床心理士の採用の予定はない。

[ここに入力]

・臨床心理についての経験が長く、なおかつ教育現場について理解のある人を求めている。新設の臨床心理学専攻では、学校の現場で働くことに理解のある人材を育ててほしい

・ 千葉兼における臨床心理士等専門職の採用状況について

小学校（70校）：

船橋市立三咲小・市川市立大野小・八千代市立村上小・八千代市立大和田南小・八千代市立大和田西小・八千代市立萱田南小・習志野市立大久保小・習志野市立東習志野小・習志野市立藤崎小・習志野市立谷津南小・浦安市立南小・松戸市立常盤平第一小・松戸市立根本内小・松戸市立稔台小・柏市立富勢小・柏市立豊小・野田市立七光台小・野田市立木間ヶ瀬小・流山市立東小・流山市立南流山小・我孫子市立我孫子第三小・我孫子市立根戸小・鎌ヶ谷市立東部小・銚子市立春日小・成田市立公津の杜小・佐倉市立寺崎小・旭市立中央小・四街道市立四街道小・八街市立八街東小・八街市立実住小・印西市立小倉台小・白井市立大山口小・富里市立富里南小・匝瑳市立八日市場小・香取市立佐原小・酒々井町立大室台小・栄町立安食台小・神崎町立神崎小・多古町立多古第一小・東庄町立神代小・茂原市立東郷小・茂原市立茂原小・東金市立鵠嶺小・東金市立城西小・勝浦市立勝浦小・山武市立成東小・いすみ市立東海小・いすみ市立太東小・大網白里市立増穂小・大網白里市立季美の森小・九十九里町立片貝小・芝山町立芝山小・横芝光町立東陽小・一宮町立一宮小・睦沢町立土睦小・長柄町立長柄小・大多喜町立大多喜小・館山市立北条小・木更津市立清見台小・木更津市立馬来田小・市原市立京葉小・市原市立明神小・市原市立牛久小・鴨川市立江見小・君津市立中小・君津市立北子安小・富津市立青堀小・袖ヶ浦市立蔵波小・南房総市立千倉小・鋸南町立鋸南小

中学校（326校）：

全校

高等学校（80校）：

千葉・千葉女子・千葉東・千葉商業・京葉工業・千葉工業・千城台・生浜・泉・幕張総合・柏井・千葉大宮・土気・千葉西・犢橋・八千代西・実籾・船橋・船橋啓明・船橋古和

[ここに入力]

釜・船橋法典・船橋豊富・船橋北・市川工業・国府台・行徳・市川昴・市川南・浦安・浦安南・鎌ヶ谷西・松戸・松戸国際・松戸南・松戸向陽・松戸馬橋・東葛飾・柏中央・沼南・沼南高柳・流山・流山おおたかの森・流山南・流山北・清水・関宿・我孫子東・白井・印旛明誠・成田西陵・下総・佐倉東・佐倉西・佐倉南・八街・四街道北・佐原・多古・銚子商業・旭農業・匝瑳・松尾・東金・大網・九十九里・長生・茂原樟陽・一宮商業・大原・長狭・安房拓心・館山総合・天羽・木更津東・上総・君津青葉・市原・鶴舞桜が丘・市原緑・姉崎の各県立高等学校

教育事務所等（6 所属）：

葛南・東葛飾・北総・東上総・南房総の各教育事務所と指導課

スクールソーシャルワーカー配置所属

小中学校（5 校）

葛南教育事務所管内：習志野市立第四中学校

東葛飾教育事務所管内：鎌ヶ谷市立第五中学校

北総教育事務所管内：成田市立三里塚小学校

東上総教育事務所管内：茂原市立緑ヶ丘小学校

南房総教育事務所管内：木更津市立岩根小学校

以上。



[ここに入力]

ヒアリング 東京都港区教育委員会

1. 日時 2015年6月30日(火)10:00-11:00

2. 場所 東京都港区教育委員会

3. 先方 港区教育委員会 教育センター安齋所長

4. 当方 田中(高等教育総合研究所)

5. メモ

- ・ 東京都における臨床心理士の採用等について
- ・ 東京都教育委員会では、東京都公立学校スクールカウンセラーとして、児童・生徒や保護者、  
教職員に対し、専門的な知識・経験に基づいて適切に相談に応じることができる専門職である臨床心理士を募集している。
- ・ また児童や生徒に対する相談体制を強化しようと、スクールカウンセラーを新年度から都内の公立小学校と都立高校のすべてに範囲を拡大して配置していく方針である。
- ・ 平成28年度東京都公立学校スクールカウンセラーの採用予定者数は1100名程度、雇用形態は東京都特別職非常勤である。

参照 平成28年度 東京都公立学校スクールカウンセラーの募集について

[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/p\\_gakko/28sc/28sc\\_bosyu.html](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/p_gakko/28sc/28sc_bosyu.html)

- ・ 港区における臨床心理士の採用等について
- ・ 東京都の予算でスクールカウンセラーが港区公立学校にも配置されている。多くのスクールカウンセラーは1人で複数の公立学校を担当しているケースもある。
- ・ 港区では、当教育センターだけでなく、保健所、幼稚園、子ども家庭支援センター、発達支援センター、障がい者センター、就労支援施設等で配置されている。
- ・ 東京都より配置されるスクールカウンセラー(臨床心理士)のほかに、港区の独自予算で募集・人員配置を行っている。

[ここに入力]

- ・港区教育センターでは、港区予算で臨床心理士が7名配置されている。
- ・港区は税収が東京都の他の自治体より比較的多いので、教育福祉分野に専門職(カウンセラー、臨床心理士、社会福祉士)が手厚く配置されている。
- ・こうした臨床心理士をはじめとした専門職は、自治体の方針や予算により人員配置が同じ東京都内でも異なっている。
- ・東京都をはじめ港区においても臨床心理士のニーズは高まっており、東京都予算でスクールカウンセラーが全公立学校に配置されることとなっている。
- ・港区でも独自に教育および福祉分野へ臨床心理士、社会福祉士等の専門職の十分な配置が望まれる。
- ・東京都および港区では、臨床心理士に限らず各種専門職の教育分野での人員配置は進んでおり、港区においても教育福祉分野で臨床心理士の配置が望まれている。

以 上

[ここに入力]

ヒアリング 埼玉県教育委員会

1. 日時 2015年6月10日(水)10:00-11:00

2. 場所 埼玉県教育委員会

3. 先方 埼玉県教育局県立学校部 生徒指導課 瀧澤指導主事、嘉藤指導主事

4. 当方 村上講師(人間総合科学大学) 田中(高等教育総合研究所)

5. メモ

- ・ 埼玉県教育機関における臨床心理士の採用等について
- ・ 埼玉県教育委員会は、県内公立中学校等における教育相談体制の充実や教員の資質の向上を図ることを目的として、児童生徒の臨床心理に関して高度な専門的な知識・経験を有する者を埼玉県スクールカウンセラー（以下「スクールカウンセラー」という。）として募集している。
- ・ 埼玉県ではすべての 公立中学校（360校）と高等学校（全日制課程26校、定時制課程10校）にスクールカウンセラーを配置している。スクールカウンセラーの人数は185名（募集は170名程度）、概ねが臨床心理士有資格者である。
- ・ スクールカウンセラー任用期間は1年間で、再任可。
- ・ 勤務は主に隔週で詳細は埼玉県スクールカウンセラー募集要項に記載の通り。

参照 <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/documents/638832.pdf>

- ・ 予算の問題もあるが、将来的にはスクールカウンセラーを県内中学校へ全校配置したい。
- ・ その他、スクールカウンセラー(臨床心理士)、スクールソーシャルワーカー(社会福祉士)等の専門職のスタッフは各自治体が独自の予算で募集している。
- ・ 臨床心理士（スクールカウンセラー）には高い専門性と他職種（スクールソーシャルワーカー等）との連携を求める。

- ・ 埼玉県内 自治体における臨床心理士等専門職の採用状況について
- ・ 各自治体の予算で、臨床心理士に限らず、社会福祉士、精神保健福祉士など専門職を独自に人員配置しているようだ。

[ここに入力]

・従来の県内公立学校の教職員では対応が困難な、児童生徒のカウンセリング・教育支援等臨床心理等に関して高度な専門知識・経験を有する人材が求められており、教育分野にかぎらず臨床心理士等の社会的ニーズは増えている。

補足

→ヒアリングを実施した自治体の各部門(埼玉県8自治体および東京都港区)では、埼玉県より派遣されるスクールカウンセラーに加え、独自に臨床心理士等の専門職人材を配置している。

以 上

(資料 10)

## 心理系公務員の採用状況

### <国家公務員>

国家公務員の心理職として採用されるためには、国家公務員総合職試験に合格しなければならない。総合職試験には「院卒者試験」と「大卒程度試験」があり、「院卒者試験」には現在 8 つの試験区分がある。心理職を目指す場合は「人間科学」区分で受験することになる（平成 23 年度試験（平成 24 年 4 月採用）までは「人間科学 I」区分）。また、裁判所や法務省は総合職試験を独自に行っている。

大学院修士課程修了者を対象とした心理系の職種には以下のようなものがある。

#### 1. 科学警察研究所研究員

科学警察研究所は犯罪科学に関する総合的な研究機関であり、それぞれの専門に応じた部門が配置されている。その中に心理関連の研究室（法科学第四部情報科学第一研究室）があり、心理学に基づいた犯罪捜査で用いられる鑑定等に関する研究を行っている。また、犯罪行動科学部では、心理学、社会学、精神医学などの行動科学の視点から犯罪者の行動や犯罪現象を究明するための研究及び実験を行っている。

募集は欠員補充によるため、毎年募集があるとは限らない点には注意すべきである。

#### 科学警察研究所 総合職 採用実績

採用年月	試験区分								合計
	人間科学 I	人間科学 II	人間科学	理工 I	理工 IV	農学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	
H16/04	1	1		1	1				4
H17/04	1			1					2
H18/04						1			1
H19/04	1			3	1				5
H20/04	2			1	1				4
H21/04					1				1
H22/04				2	1				3
H23/04	1			2	1				4
H24/04	1				2				3
H25/04			1						1
H26/04			1				2	2	5
H27/04			1					2	3

出典：科学警察研究所ホームページ「採用情報」  
(<http://www.nrips.go.jp/jp/recruit/index.html>)

#### 2. 家庭裁判所調査官補（平成 26 年度試験までは「総合職（人間科学区分・院卒者試験）」）

家庭裁判所では、家庭内の紛争（家事事件）や未成年者による非行問題などの少年犯罪の裁判や調停を扱っている。家庭裁判所調査官は、これらに関する調査ならびに結果の報告をすることが基本的な仕事である。家庭裁判所調査官が作成した調査書は、裁判や調停

において重要な役割を果たす。また、調査官自身も裁判や調停に出席して意見を述べることもあるため、その任務は非常に重要である。

試験に合格して採用されると、家庭裁判所調査官補となり研修所にて2年間の養成訓練を受ける。その後家庭裁判所調査官に任命されることとなる。

#### 裁判所職員採用総合職試験(家庭裁判所調査官補、院卒者区分)

試験の区分	採用予定数	申込者数			第1次試験合格者数			最終合格者数		
	H27	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
家庭裁判所調査官補(※)	10人程度	229	215	176	83	81	81	18	15	19

(※)平成26年度までの試験区分名称は「総合職試験(人間科学区分)」

出典:裁判所ホームページ「職員採用総合職試験(人間科学区分、院卒者試験)」実施結果

(<http://www.courts.go.jp/saiyo/siken/jjssi/index.html>)

### 3. 法務省専門職員

#### 3-1. 矯正心理専門職

矯正心理専門職(法務技官(心理))は、少年鑑別所や刑事施設(刑務所、少年刑務所、拘留所)などに勤務する。

少年鑑別所に勤務した場合は、送致された少年を収容して資質及び環境の調査を行う。

刑事施設に勤務した場合は、受刑者の改善更生を図るため、面接や各種心理検査を行い、知能や性格等の資質上の特徴、犯罪に至った原因、今後の処遇上の指針を明らかにする。

#### 3-2. 法務教官

法務教官は、少年院の教育部門や少年鑑別所の鑑別部門に所属する。

少年院に勤務した場合は、生活指導、教科指導、職業指導などの矯正教育を行うとともに、出院後の生活環境の調整、修学に向けた支援や就労支援等の円滑な社会復帰につなげるための支援を行う。

少年鑑別所に勤務した場合は、少年の心情の安定を図りつつ、面接や行動観察を実施し、法務技官(心理)と協力して、少年の問題性やその改善の可能性を科学的に探り、家庭裁判所の審判や、少年院・保護観察所等における指導に活用される資料を提供する。

#### 3-3. 保護観察官

保護観察官は、地方更生保護委員会や保護観察所に勤務し、社会の中において犯罪をした人や非行のある少年の再犯・再非行を防ぎ改善更生を図るための業務に従事する。

地方更生保護委員会に勤務した場合は、刑事施設からの仮釈放や少年院からの仮退院に関する審理のために必要な調査を行うほか、仮釈放の取消しや仮退院中の者の退院、保護観察付執行猶予者の保護観察の仮解除等に関する事務に従事する。

保護観察所に勤務した場合は、家庭裁判所で保護観察処分を受けた少年や仮釈放者等を対象とする保護観察を実施するほか、矯正施設被収容者の出所後の住居や就業先等の生活環境の調整、犯罪予防活動等の業務に従事する。

### 法務省専門職員(人間科学)採用試験実施状況

試験の区分	採用予定者	申込者数			第1次試験合格者数			最終合格者数		
	H27	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
矯正心理専門職A	約20名	123	147	152	41	67	62	21	35	31
矯正心理専門職B	約10名	165	214	214	24	44	41	13	23	20
法務教官A	約95名	1066	1098	1076	295	246	271	151	132	141
法務教官B	約35名	398	394	339	80	80	100	44	48	62
法務教官A(社会人)	約15名	177	202	173	39	47	41	19	24	20
法務教官B(社会人)	若干名	45	59	49	14	9	13	8	5	8
保護観察官	約40名	405	418	402	85	143	115	45	77	68
うち女子		225	236	212	49	100	63	28	57	43
計	約220名	2379	2532	2405	578	636	643	301	344	350
うち女子		833	903	814	167	233	217	93	133	133

試験区分の「A」は男子、「B」は女子

出典：人事院ホームページ「法務省専門職員(人間科学)採用試験」試験実施状況  
([http://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sennmonnsyoku/houmu/houmu\\_daisotu.html](http://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sennmonnsyoku/houmu/houmu_daisotu.html))

#### <地方公務員>

地方公務員の心理職に就くためには、地方公務員上級試験の「心理」の区分で合格しなければならない。募集や試験の方法は自治体によって様々であるが、各自治体とも「心理」区分の採用人数は非常に少なく、年度によっては募集がないときもある。自治体によっては、心理学専修卒業に伴って得られる「心理判定員」の資格(任用資格)を要する自治体もある。また、これとは別に各都道府県の警察本部も心理分野の研究員を募集している。

##### 1. 心理判定員・心理相談員

児童相談所や精神保健福祉センター(自治体によって名称が異なる)などの相談機関には、心理判定員や心理相談員といった職員が配置されていて、相談者に対して心理検査を実施したり、カウンセリングを行ったりする。公務員の心理職として採用されると、主にこの職務に就くことになる。

### 東京都職員採用選考 実施状況

	試験区分	採用予定人数	申込者数	1次試験受験者数	1次試験合格者数	最終試験受験者数	最終試験合格者数	競争倍率
平成22年度	心理	5名程度	257	201	21	10	6	33.5
平成23年度	心理	3	225	181	8	4	4	45.3
平成24年度	心理	8	198	157	32	22	10	15.7
平成25年度	心理	9	198	155	32	20	12	12.9
平成26年度	心理	8	156	128	24	20	12	10.7

出典：東京都ホームページ (<http://saiyou2.metro.tokyo.jp/pc/selection/27/>)

### 千葉県職員採用選考 実施状況

	試験 職種	採用予定 人数	申込 者数	1次試験 受験者数	1次試験 合格者数	2次試験 受験者数	最終試験 合格者数	競争 倍率
平成23年度	心理	9	108	82	21	17	11	7.5
平成24年度	心理	7	111	78	17	11	8	9.8
平成25年度	心理	9	73	52	20	13	11	4.7
平成26年度	心理	9	76	49	22	17	12	8.8

出典：千葉県ホームページ (<http://www.pref.chiba.lg.jp/jinji/ninyou/jisshijoukyou/>)

### 埼玉県職員採用選考 実施状況

	試験 職種	採用予定 人数	申込 者数	1次試験 受験者数	1次試験 合格者数	最終試験 合格者数	競争 倍率
平成21年度	心理	3	64	49	16	4	12.3
平成22年度	心理	2	62	40	9	3	13.3
平成23年度	心理	1	46	35	6	2	17.5
平成24年度	心理	2	74	44	8	3	14.7
平成25年度	心理	1	34	19	9	2	9.5
平成26年度	心理	1	39	26	8	3	8.7

出典：埼玉県ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/f1903/saiyou/result1.html>)

### さいたま市職員採用選考 実施状況

	職種	採用予定 人数	申込 者数	1次試験 受験者数	1次試験 合格者数	最終試験 合格者数	競争 倍率
平成22年度	心理職の採用なし						
平成23年度	心理	1	23	15	4	2	7.5
平成24年度	心理職の採用なし						
平成25年度	心理職の採用なし						
平成26年度	心理	3	17	16	13	4	4.0

出典：さいたま市ホームページ  
(<http://www.city.saitama.jp/006/001/001/001/002/002/p035792.html>)

### 川崎市職員採用選考 実施状況

	試験 区分	申込 者数	1次試験 合格者数	最終試験 合格者数	競争 倍率
平成21年度	心理	63	12	8	7.9
平成22年度	心理	44	12	4	11.0
平成23年度	心理	48	10	2	24.0
平成24年度	心理職の採用なし				
平成25年度	心理	17	9	2	8.5
平成26年度	心理	28	12	5	5.0

出典：川崎市ホームページ  
(<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/61-1-19-3-0-0-0-0-0-0-0.html>)



### 千葉市職員採用選考 実施状況

	試験区分	採用予定人数	申込者数	1次試験受験者数	1次試験合格者数	2次試験受験者数	2次試験合格者数	競争倍率
平成23年度	心理判定員	1	13	11	8	7	2	5.5
平成24年度	心理判定員	若干名	23	21	4	4	1	21.0
平成25年度	心理判定員	若干名	23	15	5	5	1	15.0
平成26年度	心理判定員	若干名	11	9	4	4	2	4.5

出典：千葉市ホームページ (<http://www.city.chiba.jp/jinji/boshu/26shiken-data.html>)

### 2. 科学捜査研究所研究員

科学捜査研究所は、警視庁および各道府県警察本部に設置されている研究機関で、犯罪捜査の資料に関する鑑定業務を行う。このなかに心理分野の研究室があり、ポリグラフを用いた心理鑑定などが行われている。科学捜査研究所の研究員の身分は地方公務員研究職職員である。なお、募集方法は各都道府県によって様々であるが、通常は欠員が生じたときに募集が行われる。

採用後は、警察学校で一か月研修を受ける（ただし、警察官と違って術科（柔道・剣道）はなく座学が中心である）。さらに、一年目の秋には警察庁科学警察研究所に入所して研修を受ける。

## 14 通信教育の実施方法等を 記載した書類

## 通 信 教 育 実 施 方 法 説 明 書

(人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程)

通 信 教 育 を 開 設 す る 学 部 等 の 計 画					備考
主たる授業の方法	印刷教材	放送	メディア利用	面接	
開設する授業科目の合計単位数	3	0	19	9	
うち卒業又は修了に必要な単位数	2	0	14	8	
通信教育に係る教員組織等の概要	職 種	通信教育の課程を専ら担当	通学の課程を併せて担当	計	
	専 任 教 員	6 人 (6)	- 人 ( )	6 人 (6)	
	兼 任 教 員	4 (4)	- ( )	4 (4)	
	指 導 補 助 者	- ( )	- ( )	- ( )	
	計	10 (10)	- ( )	10 (10)	
指導補助者の名称, 役割, 採用条件及び研修の方法	該当なし				
事務職員等の概要	職 種	専 任	兼 任	計	研究科の通信教育に従事する事専任2人
	事 務 職 員	31 人 (31)	6 人 (6)	38 人 (38)	
	技 術 職 員	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	図 書 館 専 門 職 員	1 (1)	4 (4)	4 (4)	
	そ の 他 の 職 員	1 (1)	5 (5)	6 (6)	
	計	34 (34)	16 (16)	49 (49)	

通 信 教 育 の 実 施 方 法					
印刷教材授業の実施計画	利用する教材の特色	主教材（テキスト）を指定する授業科目は、1～数冊を配本し、学修用の手引き（学生びんに従って学修を進める。また、インターネットを使用した学修ポータルサイトで、資料動画、参考図書、参考文献等を提示し、随時資料等をダウンロードできるシステムを提供し、学修を進める。			
	学修過程の管理方法	インターネットを使用したオンライン・システムである学修ポータルサイトを通じて、授業担当教員が、学生と質疑応答や、レポート提出の内容・回数を確認し、学修経過についての状況把握と管理を行う。			
	試験の実施方法等	課題に対するレポート提出（数回、1単位あたり1,500字～2,000字程度）に合格した後、科目修了試験を実施する。科目修了試験は、授業科目により定められた、レポート試験か、筆記試験のいずれかで実施する。			
放送授業の実施計画	利用する技術の特色	該当なし			
	学修過程の管理方法	該当なし			
	試験の実施方法等	該当なし			
メディア利用授業の実施計画	利用する技術の特色	インターネットのオンライン・システムを利用し、学修ポータルサイトやTV会議システム等を活用した授業で、インターネット上の授業の視聴により課題に取り組み、レポートを提出する。その際、授業担当教員の指示で、動画や画像による教材を配信する。			
	同時双方向性の確保	TV会議システムによる双方向性の授業の実施と、学修ポータルサイトにおけるディスカッション、質疑応答等により同時双方向性を確保するとともに、面接授業を組み合わせることで教育の質を担保する。			
	学修過程の管理方法	オンライン上の学修ポータルサイトによりレポートの提出、ディスカッションの内容・回数、質疑応答の内容・回数を把握、授業担当教員が、それぞれの学修経過についての状況把握と管理を行う。			
	試験の実施方法等	インターネット上の授業の視聴により確認テストに取り組み、科目修了試験として課題に対するレポート提出する。科目修了試験のレポート提出は、1単位1,000～2,000字程度を基本とする。			
面接授業の実施計画	実施期間	実施施設の名称及び所在地		授業科目の名称	
	4月～9月 4日間 (90分×15コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理査定演習Ⅰ	
	10月～3月 4日間 (90分×15コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理査定演習Ⅱ	
	4月～9月 4日間 (90分×15コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理援助技法論Ⅰ (個人心理療法)	
	4月～9月 4日間 (90分×15コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理援助技法論Ⅱ (集団心理療法)	
	4月～9月 4日間 (90分×15コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理援助技法論Ⅲ (臨床心理査定)	
	10月～3月 9日間 (90分×30コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理基礎実習Ⅰ	
	4月～9月 15日間 (90分×30コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理基礎実習Ⅱ	
	10月～3月 15日間 (90分×30コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理実習Ⅰ	
	4月～9月 15日間 (90分×30コマ)	人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		臨床心理実習Ⅱ	
実施施設の名称		室の区分	室数	総面積	収容人員
人間総合科学大学 蓮田キャンパス 本館		講義室	9	1881.2㎡	1400人
		パソコン教室	1	121.5㎡	60人